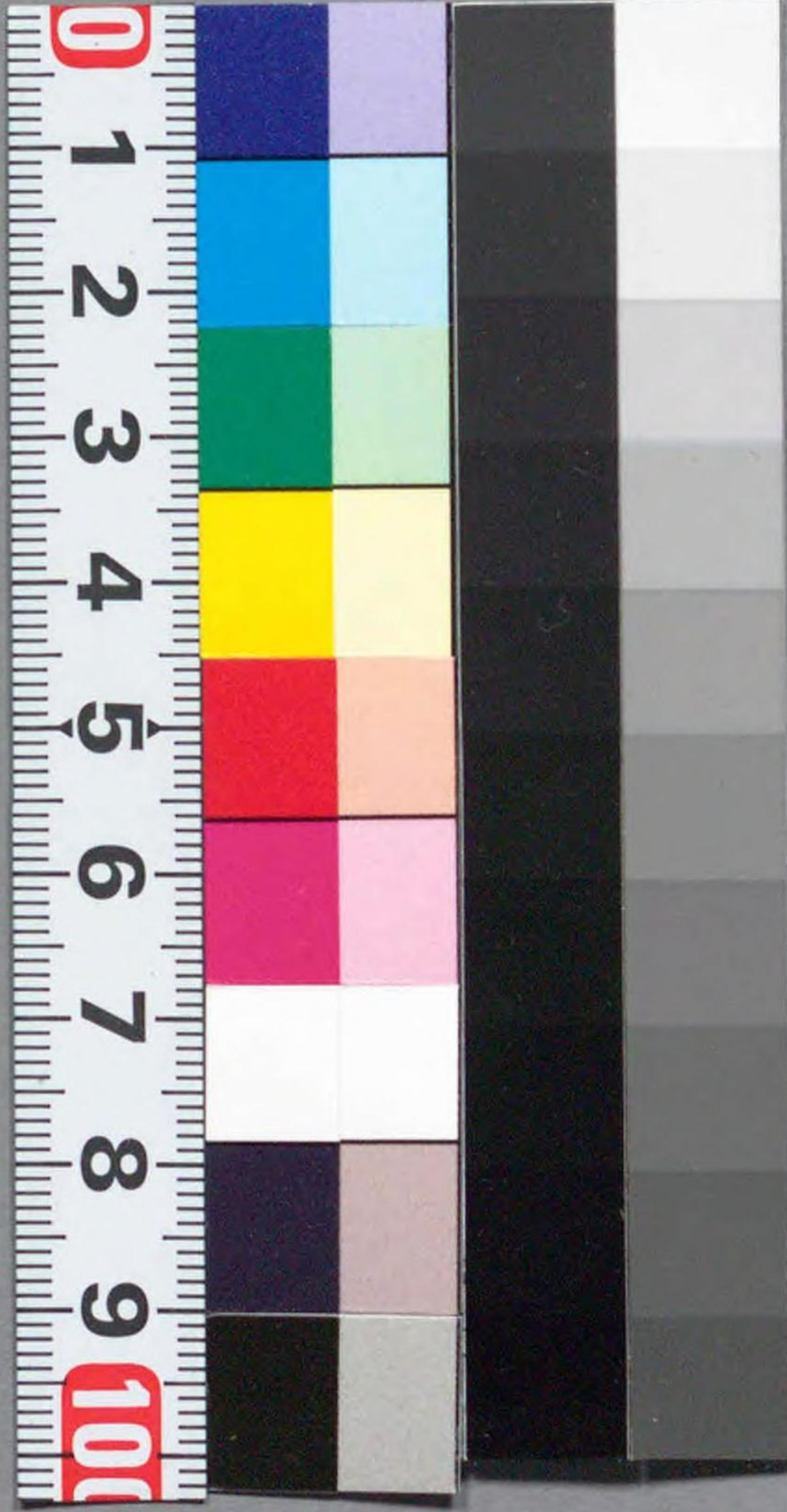


CZ-431-048

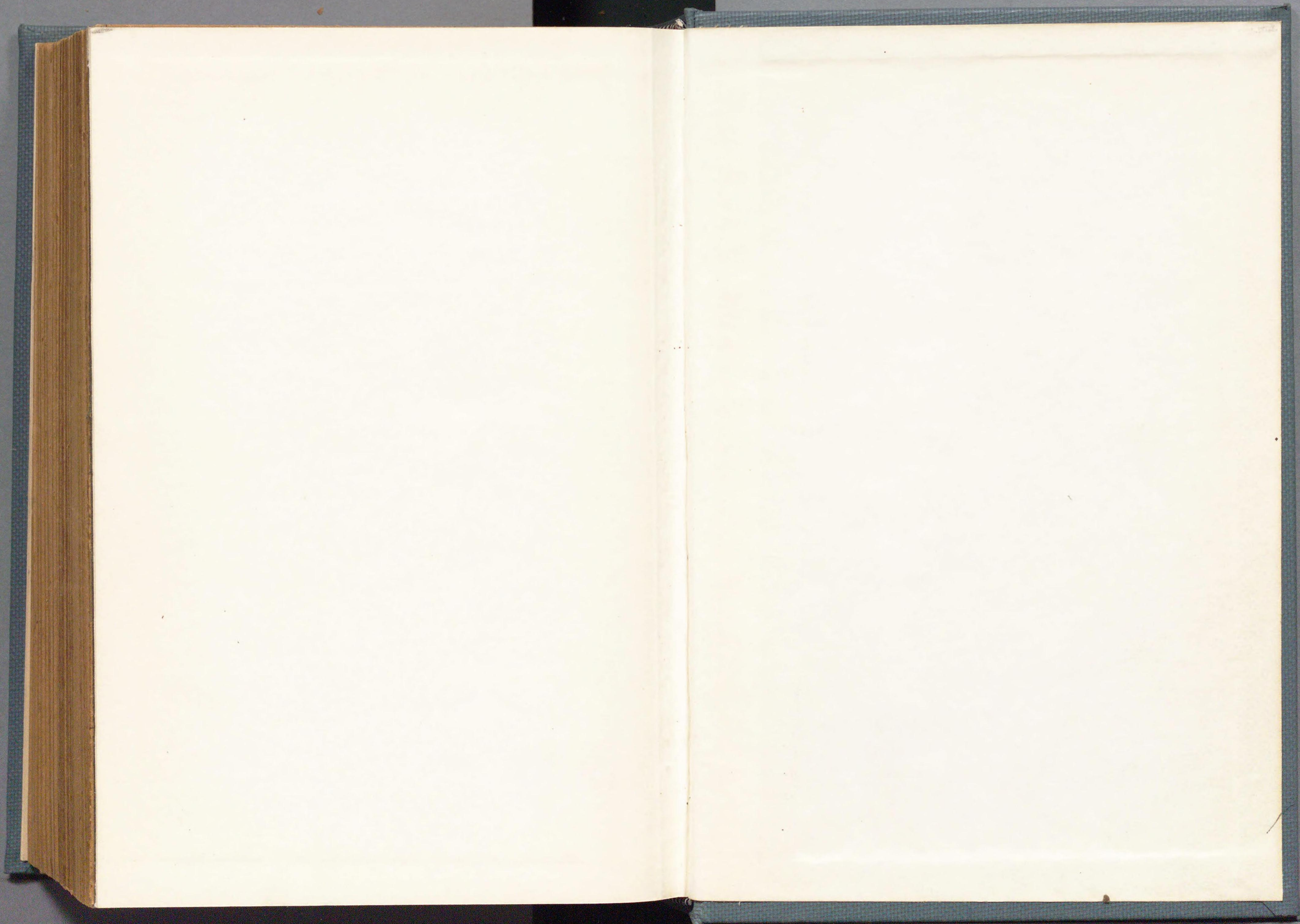


\*1200901599244\*

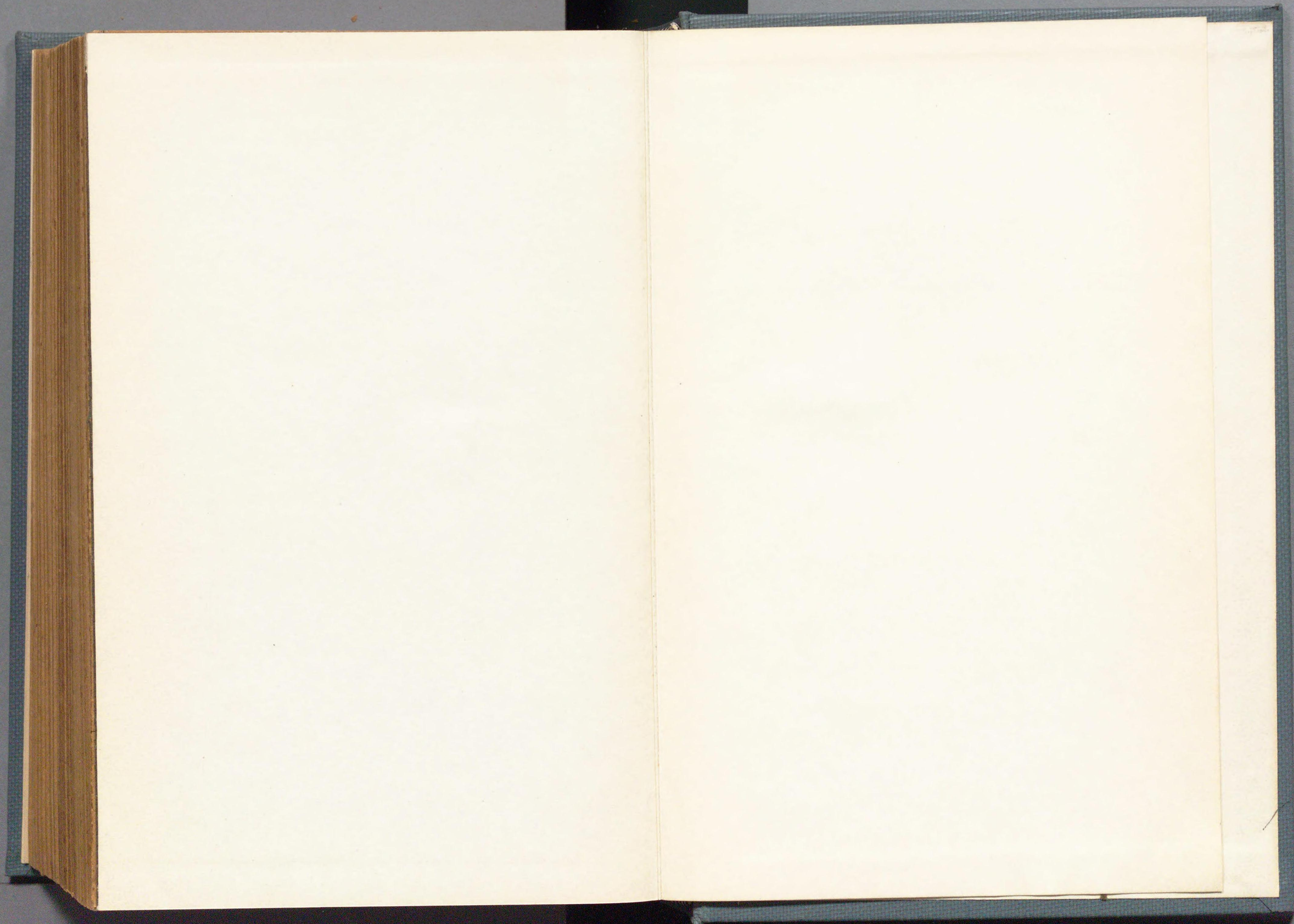
電子式複写













57-A 46

14  
497

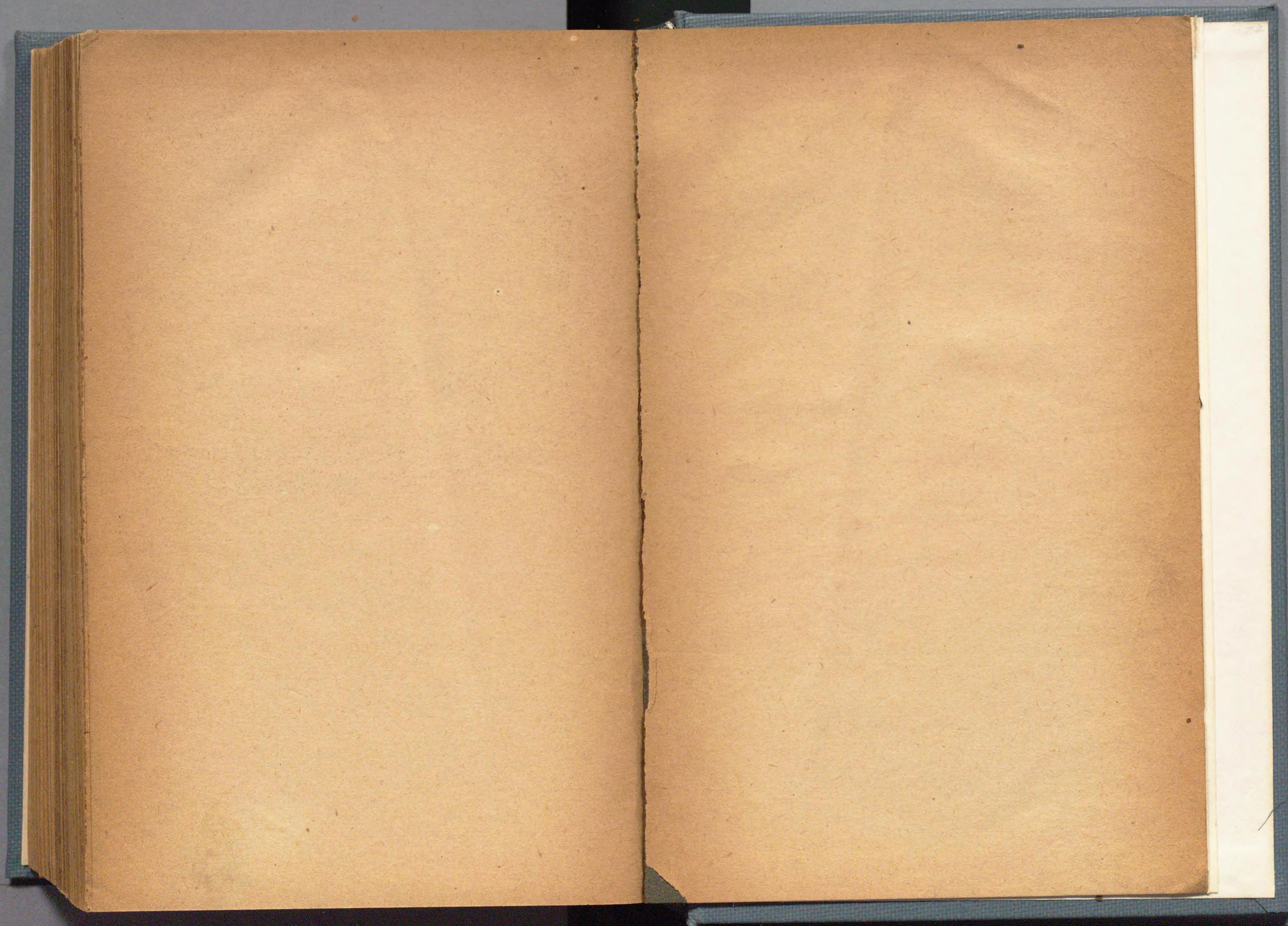
十五年九月

蠶絲業關係法規

農林省蠶絲局

[Blank page with faint bleed-through text]







蠶絲業關係法規

正誤表

頁	段	行	誤	正	頁	段	行	誤	正
二	(目次)	一八九三		九四	一四三	上	一一二	(昭和十二年四月十日農林省令第八號) 日農林省令第八號	ト
四	(目次)	四輸移出ニ關スル		輸移出ニ關スル	一四三	上	四一五	(昭和十二年四月十日農林省令第八號) 日農林省令第八號	ト
五	(目次)	四(達)		(申進)	一四四	下	一八	第四十條	第四十一條
七	(目次)	七十二		二七二	一五〇	上	一九	除クノ外ハ	除クノ外ハ總テ
九	(目次)	六菌檢定		菌檢定	一六五	下	一〇	許可申請者	許可申請者ノ
一三	(目次)	一〇施設施行法規則		施設施行法規則	一七九	上	一六	相成候	相成候處
一六	(目次)	七六八一		六八二	二二七	下	一七	蠶業試驗場	蠶業試驗場長
一六	(目次)	八六八二		六八六	二二九	下	一三	(決算額)	(豫算額)
一六	(目次)	九玉絲製造ニ		玉絲製造許可ニ	二四〇	上	四	此設	此段
二四	下	一一其ノ分毎ニ		其ノ一分毎ニ	二五四	下	三二	十日	二十三日
五六	下	表(稱名)		(名稱)	二六一	下	一九	助成額	助成金ノ額
五九	下	表(量)		(量)	三〇九	下	九	助成額	助成金ノ額
八〇	上	五護渡人		護受人	三一八	上	九	護定規則	護檢定規則
八九	上	一五第五十三候		第五十三條	三二〇	下	一五	護定所	護檢定所
八九	下	八旅行規則		旅行規則	三六五	上	一五	候也	候也
一二〇	下	一一		組合長事故以下ヲ	三六七	表	一	事記項ノ	事記項ノ
一四二	下	一七(一七行目ノ次ニ下		第二項トスルコト	三八〇	上	一	事記項ノ	事記項ノ

(昭和十二年四月十日農林省令第八號) 日農林省令第八號

(昭和十四年一月十日農林省令第二號) 本項追加



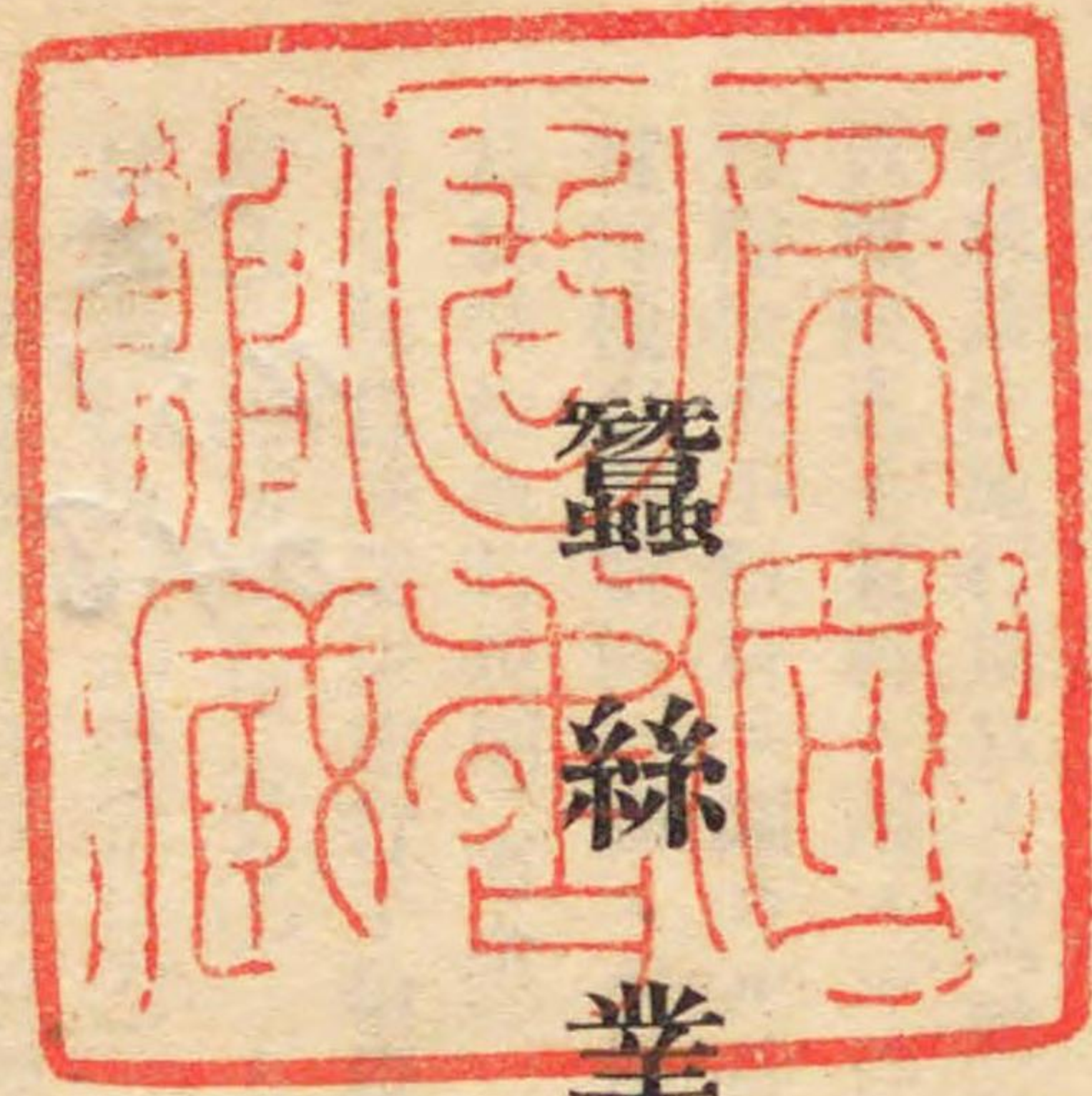
四三九	下	一 春秋蠶繭	六六二	下	七 主宰トス	主宰トス
四三九	下	五 春秋蠶繭繭絲	六六三	上	八 又ハ鑑定	又ハ鑑定
四七一	上	六 座繰繭機	六六五	下	九 生絲整理講習規程	生絲整理法講習規程
五一一	下	二 必要ナル事項ハ	六六七	下	九 産業職員	産業職員
五一四	上	一 八 第二産	六七一	上	五 調定事務	調査事務
五一六	下	九 務會	六七二	下	九 海外生絲市場調定事務所	海外生絲市場調査事務所
五一七	下	一 一 立創總會	六七六	下	一 六 亞米利加合衆國	亞米利加合衆國
五二五	上	五 添スベシ	六七九	上	一 五 生繭	十五年
五二七	上	二 養蠶組合組合	六八〇	上	九 ラツカー紙	生絲
五二七	下	三 百人以上	七〇〇	上	一 一 各事務所ヘ	ラツカー引紙
五三三	上	一 〇 第六合	七〇〇	下	四 請申スル	各事務所ニ
五三四	下	一 四 附ヲ……其ニ旨	七一四	下	二 〇 所屬組合會	申請スル
五三五	上	三 受ケル	七一四	上	一 六 記録ニ	所屬聯合會
五三七	下	一 〇 字劃明瞭	七一五	下	六 預金ヲ	記載ニ
六一七	上	二 一 三	七一五	下	一 六 貯金ノ利率	貯金ヲ
六二九	下	一 スベシ	七一九	上	二 三 (下ノ一行ヲ追加)	貯金額及貯金ノ利率
六三四	下	六 膠着物	七二二	上	一 六 營業收益稅及	改正昭和十五年三月法律第五十九號
六五九	下	七 領證	七二三	上	三 聯合倉庫業者	法人稅及
六六二	下	一 二 又ハ鑑定	七二八	上	三 聯合倉庫業者	聯合農業倉庫業者
		五 主宰ニ			(上段ト下段ヲ入レ替ヘルコト)	



七三七	上	八農商務大臣ニ對シテ	農商務大臣ニ於テ又	八七二	上	一三除シタル	除シ得タル
七三八	下	三追加大正九年	ハ農商務大臣ニ對シテ	八七二	下	一三依ル	依リ
七三八	下	四(下段ノ一行ヲ加フ)	改正大正九年	八七三	下	三變更、届出	變更ノ届出
七三九	上	一年ノ生産	六六四號次官通牒				
七五〇	下	一九聯合二府縣	聯合會二府縣				
七六四	下	一九限迄	限				
七六八	上	三基告	報告				
七七七	上	七督查シ	督查シ				
八一八	上	一分賦收支方法	分賦收入方法				
八一八	下	一八	「前項ノ規定」以下				
八二〇	上	二〇前條第五條	前條第五號				
八二六	上	八就人後遲滯ナク	就任後遲滯ナク				
八三八	下	一四必要ト爲	必要ト認				
八五〇	上	一〇當會社ノ任日	當會社ノ休日				
八六二	下	六拂込及期日	拂込金額及期日				
八六三	下	一五スルコトヲ得ス	スルコトヲ得				
八六四	下	九二名以上ニ	二名以上之ニ				
八六九	下	一三如シ第一回	如シ但シ第一回				
八七〇	上	一一除外シタル	除外ヲ承認シタル				
八七二	上	四荷口毎計	荷口毎ニ計				



昭和十五年九月



蠶絲業關係法規

農林省蠶絲局





14.7  
497

# 蠶絲業關係法規目次

## 第一編 蠶絲業法規

### 第一章 蠶絲業法關係法規

蠶絲業法(法律).....	五
蠶絲業法施行期日ノ件(勅令).....	三
蠶種検査手數料ニ關スル件(勅令).....	一四
蠶種検査手數料ニ關スル件(通牒).....	一四
蠶種検査手數料ニ關スル件(勅令).....	一四
蠶絲業法施行規則(省令).....	一五
道府縣蠶絲業法施行手續標準.....	四九
蠶業取締所規程(省令).....	六七
蠶絲業法施行心得(告示).....	六七
蠶絲業法施行事務取扱規程(訓令).....	七一
蠶絲業法施行事務取扱ニ關スル件(通牒).....	七九
蠶絲業法施行事務ニ關スル内訓廢止ノ件(通牒).....	八一

CZ  
431  
048



蠶絲業關係法規



蠶種ノ製造及検査方法ニ關スル件(通牒) ..... 八一

蠶絲業法施行規則第四十四條ノ検査及第百三條ノ蠶業試験場成績報告  
其ノ他ニ關スル件(通牒) ..... 八一

蠶絲業法施行規則第七十四條ノ專任職員ノ資格並同則第百三條ノ成績  
報告ニ關スル件(通牒) ..... 八三

學術研究ノ爲蠶種製造及蠶兒飼育ノ許可ニ關スル件(通牒) ..... 八三

文部省直轄學校ヨリ配付スベキ蠶種ノ件(通牒) ..... 八四

蠶絲業法ニ關スル違反事件報告ノ件(注意事項) ..... 八五

蠶絲業法施行ニ關スル吏員ノ件(内訓) ..... 八五

蠶絲業法施行ニ關スル吏員設置ノ件(通牒) ..... 八六

蠶病豫防事務ノ爲地方ニ配置シタル技師及助手ノ件(通牒) ..... 八六

蠶絲業法施行規則第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行フ蠶種ニ  
關スル検査ニ従事スル者及蠶種検査ノ管理者ノ資格ニ關スル件(告示) ..... 八七

蠶絲業法施行規則第八條ノ解釋ニ關スル件(通牒) ..... 八八

蠶兒飼育場所ニ關スル件(注意事項) ..... 八八

移輸入蠶種ノ検査ニ關スル件(申進) ..... 八八

繭及蠶種ノ検査許可ニ關スル件(通牒) ..... 八九

蠶種製造取締ル件(通牒) ..... 八九

蠶蛆ノ豫防驅除ニ關スル件(通牒) ..... 九四

昇汞水及格魯兒石灰水ヲ蠶室及蠶具ノ消毒ニ使用スル場合ニ於ケル  
注意ノ件(通牒) ..... 九四

昇汞及鹽酸販賣ニ關スル件 ..... 九五

蠶絲共同施設組合ニ關スル件(通牒) ..... 九六

蠶種共同施設組合定款例 ..... 一〇三

蠶絲商共同施設組合定款例 ..... 一〇九

第二章 原蠶種管理法關係法規

原蠶種管理法(法律) ..... 一一九

原蠶種管理法施行期日ノ件(勅令) ..... 一二三

原蠶種管理法第五條第二項但書ノ規定ニ依ル國庫補助ニ關スル件(勅令) ..... 一三三

蠶品種審査會官制(勅令) ..... 一三三

原蠶種料金令(勅令) ..... 一三三

原蠶種管理法施行規則(省令) ..... 一三四

原蠶種管理法施行規則施行期日ノ件(省令) ..... 一四三

原蠶種管理法施行ニ關スル件(通牒) ..... 一四四

蠶種ノ輸移出入許可ニ關スル件(申進) ..... 一四八



蠶種ノ輸出入許可ニ關スル件(申進) ..... 一四九

蠶種ノ輸出ニ關スル件(通牒) ..... 一四九

蠶種ノ輸移出入ニ關スル件(申進) ..... 一四九

蠶種ノ輸移出ニ關スル件(申進) ..... 一五〇

原種製造設備費國庫補助ニ關スル件(通牒) ..... 一五〇

原種製造設備費國庫補助ノ件(通牒) ..... 一五九

蠶種ノ輸移出入ニ關スル件(通牒) ..... 一五九

蠶品種性狀調査申請ニ關スル件(告示) ..... 一五九

原蠶種管理法施行ニ關スル件(通牒) ..... 一六五

原蠶種管理法施行ニ關スル件(通牒) ..... 一六九

原蠶種管理法第三條ノ規定ニ依リ政府ノ製造配付スベキ原原種ノ品種及同法  
第十一條第一項ノ規定ニ依リ蠶種製造者ノ依ルベキ原種ノ交配形式(告示) ..... 一七三

原原種ノ配付請求ニ關スル件(通牒) ..... 一七三

原蠶種管理法ニ基キ配付スル原原種ヨリ製造スル原種ノ蠶兒ノ掃立時期ニ  
關スル件(省令) ..... 一七三

原蠶種管理法ニ基キ配付スル原原種ヨリ製造スル原種ノ蠶兒ノ掃立時期ニ  
關スル件(通牒) ..... 一七三

原種配付規定ニ關スル件(申進) ..... 一七四

原蠶種管理法施行ニ關スル件(通牒) ..... 一七九

原蠶種管理法施行規則第十八條ノ規定ニ依ル原種製造ノ管理者ノ資格(告示) ..... 一八九

自家用原種製造ニ關スル件(通牒) ..... 一八九

自家用原種製造ニ關スル件(達) ..... 一八九

蠶品種改良獎勵規則(省令) ..... 一九六

第三章 蠶絲試驗場及道府縣蠶業試驗場關係法規

蠶絲試驗場官制(勅令) ..... 二〇一

蠶絲試驗場ノ位置並ニ支場及出張所ノ位置及名稱(告示) ..... 二〇三

蠶絲試驗場附屬試育所ノ位置及名稱(告示) ..... 二〇三

蠶絲試驗場處務規程(訓令) ..... 二〇三

蠶絲試驗場處務細則(達) ..... 二〇三

蠶絲試驗場支場處務規程(達) ..... 二〇六

蠶絲試驗場桑ノ接穗及苗木配付規程(告示) ..... 二〇七

蠶絲試驗場蠶種配付規程(告示) ..... 二〇八

蠶絲試驗場配付蠶種品種名、其ノ組合セ及價格(告示) ..... 二〇一

蠶絲試驗場煮繭業沈線法講習規程(內規) ..... 二一一

蠶絲試驗場分折手數料ノ件(勅令) ..... 二二四

蠶絲試驗場ニ於テ分折ノ依頼ニ應ズル件(告示) ..... 二二四



蠶絲試驗場分析依頼者心得(告示) ..... 二二四

蠶絲試驗場依頼分析事務取扱心得(達) ..... 二二六

道府縣蠶業試驗場規程(省令) ..... 二二〇

道府縣蠶業試驗場規程公布ノ件(通牒) ..... 二二三

道府縣蠶業試驗場規程中改正ニ關スル件(通牒) ..... 二二三

第四章 蠶絲業獎勵規則

蠶病豫防費國庫補助規則(省令) ..... 二二五

蠶業取締所設備費ニ對スル國庫補助ノ件(通牒) ..... 二二五

蠶絲業改良施設助成規則(省令) ..... 二二六

蠶絲業改良施設助成ニ關スル件(通牒) ..... 二二七

繭生產費低減施設獎勵規則(省令) ..... 二三一

繭生產費低減施設獎勵規則ニ關スル件(通牒) ..... 二二三

雪害地桑苗圃設置獎勵ニ關スル件(通牒) ..... 二二七

雪害地栽桑法及桑樹胴枯病防除調査研究獎勵ニ關スル件(通牒) ..... 二二九

蠶種業共同施設獎勵規則(省令) ..... 二四一

蠶種業共同施設獎勵ニ關スル件(通牒) ..... 二四三

蠶兒飼育分場改善施設助成ニ關スル件(通牒) ..... 二五一

養蠶實行組合指導員設置助成規則(省令) ..... 二五三

養蠶實行組合指導員設置助成規則ニ關スル件(通牒) ..... 二五六

重要農林水產物增產助成規則(省令) ..... 二五七

重要農林水產物增產關係施設助成金ニ關スル件(通牒) ..... 二六四

繭增產確保獎勵ニ關スル件(通牒) ..... 二六五

養蠶共同施設獎勵ニ關スル件(通牒) ..... 二六九

新用途繭ノ蠶種製造助成ニ關スル件(通牒) ..... 二七二

新用途繭生產處理施設助成ニ關スル件(通牒) ..... 二七三

新用途繭生產處理施設助成ニ關スル件(通牒) ..... 二七六

新用途繭生產處理施設助成ニ關スル件(通牒) ..... 二七六

新用途繭生產費低減研究助成ニ關スル件(通牒) ..... 二八〇

季節養蠶指導員設置助成ニ關スル件(通牒) ..... 二八〇

繭絲類新規用途開拓助成規則(省令) ..... 二八三

第五章 產繭處理統制法關係法規

一、產繭處理統制法關係法規 ..... 二八七

產繭處理統制法(法律) ..... 二八九

產繭處理統制法施行期日ノ件(勅令) ..... 二九〇

產繭處理統制法第一條第四號ノ規定ニ依リ繭ノ處理方法ヲ



定ムルノ件(勅令) ..... 二九〇

産繭處理統制法施行規則(省令) ..... 二九一

産繭處理統制法施行ニ關スル件(通牒) ..... 二九三

産繭處理統制法施行手續標準ニ關スル件(通牒) ..... 二九五

産繭處理規則(省令) ..... 二九八

産繭處理統制法第二條第一項、第三條及第六條第一號ノ施行ニ關スル件(通牒) ..... 三二五

産繭處理規則施行手續標準ニ關スル件(通牒) ..... 三二六

綜合評價點算方法ニ關スル件(通牒) ..... 三三〇

道府縣繭檢定所規程(省令) ..... 三三〇

産繭檢定手数料ニ關スル件(勅令) ..... 三三二

産繭檢定手数料規則(省令) ..... 三三二

産繭處理統制法第二條第二項但書ノ規定ニ依ル國庫補助ニ關スル件(勅令) ..... 三三三

産繭檢定施設費國庫補助ニ關スル件(通牒) ..... 三三三

産繭檢定所設備標準ニ關スル件(通牒) ..... 三三一

産繭檢定所設備標準圖面 ..... 三三五

産繭檢定所圖面及仕様書作成ニ關スル件(通牒) ..... 三三九

繭格付研究助成ニ關スル件(通牒) ..... 三四〇

産繭檢定員養成施設助成ニ關スル件(通牒) ..... 三四三

産繭檢定教婦講習規程 ..... 三四六

産繭檢定教婦講習ニ關スル注意事項 ..... 三四七

道府縣産繭檢定所職員設置助成ニ關スル件(通牒) ..... 三四八

産繭檢定所業務功程ニ關スル件(通牒) ..... 三五〇

二、産價協定委員會關係規則 ..... 三五七

産價協定委員會設置助成ニ關スル件(通牒) ..... 三五九

産價協定委員會報告ニ關スル件(通牒) ..... 三六〇

日本中央蠶絲會繭掛目協定基準審議會規程 ..... 三六一

三、産繭處理指導職員設置助成關係規則 ..... 三六三

府縣産繭處理指導職員設置助成ノ件(通牒) ..... 三六五

産繭處理改善指導職員設置助成ニ關スル件(通牒) ..... 三六六

四、産繭處理改善助成關係規則 ..... 三七一

産繭處理改善助成規則(省令) ..... 三七三

産繭處理改善助成ニ關スル件(通牒) ..... 三七五

産繭處理改善助成規則ニ依ル提出書類ノ様式ニ關スル件(通牒) ..... 三八〇

共同産倉庫及共同乾繭所事業報告ニ關スル件(通牒) ..... 三九五



乾繭販賣利用組合定款及業務執行ニ關スル規程變更認可ニ  
關スル件(通牒) ..... 四一五

共同繭倉庫及共同乾繭裝置助成規則中改正ニ關スル件(通牒) ..... 四一五

乾繭販賣組合ト製絲販賣組合ニ關スル件(通牒) ..... 四一六

共同繭倉庫ニ製絲事業ヲ認ムルノ件(通牒) ..... 四一七

産業組合製絲繭價配分平衡資金ノ積立ニ關スル件(通牒) ..... 四一七

保證責任何々乾繭販賣購買利用組合定款(例) ..... 四一七

第六章 製絲業法關係法規

製絲業法(法律) ..... 四一九

製絲業法施行期日ノ件(勅令) ..... 四三〇

製絲業法施行規則(省令) ..... 四三一

製絲業法施行規則第十一條ノ二ノ規定ニ依ル命令ノ件(告示) ..... 四三七

製絲業法施行ニ關スル件(通牒) ..... 四三七

製絲業法施行規則第十條ニ依ル事業概況書ニ關スル件(通牒) ..... 四六二

製絲業法施行ニ關スル件(通牒) ..... 四六二

製絲業整備改善施設ニ關スル件(通牒) ..... 四六四

製絲業法施行ニ關スル件(通牒) ..... 四六五

製絲業法施行ニ關スル件(注意事項及指示事項) ..... 四六八

製絲業整備改善施設ニ關スル件(指示事項) ..... 四七〇

製絲業ノ免許並線絲機ノ増設認可ニ關スル件(指示事項) ..... 四七三

製絲業法施行規則改正ニ關スル件(注意事項) ..... 四七一

生絲共同施設組合ニ關スル件(通牒) ..... 四八〇

生絲共同施設組合定款例 ..... 四八七

製絲業共同施設獎勵規則(省令) ..... 四八九

製絲業共同施設獎勵ニ關スル件(通牒) ..... 四九〇

製絲業共同施設獎勵規則ニ依ル様式ニ關スル件(通牒) ..... 四九七

製絲業共同施設ノ獎勵方針ニ關スル件(注意事項) ..... 四九七

製絲業整備改善施設規程(全國製絲業組合聯合會決議) ..... 四九八

製絲業整備改善施設規程(全國製絲業組合聯合會決議) ..... 四九九

製絲設備整理補償規程(全國製業組合聯合會決議) ..... 五〇〇

第七章 蠶絲業組合法關係法規

蠶絲業組合法(法律) ..... 五〇七

蠶絲業組合法施行期日ノ件(勅令) ..... 五一九



蠶絲業組合法施行令(勅令)	五二九
蠶絲業組合法施行規則(省令)	五三三
養蠶實行組合及農事實行組合登記取扱手續(省令)	五三四
蠶絲業組合法ニ於ケル行政官廳一覽表	五三四
養蠶實行組合解散ノ場合ノ公示ニ關スル件(通牒)	五四五
養蠶實行組合解散届出報告ニ關スル件(通牒)	五四五
蠶絲業組合ノ役員ノ選任ニ關スル件(通牒)	五四六
蠶絲業組合法中改正法律施行ニ關スル件(通牒)	五四六
養蠶實行組合ノ設立等ノ認可及解散届出報告ニ關スル件(通牒)	五四七
蠶絲業組合法施行規則ノ疑義ニ關スル件(通牒)	五四九
養蠶業組合及同聯合會役員及議員選任ニ關スル件(通牒)	五五〇

第八章 絲價安定融資補償法關係法規

絲價安定融資補償法(法律)	五五三
絲價安定融資補償法施行期日ノ件(勅令)	五五四
絲價安定融資補償法施行規則(省令)	五五四
絲價安定融資擔保生絲買收法(法律)	五五六
絲價安定融資擔保生絲買收法施行規則(省令)	五五七
絲價安定融資損失善後處理法(法律)	五五九
絲價安定融資損失善後處理法施行規則(省令)	五五九
買收生絲審査會規則	五六〇
生絲需要増進調査會官制(勅令)	五六〇

第九章 絲價安定施設法關係法規

絲價安定施設法(法律)	五六三
絲價安定施設法施行期日ノ件(勅令)	五六七
絲價安定施設法施行令(勅令)	五六八
絲價安定施設法施行令第七條及第八條ノ特例ニ關スル件(勅令)	五七三
絲價安定施設法施行規則(省令)	五七四
絲價安定施設特別會計法(法律)	五七八
絲價安定施設特別會計規則(勅令)	五八九
絲價安定施設特別會計規則(勅令)	五九一
絲價安定施設法施行規則第十三條ノ特例ニ關スル件(省令)	五九一
蠶絲證券發行規程(省令)	五九三
絲價安定施設法ノ施行ニ關スル件(通牒)	五九三
繭絲諸調査要綱ノ改正並繭絲調査指導員及府縣調査員ノ囑託及解囑手續 設定ニ關スル件(通牒)	六〇一



市町村ノ區域ニ設置スル繭絲調査員ノ囑託及解囑攝行ニ關スル件(通牒) ..... 六〇三  
絲價安定委員會官制(勅令) ..... 六〇八

第十章 輸出生絲取引法關係法規

輸出生絲取引法(法律) ..... 六一三  
輸出生絲取引法施行期日ノ件(勅令) ..... 六一五  
輸出生絲取引法施行規則(省令) ..... 六一五  
輸出生絲取引法第一條第二項及第二條ノ地指定ノ件(告示) ..... 六二二  
輸出生絲取引法施行規則第十七條ノ二ニ依ル指定ノ件(告示) ..... 六二二  
輸出生絲登錄令(勅令) ..... 六三二  
臨時輸出生絲登錄所設置ニ關スル件(勅令) ..... 六三三  
輸出生絲登錄所ノ名稱及位置ノ件(告示) ..... 六三四

第十一章 輸出生絲檢查法並ニ生絲檢查所關係法規

輸出生絲檢查法(法律) ..... 六三七  
輸出生絲檢查法施行期日ノ件(勅令) ..... 六三八  
輸出生絲檢查法施行規則(省令) ..... 六三八  
生絲檢查手數料令(勅令) ..... 六五四

輸出生絲檢查法第二條第二項ノ地指定ノ件(告示) ..... 六五五  
生絲檢查所ノ名稱及位置(告示) ..... 六五五  
生絲檢查所官制(勅令) ..... 六五六  
生絲檢查所檢查及鑑定規則(省令) ..... 六六〇  
生絲檢查所處務規程(訓令) ..... 六六一  
檢查受付時間 ..... 六六二  
檢查鑑定依頼書書式 ..... 六六三  
生絲整理法講習規程 ..... 六六三  
地方生絲檢查所規程(省令) ..... 六六七

第十二章 海外生絲市場調査事務所關係法規

臨時海外生絲市場調査事務所設置ニ關スル件(勅令) ..... 六六一  
海外生絲市場調査事務所長委任事務規程 ..... 六七二  
海外生絲市場調査事務所ノ名稱及位置(告示) ..... 六七三

第十三章 輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律關係法規



輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律(法律)	六七五
生絲配給統制規則(省令)	六七六
生絲配給統制規則第四條第一項ノ規定ニ依ル指定ノ件(告示)	六八〇
生絲配給統制規則施行ニ關スル件(通牒)	六八〇
生絲配給統制規則第十四條第二項ニ關スル件(通牒)	六八一
生絲問屋蠶絲商共同施設組合設立ニ關スル件(通牒)	六八六
生絲問屋蠶絲商共同施設組合定款例	六八一
生絲配給統制ニ關スル件(通牒)	六八二
玉絲製造ニ關スル件(省令)	六八七
玉絲製造ニ關スル件(通牒)	六八七
農林省令第四十三號玉絲製造ニ關スル件(通牒)	六八八

第二編 關係諸法規

產業組合法(法律)	六九五
產業組合法施行規則(省令)	七二二
農業倉庫業法(法律)	七二九
農業倉庫業法施行規則(省令)	七三三
重要物產同業組合法(法律)	七三七
重要物產同業組合法施行規則(省令)	七三六
重要物產同業組合第十條ノ四第三項ノ規定ニ依ル重要輸出品ノ種類(告示)	七三七
重要物產同業組合及同聯合會ノ取扱ニ關スル件(通牒)	七三六
同業組合準則(達)	七五〇
道府縣手数料令(勅令)	七五一
重要物產ノ検査手数料ニ關スル件(省令)	七五一
重要物產ノ検査ニ關スル取扱方ノ件(通牒)	七五五
法人ニ於テ租税ニ關シ事犯アリタル場合ニ關スル法律(法律)	七五五

第二編 主要關係團體定款並ニ諸規程

一 蠶絲業組合法ニ依ル團體	七五九
全國養蠶業組合聯合會會則	七六一
全國蠶種業組合聯合會會則	七六七
全國產業組合製絲組合聯合會會則	七七三
全國製絲業組合聯合會會則	七七九
橫濱生絲問屋業組合定款	七八五
神戸生絲問屋業組合定款	七九一



橫濱生絲輸出業組合定款	七九七
神戸生絲輸出業組合定款	八〇三
日本中央蠶絲會會則	八〇八
二 絲價安定施設法ニ依ル團體	八一五
絲價安定施設組合定款	八一七
三 民法ニ依ル團體	八二九
社團又ハ財團法人設立ノ件(省令)	八三一
社團法人帝國蠶絲組合定款	八三三
帝國蠶絲組出資金徵收ニ關スル要綱	八三五
社團法人大日本蠶絲會定款	八三七
社團法人日本蠶絲學會定款	八三九
財團法人蠶絲科學研究所寄附行爲	八四二
四 商法ニ依ル團體	八四五
帝國蠶絲倉庫株式會社定款	八四七
帝國蠶絲倉庫株式會社營業規則	八四九
帝國蠶絲株式會社定款	八五四
五 產業組合法ニ依ル團體	八五九
保證責任大日本生絲販賣組合聯合會定款	八六一
保證責任全國乾繭販賣購買組合聯合會定款	八七三
六 生絲取引規約	八八一
輸出生絲賣買取引規約	八八三
輸出生絲賣買取引ニ關スル申合事項	八八六
生絲取引仲裁規則	八八七
生絲賣込問屋取扱規約	八九〇



第一編 蠶絲業法規



第一章 蠶絲業法關係法規



蠶絲業法

明治四十四年三月法律第四十七號  
改正大正六年七月法律第十六號  
改正昭和四年三月法律第十八號  
改正昭和六年三月法律第二十五號  
改正昭和九年三月法律第二十五號  
改正昭和十一年五月法律第十一號

第一條 本法ニ於テ蠶絲業者ト稱スルハ養蠶、蠶種製造、

生絲製造、真綿製造、殺蛹乾繭又ハ蠶種、繭、生絲、屑

物類ノ賣買、仲立若ハ保管ヲ業トスル者ヲ謂フ

命令ヲ以テ規定スル蠶絲業者ノ團體ハ第二十九條乃至第

三十四條ノノ規定ヲ適用シ付テハ之ヲ蠶絲業者ト看做

ス(昭和十一年法律第十一號本項追加)

第二條 本法ニ於テ蠶種製造者ト稱スルハ府縣ヲ除クノ外

他人ニ譲渡スノ目的ヲ以テ蠶種ヲ製造スル者ヲ謂フ(昭

和九年法律第十五號本條改正)

第三條 本法ニ於テ蠶病ト稱スルハ微粒子病、軟化病、硬

化病、膿病及變蛆病ヲ謂フ

第四條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ命令ノ定ム

ル所ニ依リ病蠶及斃蠶ノ病原微生物並變蛆及其ノ蛹、蠅

ヲ滅殺シ其ノ他蠶病豫防ノ爲必要ナル施設ヲ爲スヘシ

主務大臣ハ學術研究ノ爲蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲

ス者ニ對シ前項ノ規定ヲ適用セサルコトヲ得

第五條 蠶種製造者タラムトスル者ハ地方長官ノ免許ヲ受

クヘシ

第六條 蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶室及蠶具ノ

消毒ヲ行フヘシ

第七條 削除(昭和九年法律第二十五號本條削除)

第八條 削除(大正六年法律第十六號本條削除)

蠶絲業法

ス者ニ對シ前項ノ規定ヲ適用セサルコトヲ得

第五條 蠶種製造者タラムトスル者ハ地方長官ノ免許ヲ受

クヘシ

第六條 蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶室及蠶具ノ

消毒ヲ行フヘシ

第七條 削除(昭和九年法律第二十五號本條削除)

第八條 削除(大正六年法律第十六號本條削除)

第九條 蠶種製造者ハ現ニ普通蠶種ノ蠶兒ノ掃立又ハ其ノ

飼育ヲ爲ス建物内ニ於テ蠶種製造用蠶兒ノ掃立ヨリ蠶種

ノ製造ヲ終ル迄ノ作業ヲ爲スコトヲ得ヌ(昭和四年法律

第十八號第二項削除)

第十條 府縣及原蠶種管理法第九條第一項ノ許可ヲ受ケタ

ル蠶種製造ニ原蠶種ヲ製造セントスルトキハ一蠶別ニ産

卵セシムベシ(昭和四年法律第十八號及昭和九年法律第

二十五號本條改正)

第十一條 蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶種ノ製造

ニ用フル繭ノ検査ヲ受クベシ

蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ母蛾ニ付蠶種ノ検査

ヲ受クベシ

前項ノ検査ハ普通蠶種ニ在リテハ掃立口毎ノ歩合検査ト

ス



蠶種製造者ハ歩合検査ニ合格セザル普通蠶種ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ再検査ヲ受ケルコトヲ得(昭和四年法律第十八號本條改正)

第十一條ノ二 蠶種業組合、同業組合、同業組合聯合會又ハ蠶種製造者ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ前條ノ検査ニ代ヘ組合員、所屬組合ノ組合員又ハ自己ノ製造スル蠶種ニ關シ検査ヲ行フコトヲ得(昭和六年法律第二十五號本項改正)前項ノ検査ニ關スル方法ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケベシ(昭和四年法律第十八號本條追加)

府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ自己ノ製造スル蠶種ニ關シ検査ヲ行フベシ(昭和九年法律第二十五號本項追加)第十二條 主務大臣ハ第十一條ノ規定ニ拘ラス學校、講習所、試驗場等ニ於テ製造シタル蠶種ヲ普通蠶種ト指定スルコトヲ得(大正六年法律第十六號、昭和四年法律第十八號及昭和九年法律第二十五號本條改正)

第十三條 地方長官ハ第十一條及第十七條ノ検査ニ合格シタル蠶種ニハ證印ヲ押捺シ其ノ検査ニ合格セザル蠶種ハ之ヲ燒棄スヘシ但シ第十一條ノ歩合検査ニ合格セザル蠶種ニ付テハ地方長官ノ定ムル期間内ニ同條第四項ノ規定ニ依リ検査ノ請求ナキトキハ其ノ期間ヲ經過シタル後之ヲ燒棄スヘシ(大正六年法律第十六號及昭和四年法律第

十八號本項改正)第十一條ノ二ノ規定ニ依リ蠶種ニ關スル検査ヲ行フ者ハ其ノ検査ニ合格シタル蠶種ニハ證印ヲ押捺シ其ノ検査ニ合格セザル蠶種ハ之ヲ燒棄スベシ(昭和四年法律第十八號本項追加)

第十四條 検査合格ノ證印ナキ蠶種及其ノ蠶兒ハ之ヲ讓渡シ又ハ飼育スルコトヲ得ス但シ第十二條ノ規定ニ依リ指定セラレタル蠶種及其ノ蠶兒ハ此ノ限ニ在ラス(大正六年法律第十六號本條改正)第十五條 地方長官ハ錯誤ニ依リ又ハ不法ニ押捺セラレタル検査合格ノ證印ヲ發見シタルトキハ遲滞ナク之ヲ抹消スヘシ

第十六條 蠶種製造者ニ非サル者ハ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス學術研究ノ爲ニスル場合ニ於テハ主務大臣ノ許可ヲ受ケ第十四條及前項ノ規定ニ拘ラス蠶種ノ製造又ハ蠶兒ノ飼育ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法中蠶種製造者ニ關スル規定ノ全部又ハ一部ヲ準用スルコトヲ得(大正六年法律第十六號本條改正)

第十七條 本法ヲ施行セザル地又ハ外國ニ於テ製造シタル蠶種ヲ移入又ハ輸入シタル者ハ其ノ蠶種ニ對シ母蛾又ハ定ヲ準用スルコトヲ得

卵ニ付検査ヲ受クヘシ但シ前條第二項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラス移入又ハ輸入前官署公署ノ證明ヲ得タル蠶種ニ對シテハ前項ノ検査ニ代ヘ其ノ證明ニ付検査ヲ爲スコトヲ得(大正六年法律第十六號本條改正)

第十八條 削除(昭和九年法律第二十五號本條刪除)

第十九條 主務大臣又ハ地方長官ハ桑苗ノ仕立、繭ノ乾燥、蠶絲類ノ検査若ハ賣買又ハ桑苗、蠶種若ハ繭ノ賣買若ハ取引市場ニ關シ取締上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得但シ地方長官ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケルコトヲ要ス(大正六年法律第十六號及昭和四年法律第十八號本條改正)

第二十條 蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ關シ取締上必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム(大正六年法律第十六號本條改正)第二十一條 削除(大正六年法律第十六號本條刪除)

第二十二條 府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第十一條及第十七條ノ検査其ノ他蠶病豫防ノ爲必要ナル吏員ヲ置クヘシ(大正六年法律第十六號本條改正)

第二十三條 削除(大正六年法律第十六號本條刪除)

第二十四條 削除(昭和九年法律第二十五號本條刪除)

第二十五條 地方長官必要ト認ムルトキハ野蠶ノ飼育、採種又ハ野蠶生繭ノ取扱ヲ業トスル者ニ第四條第一項ノ規

定ヲ準用スルコトヲ得

第二十六條 第十一條及第十七條ノ検査其ノ他蠶病豫防ニ關シ必要ナル費用ハ府縣ノ負擔トス但シ國庫ハ其ノ半額以內ヲ補助スルコトヲ得(大正六年法律第十六號本條改正)

第二十七條 府縣ハ第十一條第四項ノ検査ヲ受ケタル蠶種ニ對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ検査手数料ヲ徵收スルコトヲ得(大正六年法律第十六號及昭和四年法律第十八號本條改正)

第二十八條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ設置ニ付テハ重要物産同業組合法第三條及第四條ノ規定ヲ準用ス

第二十九條 蠶絲業者ハ其ノ蠶絲業ノ改良發達及統制ヲ圖ル爲共同ノ施設ヲ爲ス目的ヲ以テ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶絲共同施設組合ヲ設立スルコトヲ得(昭和六年法律第二十五號本條乃至第三十四條刪除)(昭和十一年法律第十一號本條乃至第三十四條ノ十追加)

第三十條 蠶絲共同施設組合ハ法人トス

第三十一條 蠶絲共同施設組合ハ左ノ事業ヲ行フ

- 一 組合員ノ生産若ハ製造又ハ取扱ニ係ル蠶種、繭又ハ蠶絲類ノ加工若ハ販賣又ハ仲立



- 二 組合員ノ事業ニ必要ナル物ノ共同購入、共同設備ノ設置及資金ノ貸付
  - 三 組合員ノ生産又ハ製造シタル蠶絲類ノ検査
  - 四 組合員ノ事業ノ聯絡統制ニ關スル施設
  - 五 組合員ノ事業ニ關スル指導、研究及調査
  - 六 前各號ニ掲グルモノノ外組合ノ目的ヲ達スルニ必要ナル施設
- 第三十二條 蠶絲共同施設組合ノ組織ハ無限責任、有限責任及保證責任ノ三種トス
- 無限責任ノ組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハザル場合ニ於テ組合員ノ全員ガ連帶無限ノ責任ヲ負擔シ有限責任ノ組合ニ在リテハ組合員ノ全員ガ其ノ出資額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔シ保證責任ノ組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハザル場合ニ於テ組合員ノ全員ガ其ノ出資額ノ外一定ノ金額(保證金額)ヲ限度トシテ責任ヲ負擔ス
- 第三十三條 蠶絲共同施設組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ名稱中ニ蠶絲共同施設組合タルコトヲ示スベキ文字及組合ノ組織ヲ示スベキ文字ヲ用フベシ
- 蠶絲共同施設組合ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ蠶絲共同施設組合タルコトヲ示スベキ文字ヲ用フルコトヲ得ズ

- 第三十四條 本法ニ依リ登記スベキ事項ハ登記前ニ在リテハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ
  - 第三十四條ノ二 本法ニ依リ登記スベキ事項ハ其ノ事實ノ生ジタル後二週間以内ニ之ヲ登記スベシ
  - 登記スベキ事項ニシテ行政官廳ノ認可ヲ要スルモノハ其ノ認可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス
  - 第三十四條ノ三 蠶絲共同施設組合ヲ設立セントスル者ハ定款ヲ作成シテ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ
  - 第三十四條ノ四 蠶絲共同施設組合ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載シ各設立者之ニ署名又ハ記名捺印スベシ
- 一 目的
  - 二 名稱
  - 三 組織
  - 四 地區
  - 五 事務所ノ所在地
  - 六 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法
  - 七 組合員ノ有スベキ出資口數ニ關スル規定
  - 八 保證責任ノ組合ニ在リテハ保證金額ニ關スル規定
  - 九 剩餘金處分及損失分擔ニ關スル規定
  - 十 準備金ノ額及其ノ積立ノ方法
  - 十一 組合員タル資格ニ關スル規定

- 十二 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定
- 十三 事業及其ノ執行ニ關スル規定
- 十四 役員ニ關スル規定
- 十五 會計ニ關スル規定
- 十六 組合ガ公告ヲ爲ス方法
- 十七 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由
- 第三十四條ノ五 蠶絲共同施設組合ハ出資ノ第一回ノ拂込アリタル後二週間以内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スベシ
- 登記スベキ事項左ノ如シ
- 一 前條第一號乃至第四號、第六號、第十六號及第十七號ニ掲グル事項
- 二 事務所
- 三 出資ノ總口數及拂込ミタル出資ノ總額
- 四 無限責任ノ組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名又ハ名稱及住所
- 五 保證責任ノ組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名又ハ名稱、住所及保證金額
- 六 設立認可ノ年月日
- 七 理事及監事ノ氏名及住所

- 前項ニ掲グル事項中ニ變更ヲ生ジタルトキハ其ノ登記ヲ爲スベシ但シ前項第三號ニ掲グル事項ニ付テハ毎事業年度末日ノ現在ニ依リ事業年度終了後一月以内ニ登記ヲ爲スコトヲ得
- 第三十四條ノ六 蠶絲共同施設組合ニハ理事及監事ヲ置クベシ
- 理事及監事ハ總會ニ於テ之ヲ選任ス但シ組合設立當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムベシ
- 第三十四條ノ七 組合員ハ總會ニ於テ各一個ノ議決權ヲ有ス但シ定款ノ定ムル所ニ依リ出資口數ニ應ジ二個以上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ得
- 前項但書ノ規定ニ依リ組合員ノ有スベキ議決權ノ數ノ制限ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第三十四條ノ八 組合員タル資格ヲ有スル者蠶絲共同施設組合ニ加入セントスルトキハ組合ハ正當ノ理由ナクシテ加入ニ困難ナル條件ヲ附シ又ハ其ノ加入ヲ拒ムコトヲ得ズ
- 第三十四條ノ九 組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ一定ノ期間前ニ豫告ヲ爲シ蠶絲共同施設組合ノ承諾ヲ得タル場合ニ於テハ事業年度ノ終ニ於テ脱退スルコトヲ得
- 組合ハ正當ノ理由ナクシテ前項ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ズ



第三十四條ノ十 民法第四十四條第一項、第四十五條第二項第三項、第四十八條、第五十條、第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條、第五十九條、第六十一條第一項、第六十二條、第六十四條、第六十六條、第七十條、第七十三條乃至第八十二條及第八十四條第一號、非訟事件手續法第三十五條第二項、第三十六條、第三十七條ノ二、第一百十七條、第一百十九條乃至第二百二十二條、第三百三十六條乃至第三百三十八條、第四百一十一條乃至第五百五十八條、第六百六十五條、第七百七十五條乃至第七百七十八條及第二百六條乃至第二百八條並ニ産業組合法第五條、第六條、第十條、第十一條第一項、第十二條、第十七條第一項、第十八條乃至第二十四條、第二十六條乃至第三十一條ノ三、第三十三條、第三十四條ノ二乃至第三十七條、第三十九條乃至第四十六條、第四十七條乃至第四十九條、第五十一條乃至第五十八條、第六十條第一項(清算ニ關スル規定ヲ除ク)、第六十條ノ二、第六十一條(清算ニ關スル規定ヲ除ク)、第六十二條(第一項第四號ヲ除ク)、第六十三條ノ二乃至第六十五條、第六十六條第一項、第六十七條、第六十八條、第七十條乃至第七十三條、第七十四條ノ二第一項、第九十三條ノ二及第四百四條ノ規定ハ蠶絲共同施設組合ニ之ヲ準用ス但シ民法第四十五條第三項、第四十

八條第一項及第七十七條中一週間トアルハ二週間トシ同法第八十四條中二百圓トアルハ三百圓トシ非訟事件手續法第二十條第二項中定款トアルハ定款及出資ノ第一回ノ拂込アリタルコトヲ證スル書面トシ産業組合法中主務大臣、地方長官又ハ監督官廳トアルハ行政官廳トス  
第三十五條 當該官吏更員ハ蠶病若ハ桑ノ病蟲害ノ豫防、繭ノ乾燥又ハ蠶絲類ノ検査若ハ賣買ニ關シ蠶種、繭、桑苗又ハ蠶絲類ノ取扱ヲ爲ス者ノ店舖、倉庫、製造場、飼育場、検査場、乾燥場、圃場等ニ臨檢シ物品及帳簿其ノ他ノ書類ヲ調査シ又ハ必要ナル分量ニ限り無償ニテ物品ヲ收去スルコトヲ得(大正六年法律第十六號及昭和四年法律第十八號本項改正)  
主務大臣又ハ地方長官本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲アリト認ムルトキハ當該官吏更員ヲシテ前項ニ掲ケタル場所ニ臨檢シ被疑者若ハ參考人ヲ尋問シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件、帳簿、書類ヲ搜索シ若ハ之カ差押ヲ爲サシムルコトヲ得(昭和四年法律第十八號本項改正)  
臨檢、尋問、搜索又ハ差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス  
第三十五條ノ二 行政官廳ハ蠶種業組合、同業組合、同業組

合聯合會又ハ蠶種製造者ガ第十一條ノ二ノ規定ニ依リ行フ検査ニ關シ検査ノ補正ヲ爲サシメ合格ノ決定ヲ取消シ證印ノ抹消ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得(昭和四年法律第十八號本條追加昭和六年法律第二十五號本條改正)

第三十六條 當該官吏更員又ハ蠶種業組合、同業組合若ハ同業組合聯合會ノ検査員ハ自己、親族又ハ同居者ニ對シ第十一條、第十一條ノ二及第十七條ノ検査ヲ爲スコトヲ得ス(昭和四年法律第十八號及同六年法律第二十五號本條改正)

第三十七條 蠶絲業者ノ所爲ニシテ本法若ハ原蠶種管理法又ハ之ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ地方長官ハ其ノ業務ヲ停止シ若ハ制限シ又ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得(昭和九年法律第二十五號本項改正)  
前項ノ處分ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得其ノ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十七條ノ二 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス(昭和四年法律第十八號本條追加)  
一 第十一條ノ二第二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル方

法ニ違反シテ検査ヲ行ヒタル者  
二 第十三條第二項ノ規定ニ違反シテ蠶種ヲ燒棄セザル者  
第三十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス  
一 詐欺ノ所爲ヲ以テ第十一條、第十一條ノ二又ハ第十條ノ七條ノ検査ヲ受ケタル者(昭和四年法律第十八號本條改正)  
二 第十四條ノ規定ニ違反シタル者(大正六年法律第十六號本條改正)

第三十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ參百圓以下ノ罰金ニ處ス  
一 免許ヲ受ケスシテ他人ニ讓渡スノ目的ヲ以テ蠶種ヲ製造シタル者  
二 第四條第一項又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者  
第四十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ貳百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス  
一 第九條ノ規定ニ違反シタル者(大正六年法律第十六號本條改正)  
二 第十六條第一項ノ規定ニ違反シタル者  
第四十一條 第三十七條ノ二、第三十八條、第三十九條第一號又ハ前條第二號ノ犯罪ニ係ル蠶種、蠶兒又ハ繭ハ之



蠶絲業法關係法規

ヲ沒收シ既ニ讓渡シタル場合ニ於テハ其ノ價額ヲ追徵ス  
(大正六年法律第十六號、昭和四年法律第十八號及昭和九年法律第二十五號本項改正)

前項ノ蠶種又ハ蠶兒犯人以外ノ者ニ屬スルトキハ行政官廳ノ處分ヲ以テ之ヲ沒收スルコトヲ得

第四十二條 第三十五條ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ妨ケタル者又ハ臨檢ノ際當該官吏ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲ササル者ハ貳百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四十三條 蠶絲業者未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十四條 蠶絲業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ従業者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得但シ相當ノ注意ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十五條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

第四十六條 本法中府縣ニ關スル規定ハ北海道ニ於テハ北海道地方費ニ之ヲ準用ス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
附 則 (昭和六年法律第二十五號)

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
附 則 (昭和九年法律第二十五號)

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
附 則 (昭和十一年法律第十一號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

製絲業法第一條第二項中「第二條乃至第十一條及附則第二項ノ規定」ヲ「本法」ニ改メ同條第三項及同法第十二條乃至第二十七條ヲ削リ

登錄稅法第十九條第七號中「生絲共同施設組合」ヲ「蠶絲共同施設組合」ニ改ム

日本勸業銀行法第十五條第三項及第三十二條第一項第三號、農工銀行法第七條ノ五及第二十三條第三號並ニ北海道拓殖銀行法第八條第四項中「生絲共同施設組合」ヲ「蠶絲共同施設組合」ニ改ム

本法施行ノ際現ニ存スル生絲共同施設組合ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ本法ニ依ル蠶絲共同施設組合ト看做ス

蠶絲業法施行期日ノ件

(明治四十四年十一月二十  
二日勅令第二百七十五號)

蠶絲業法施行期日ノ件

附 則 (明治四十四年法律第四十七號)  
第四十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

蠶病豫防法ハ之ヲ廢止ス

第四十八條 本法ハ命令ヲ以テ指定スル地域ニ之ヲ施行セズ(昭和四年法律第十八號本項改正)

本法ヲ施行セザル地域ガ本法ヲ施行スル地域ト爲リタル際ニ於ケル必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和四年法律第十八號本項追加)

第四十九條 蠶病豫防法ニ依ル検査合格ノ證印ハ之ヲ本法ニ依ル検査合格ノ證印ト看做ス

第五十條 蠶病豫防法ニ依リ検査ニ合格シタル原種ハ之ヲ特別蠶種ト看做ス

第五十一條 本法施行前製造シタル自家用蠶種ノ蠶兒ハ本法施行後ト雖之ヲ飼育スルコトヲ得

第五十二條 本法施行ノ際蠶種ノ冷蔵ヲ業トスル者ハ本法施行後一年ヲ限り免許ヲ受ケスシテ其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得

附 則 (大正六年法律第十六號)  
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
從前ノ規定ニ依ル特別蠶種ハ之ヲ原蠶種ト看做ス  
附 則 (昭和四年法律第十八號)

蠶絲業法ハ明治四十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス  
(大正六年十二月十二日  
勅令第二百二十六號)

大正六年法律第十六號ハ大正七年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス  
(昭和四年十二月二十六  
日勅令第三百六十四號)

昭和四年法律第十八號ハ昭和五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス  
(昭和六年七月九日  
勅令第七十三號)

昭和六年法律第二十五號中第十一條ノ二第一項、第三十五條ノ二及第三十六條ノ改正規定ハ蠶絲業組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和八年五月三日  
勅令第九十二號)

昭和六年法律第二十五號中第二十九條乃至第三十四條削除ノ規定ハ昭和八年五月十日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和十年八月二十四日  
勅令第二百五十八號)

原蠶種管理法附則第八項ノ規定ハ昭和十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス(蠶絲業法第三十七條第一項改正)

(昭和十一年八月二十九  
日勅令第二百九十九號)



昭和十一年法律第十一號ハ昭和十一年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和十四年一月十日勅令第十三號)

原蠶種管理法附則第二項及第五項ノ規定ハ昭和十四年十一月一日以後ニ於テ掃立ツベキ原種及其ノ蠶兒ニ關スル範圍内ニ於テ同年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和十四年十月十四日勅令第七百二號)

原蠶種管理法中未ダ施行セラレザル部分ハ昭和十四年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

蠶種検査手数料ニ關スル件

大正六年十二月十二日勅令第二百二十七號

第一條 蠶絲業法第二十七條ノ規定ニ依ル蠶種検査手数料

左ノ如シ

一 同條第一項ノ規定ニ依ルモノ

一枚又ハ一容器ニ付 十五錢

二 同條第二項ノ規定ニ依ルモノ

框製又ハ袋製 一枚又ハ一容器ニ付 五錢以内  
平附又ハ散卵 一枚又ハ一容器ニ付 四錢以内

蠶絲業法第二十七條ノ規定ニ依ル蠶種検査手数料ハ平附ニ在リテハ蠶種一枚ニ付、散卵ニ在リテハ産卵用紙布一枚ニ付四錢以内トス

附 則

本令ハ昭和四年法律第十八號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

蠶絲業法施行規則

明治四十四年十月農商務省令第三十號

改正 大正六年三月農商務省令第五號

全部 大正六年十二月農商務省令第三十三號

改正 大正八年四月農商務省令第九號

改正 大正十年四月農商務省令第七號

改正 大正十五年五月農林省令第十一號

全部 昭和四年十二月農林省令第二十九號

改正 昭和六年七月農林省令第十八號

改正 昭和八年五月農林省令第七號

改正 昭和十年八月農林省令第二十二號

改正 昭和十一年八月農林省令第十九號

改正 昭和十二年四月農林省令第九號

改正 昭和十四年一月農林省令第三號

蠶種検査手数料ニ關スル件 蠶絲業法施行規則

第二條 前條ノ手数料ハ原蠶種ニ在リテハ母蛾ノ検査ヲ、普通蠶種ニ在リテハ卵又ハ母蛾ノ検査ヲ行ヒタル府縣又ハ北海道地方費ニ於テ之ヲ徴收スヘシ

附 則

本令ハ大正六年法律第十六號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正七年一月十五日ヨリ施行)

明治四十四年勅令第二百十四號ハ之ヲ廢止ス

蠶種検査手数料ニ關スル件

大正七年六月十七日附農第八〇二六號農務局長通牒

蠶絲業法改正ノ結果原蠶種ノ検査及普通蠶種ノ歩合検査ニ關スル手数料ハ之ヲ廢止シタルモ普通蠶種ノ再検査ニ關スル手数料ハ地方財政ノ現狀ニ鑑ミ已ムヲ得サルモノト認メ之ヲ徴收ノ途ヲ設ケ置カレ候處今回蠶病豫防費國庫補助則ヲ改正セラレ國庫補助金額ヲ增加交付可相成答ニ有之候ニ就テハ右手数料ハ已ムヲ得サル場合ヲ除クノ外ハ斯業獎勵ノ爲可成之ヲ徴收セサル様致度依命此段及通牒候也

蠶種検査手数料ニ關スル件

昭和四年十二月二十六日勅令第三百六十五號

改正 昭和十四年十月農林省令第五十三號  
改正 昭和十五年五月農林省令第三十一號

第一條 蠶絲業法第五條ノ規定ニ依リ蠶種製造ノ免許ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ

一 氏名又ハ名稱及住所

二 蠶種製造ノ管理者ヲ置キタルトキハ其ノ氏名及住所

三 蠶種製造場所及蠶兒飼育場所

四 蠶種製造又ハ蠶兒飼育ノ用ニ供スル建物ノ棟數並ニ蠶室ノ數及其ノ面積

五 掃立蟻量及蠶種製造額ノ概定數

地方長官蠶種製造ノ免許ヲ爲シタルトキハ蠶種製造ノ免許證ヲ交付スベシ

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ蠶種製造ノ免許ヲ受ケルコトヲ得ズ

一 一年間ノ蠶種製造額概定數十萬蛾ニ滿タザル者

二 掃立蟻量及蠶種製造額ノ概定數ニ相當スル蠶室ノ設備ナキ者

三 蠶絲業ニ關スル知識經驗ナキ者但シ蠶種製造ノ管理者ヲ置ク者ヲ除ク

四 蠶絲業法第三十八條又ハ第三十九條ノ規定ニ依リ處



罰ヲ受ケタル後一年ヲ經過セザル者  
五 蠶種製造ノ免許ヲ取消サレタル後一年ヲ經過セザル者

第三條 蠶種製造者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ地方長官ハ蠶種製造ノ免許ヲ取消スコトヲ得

一 正當ノ事由ナクシテ一年間蠶種ノ製造ヲ爲サズ若ハ

一年間ノ蠶種製造額十萬蠶ニ滿タザルトキ又ハ前條第

二號ニ該當スルニ至リタルトキ

二 蠶絲業ニ關スル知識經驗ナキ者蠶種製造ノ管理者ヲ

置カザルニ至リタルトキ

三 蠶絲業法第三十八條又ハ第三十九條ノ規定ニ依リ處

罰ヲ受ケタルトキ

第四條 蠶種製造ノ管理者ハ蠶絲業ニ關スル知識經驗アル

者ニシテ第二條第四號及第五號ニ該當セザルモノタルコ

トヲ要ス

蠶種製造ノ管理者ハ同時ニ二人以上ノ蠶種製造者ノ蠶種

製造ノ管理者タルコトヲ得ズ

蠶種製造者ハ蠶種製造ノ管理者タルコトヲ得ズ

地方長官蠶種製造者又ハ蠶種製造ノ管理者ガ業務ヲ管理

シ難シト認ムルトキハ管理者ノ設置、増員又ハ變更ヲ命

ズルコトヲ得

シタル願書ノ記載事項若ハ前條ノ規定ニ依リ届出デタル  
事項ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク地方長官ニ之ヲ届出  
ツベシ但シ死亡ノ場合ニ於テハ其ノ相續人、戸主又ハ家  
族ヨリ之ヲ届出ツベシ

第八條 蠶種製造者死亡シ若ハ解散シ又ハ其ノ業務ヲ廢止

シタルトキハ蠶種製造ノ免許ハ其ノ效力ヲ失フ但シ死亡

又ハ解散ノ場合ニ於テ其ノ相續人又ハ合併後存続スル法

人若ハ合併ニ因リテ設立シタル法人ガ引續キ其ノ業務ヲ

行フトキハ被相續人又ハ合併ニ因リテ解散シタル法人ニ

對シテ爲シタル蠶種製造ノ免許ハ爾後相續人又ハ合併後

存続スル法人若ハ合併ニ因リテ設立シタル法人ニ對シ之

ヲ爲シタルモノト看做ス

蠶種製造者ニ付死亡以外ノ事由ニ因ル相續アリタル場合

ニ於テ相續人ニ於テ引續キ其ノ業務ヲ行フトキハ被相續

人ニ對シテ爲シタル蠶種製造ノ免許ハ爾後相續人ニ對シ

之ヲ爲シタルモノト看做ス

第一項但書及前項ノ場合ニ於テハ相續又ハ合併アリタル

コトヲ證スル書類ヲ添附シ遲滞ナク地方長官ニ其ノ旨ヲ

届出ツベシ(昭和十二年農林省令第九號本條改正)

第九條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者蠶蛆又ハ其ノ

蛹若ハ蠶ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ壓殺シ、熱殺シ又

第五條 蠶種製造者ハ蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル地方

長官ノ定ムル所ニ依リ毎年左ノ事項ヲ地方長官ニ届出ツ

ベシ

一 蠶種製造場所及蠶兒飼育場所

二 原蠶種製造額豫定數

三 普通蠶種製造額豫定數

第六條 生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ生繭取扱場所所在地ヲ管轄

スル地方長官ノ定ムル所ニ依リ左ノ事項ヲ地方長官ニ届

出ツベシ

一 氏名又ハ名稱、住所及蠶絲業ニ關スル業種

二 生繭取扱場所

三 生繭取扱豫定期間

四 生繭取扱豫定數

生繭ノ取扱ヲ爲ス者自ラ生繭取扱場所ヲ管理セザルトキ

ハ自己ニ代ルベキ管理者ヲ置キ其ノ氏名及住所ヲ地方長

官ニ届出ツベシ

前二項ノ規定ハ養蠶者、蠶種製造者及自家用ノ真綿、生

絲等ヲ製造スル爲生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニ付テハ之ヲ適用

セズ

第七條 蠶種製造者又ハ前條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル

者死亡シ若ハ業務ヲ廢止シ又ハ第一條ノ規定ニ依リ提出

ハ水殺スベシ

第十條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者病患アリト認

ムル蠶兒、蠶蛹、蠶蛾又ハ其ノ屍體ヲ發見シタルトキハ

直ニ之ヲ燒棄シ又ハ熱湯「フオルマリン」若ハ石灰水中

ニ投入シ、死繭又ハ薄皮繭ヲ發見シタルトキハ直ニ之

ヲ乾燥シ又ハ熱湯中ニ投入シテ其ノ病原體ヲ滅殺スベシ

第十一條 蠶兒ノ飼育ヲ爲ス者ハ多數ノ病蠶ヲ生ジ蠶病蔓

延ノ虞アル場合ニ於テハ健蠶ヲ他ニ移シ病蠶及斃蠶ハ前

條ニ規定スル方法ニ依リ之ヲ處理シ其ノ蠶室及蠶具ハ第

十五條ニ規定スル方法ニ依リ之ヲ消毒スベシ

第十三條 生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ生繭ヲ集散シ又ハ保存ス

ル場所ノ床又ハ其ノ場所ノ底部ニ蠶蛆及其ノ蛹又ハ蠶ノ

散逸ヲ防グニ足ル設備ヲ爲シ且其ノ場所ノ周圍ニ高さ六

センチメートル以上ノ障板ヲ設クベシ但シ蠶蛆及其ノ蛹

ノ散逸ヲ防グニ足ル構造ノ場所ニ於テ生繭ヲ集散シ若ハ

保存シ又ハ蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ヲ防グニ足ル構造ノ容器

ニ生繭ヲ保存スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ障板ト生繭トガ接觸スル場合ニ於テハ障板ノ高さ

ハ接觸部ノ上端ヨリ測リテ六センチメートル以上アルコ

トヲ要ス

地方長官必要ト認ムルトキハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニ對シ



生繭ヲ集散シ又ハ保存スル室ノ床下ニ蠶蛆及其ノ蠅ノ散逸ヲ防グニ足ル設備ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十六條 蠶種製造者蠶種製造用蠶兒ノ掃立ヲ終リタルトキハ蠶兒飼育場所所在地ヲ管轄スル地方長官ノ定ムル所ニ依リ左ノ事項ヲ記載シタル掃立届ヲ地方長官ニ提出スベシ

第十三條 生繭ノ取扱ヲ爲ス者生繭ヲ運搬シ又ハ之ヲ運搬セシムルトキハ蠶蛆又ハ其ノ蛹ノ散逸ヲ防グニ足ル容器ニ之ヲ納ムベシ

一 蠶兒飼育場所  
二 化性、品種名及原蠶種製造者ノ氏名又ハ名稱  
三 掃立月日  
四 蠶數又ハ卵量及蠶量  
五 掃立口ノ記號

第十四條 地方長官ハ蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ノ虞ナキ季節又ハ土地ニ付テハ第六條、第十二條又ハ前條ノ規定ヲ適用セザルコトヲ得

第十七條 蠶種製造者ハ蠶種製造用蠶兒ノ掃立ヲ終リタルトキハ掃立口毎ニ掃立口ノ記號ヲ附シ蠶種ノ製造ヲ終ル迄蠶兒、繭、蛾及卵ニ付其ノ屬スル掃立口ヲ明ニスベシ合併、分割其ノ他ノ事由ニ因リ掃立口ニ變更アリタルトキ亦同ジ

第十五條 蠶種製造者ハ第一號、第四號又ハ第五號ノ方法ニ依リ蠶室ヲ、第一號乃至第四號ノ一ノ方法ニ依リ蠶具ヲ消毒スベシ但シ新築ノ蠶室又ハ新調ノ蠶具ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十八條 化性、品種名、記號又ハ製造者ノ異ナル原蠶種ヨリ産出シタル蠶兒、繭、蛾及卵並ニ蠶兒飼育場所又ハ掃立月日ノ異ナル蠶兒、繭、蛾及卵ハ掃立口ヲ異ニスベシ

一 「フオルマリン」撒布消毒  
二 蒸汽消毒  
三 蟻酸「アルデヒド」瓦斯消毒  
四 昇汞水消毒  
五 「クロール」石灰水消毒

ル繭、蛾及卵、孵化期ノ變化ヲ生ズベキ卵若ハ交雜ニ依リ産出シタル卵ノ掃立口ヲ分割スルコトヲ得

二十二條 第二項但書ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テハ繭ノ検査ヲ受ケントスル場所ヲ附記シ其ノ場所ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ

第十九條 蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終ル迄之ニ用ヒタル原蠶種ノ臺紙又ハ容器ヲ保存スベシ

一 蠶兒飼育場所  
二 化性、品種名及掃立口ノ記號  
三 上簇ノ始期及終期  
四 收繭豫定期日

第二十條 蠶種製造者蠶種製造用蠶兒ヲ蠶種製造者ニ讓渡シタルトキハ遲滞ナク左ノ事項ヲ蠶兒飼育場所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ届出ツベシ

第二十二條 蠶絲業法第十一條第一項ノ繭ノ検査ハ蠶兒飼育場所ニ於テ之ヲ行フ但シ地方長官特別ノ事由アリト認ムルトキハ蠶兒飼育場所以外ノ場所ニ於テ之ヲ行フコトヲ得

一 化性、品種名及原蠶種製造者ノ氏名又ハ名稱  
二 掃立月日  
三 掃立口ノ記號  
四 讓渡數量(掃立口ヲ分割シテ讓渡シタル場合ニ於テハ全部ニ對スル割合)

前項ノ検査ヲ受ケントスル繭ハ其ノ検査ヲ終ル迄之ヲ蠶兒飼育場所以外ニ搬出スルコトヲ得ズ但シ天災其ノ他ノ不可抗力ノ場合又ハ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

五 讓渡前及後ノ蠶兒飼育場所  
六 讓受人ノ氏名又ハ名稱及住所  
七 讓渡月日

第二十三條 蠶絲業法第十一條第一項ノ繭ノ検査ハ掃立口毎ニ之ヲ行ヒ當該品種固有ノ繭色及繭形ヲ有シ且其ノ齊一ナルモノヲ合格トシ然ラザルモノヲ不合格トス

第二十一條 蠶種製造者蠶絲業法第十一條第一項ノ繭ノ検査ヲ受ケントスルトキハ蠶種製造用蠶兒ノ上簇ヲ終リタル後遲滞ナク左ノ事項ヲ記載シタル繭検査請求書ヲ蠶兒飼育場所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ但シ第

検査ヲ行ヒタル繭ヲ産出シタル原蠶種ノ臺紙又ハ容器ニハ様式第一號ニ依リ繭検査済印ヲ押捺ス

検査ニ合格シタル繭ニ對シテハ掃立口毎ニ様式第二號ニ

検査ニ合格シタル繭ニ對シテハ掃立口毎ニ様式第二號ニ

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則



依ル繭検査合格證ヲ交付ス

第二十四條 蠶種製造者蠶絲業法第十一條第一項ノ繭ノ検査ニ合格シタル繭種ヲ讓渡シタルトキハ掃立口全部ノ讓渡ノ場合ニ於テハ繭検査合格證ヲ返納シ、一部ノ讓渡ノ場合ニ於テハ繭検査合格證ノ裏書ヲ申請スベシ

前項ノ場合ニ於テ讓受人蠶種製造者ナルトキハ其ノ讓受ケタル繭種ニ付種繭證明書ノ交付ヲ繭検査合格證ヲ交付シタル地方長官ニ申請スベシ此ノ場合ニ於テハ様式第三號ニ依ル種繭證明書ヲ交付ス

前二項ノ規定ハ前項ノ種繭證明書アル繭種ノ讓渡及讓受ノ場合ニ付之ヲ準用ス

第二十五條 蠶種製造者蠶種製造用蠶兒ノ掃立後繭ノ検査前ニ於テ蠶種ノ製造ヲ廢止シタルトキハ其ノ廢止シタル蠶兒又ハ繭ニ付第十六條各號ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ遲滞ナク蠶兒飼育場所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ但シ第二十條ノ手續ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十六條 蠶種ノ臺紙ハ縦三五・四センチメートル横二二・四センチメートルノ厚紙ヲ用フベシ  
検査合格證印ノ押捺アル蠶種ノ臺紙又ハ容器ハ之ヲ再用スルコトヲ得ズ

ヲ産卵セシメ一枚分ノ母蛾ヲ一容器ニ納メ蠶種ノ検査後散卵ト爲スベシ但シ再検査ニ供セザル蠶種ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

散卵ハ之ヲ容器ニ納ムベシ一容器ニ納ムベキ散卵ノ量ハ三十グラム、二十グラム、十五グラム、十グラム又ハ五グラムタルコトヲ要ス(昭和十年省令第二十二號及昭和十一年省令第十九號本項改正)

前條第四項ノ規定ハ第二項及第三項ノ母蛾ノ容器ニ付之ヲ準用ス

第二十九條 蠶種製造者蠶種ノ製造ヲ終リタルトキハ其ノ蠶種ニ記號及番號ヲ附スベシ

蠶種ノ記號ハ卵ノ屬スル掃立口ノ記號ヲ用フベシ但シ交雜ニ依リ製造シタル蠶種ニハ雌蛾及雄蛾ノ屬スル掃立口ノ記號ヲ併用スベシ

蠶種ノ番號ハ記號別ニ蠶種ノ臺紙、産卵用紙布又ハ容器毎ニ之ヲ附スベシ

第三十條 蠶種製造者ハ蠶種ノ検査前左ノ事項ヲ様式第四號ニ依リ蠶種ノ臺紙又ハ容器ノ表面ニ記載スベシ但シ蠶種ノ検査後卵ヲ容器ニ納ムルモノニ在リテハ検査合格證印ノ押捺前之ヲ爲スベシ  
一 化性、品種名、越年不越年ノ別、記號及番號

蠶絲業法施行規則

第二十七條 蠶種製造者原蠶種ヲ製造セントスルトキハ框製、袋製其ノ他ノ一蛾別製ト爲スベシ

框製ニ在リテハ其ノ臺紙ヲ二十八區ニ區劃シ一母蛾ヲシテ一區ニ産卵セシメ母蛾ト其ノ區トニ同一ノ符號ヲ附シ一母蛾毎ニ隔離シテ一枚分ノ母蛾ヲ一容器ニ納ムベシ  
袋製ニ在リテハ紙若ハ布製ノ袋ニ一母蛾ヲシテ産卵セシメ其ノ他ノ一蛾別製ニ在リテハ紙布片ニ一蛾別ニ産卵セシメ二十八蛾分以内ヲ一容器ニ納ム、母蛾ト卵トヲ分離スル場合ニ於テハ母蛾ト其ノ卵ノ袋又ハ紙布片トニ同一ノ符號ヲ附シ一母蛾毎ニ隔離シテ一容器分ノ母蛾ヲ一容器ニ納ムベシ

第二十八條 蠶種製造者普通蠶種ヲ製造セントスルトキハ平附又ハ散卵ト爲スベシ

平附ニ在リテハ臺紙一枚毎ニ七十蛾以内ヲ産卵セシメ一枚分ノ母蛾ヲ一容器ニ納ムベシ但シ再検査ニ供セザル蠶種ニ在リテハ二枚以上ノ臺紙ニ臺紙一枚ニ付七十蛾以内ノ割合ヲ以テ産卵セシメ又ハ一掃立口ノ母蛾ヲ混同シテ一容器ニ納ムルコトヲ得  
散卵ニ在リテハ産卵用紙布一枚毎ニ三十蛾以上百蛾以内

二 蠶種製造者ノ氏名又ハ名稱、住所及蠶種製造場所

三 繭色

四 系統

五 産卵月日

六 框製以外ノ一蛾別製ニ在リテハ産卵蛾數、平附ニ在リテハ臺紙ノ重量、卵量及其ノ秤量月日、散卵ニ在リテハ卵量及其ノ秤量月日

蠶種ヲ移入シ又ハ輸入シタル者ハ蠶絲業法第十七條ノ検査前左ノ事項ヲ様式第四號ニ依リ其ノ臺紙又ハ容器ニ記載スベシ  
一 化性及品種名  
二 移入シ又ハ輸入シタル者ノ氏名又ハ名稱及住所  
三 蠶種製造地  
四 繭色  
五 一蛾別製ニ在リテハ産卵蛾數、平附又ハ散卵ニ在リテハ卵量

第三十一條 蠶種ノ化性及品種名ハ其ノ蠶種ノ製造ニ用ヒタル繭ヲ産出シタル原蠶種ノ化性及品種名ヲ用フベシ  
(昭和十四年省令第五十三號本項改正)

交雜ニ依リ製造シタル蠶種ノ化性ハ雌蛾ヲ産出シタル原蠶種ノ化性ヲ用ヒ、品種名ハ雌蛾及雄蛾ヲ産出シタル原



蠶種ノ品種名ヲ併用シ交雜ノ二字ヲ冠スベシ

第三十二條 蠶種製造者又ハ蠶種ノ賣買ニ從事スル者ハ第三十條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記載シタル文字ノ訂正、増加若ハ抹消ヲ爲シ、蠶種ノ區、袋若ハ紙布片ノ填補ヲ爲シ又ハ散卵ノ容器ニ卵ノ増加ヲ爲スコトヲ得ズ但シ第六十一條ノ規定ニ該當スル場合及蠶種製造者第四十六條若ハ第六十三條ノ規定ニ依リ原蠶種ノ區、袋若ハ紙布片ノ填補ヲ爲シ又ハ蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル地方長官ノ承認ヲ受ケ文字ノ訂正、増加若ハ抹消ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ  
地方長官前項但書ノ規定ニ依リ文字ノ訂正、増加又ハ抹消ヲ承認シタルトキハ様式第五號ニ依ル變更證明ヲ押捺スベシ

第三十三條 削除(昭和十四年省令第五十三號本條削除)

第三十四條 蠶種製造者蠶絲業法第十一條第二項ノ規定ニ依リ原蠶種ノ母蛾ニ付蠶種ノ検査ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル原蠶種検査請求書ヲ地方長官ニ、母蛾及蠶種ヲ所轄蠶業取締所ニ提出スベシ

- 一 蠶種製造場所
- 二 化性、品種名及記號
- 三 産卵月日

二 臺紙又ハ産卵用紙布二十蛾未滿ヲ産卵セシメタルモ

第三十七條 蠶絲業法第十一條第一項ノ繭ノ検査ニ合格シタル繭繭ヨリ製造シタル蠶種ニ非ザレバ前三條ノ規定ニ依リ検査ノ請求ヲ爲スコトヲ得ズ但シ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十八條 移入又ハ輸入蠶種ノ検査ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル移入又ハ輸入蠶種検査請求書ヲ地方長官ニ、母蛾アルモノハ母蛾及蠶種ヲ母蛾ナキモノハ蠶種ヲ所轄蠶業取締所ニ提出スベシ

- 一 製造地
- 二 化性及品種名
- 三 原蠶種又ハ普通蠶種ト爲サントスル數量、母蛾アルモノハ其ノ母蛾ノ數

前項ノ検査請求書ニハ原蠶種管理法第十三條ノ規定ニ依ル蠶種ノ移入又ハ輸入ノ許可ヲ證スル書面ヲ添附スベシ(昭和十年省令第二十二號本項追加)

第三十九條 蠶種製造者ハ母蛾ニ高熱又ハ藥液ヲ加ヘ其ノ他微粒子ノ検出ヲ困難ナラシムル方法ヲ用フルコトヲ得ズ  
地方長官ハ故意若ハ過失ニ因リ前項ノ規定ニ違反スル方

蠶絲業法施行規則

四 製造方法別ニ依ル製造額

第三十五條 蠶種製造者蠶絲業法第十二條第二項及第三項ノ規定ニ依リ普通蠶種ノ母蛾ニ付蠶種ノ検査(歩合検査)ヲ受ケントスルトキハ前條各號ニ掲グル事項及製造方法別ニ依ル母蛾ノ數並ニ第二十八條第二項但書又ハ同條第三項但書ノ規定ニ該當スル蠶種ニ在リテハ其ノ旨ヲ記載シタル普通蠶種歩合検査請求書ヲ地方長官ニ、母蛾及蠶種ヲ所轄蠶業取締所ニ提出スベシ

第三十六條 蠶種製造者蠶絲業法第十一條第四項ノ再検査ヲ受ケントスルトキハ再検査ヲ受ケントスル部分ニ付左ノ事項ヲ記載シタル普通蠶種再検査請求書ヲ地方長官ニ提出スベシ

- 一 化性、品種名、記號及番號
  - 二 製造方法別ニ依ル請求數量及母蛾ノ數
- 蠶種製造者ハ前條ノ普通蠶種歩合検査請求書ニ再検査ヲ受ケントスル部分ニ付前項各號ノ事項ヲ附記シ豫メ之ガ請求ヲ爲スコトヲ得  
左ニ掲グル普通蠶種ニ付テハ再検査ノ請求ヲ爲スコトヲ得ズ

一 第二十八條第二項但書又ハ同條第三項但書ノ規定ニ該當スルモノ

法ノ用ヒラレタルモノ又ハ母蛾ノ亡失、取替若ハ混合ノ疑アルモノニ對シ蠶種ノ検査ヲ拒ムコトヲ得

第四十條 蠶絲業法第十一條第二項ノ規定ニ依リ原蠶種ノ母蛾ニ付行フ蠶種ノ検査ハ一蛾毎ニ顯微鏡ヲ以テ之ヲ行ヒ微粒子ヲ發見セザル蛾ノ産卵シタル區、袋又ハ紙布片ヲ合格トシ微粒子ヲ發見シタル蛾ノ産卵シタルモノヲ不合格トス

検査ニ不合格ト爲リタル區、袋又ハ紙布片ニハ様式第六號ニ依ル有毒印ヲ押捺ス  
母蛾ノ亡失シ又ハ混合シタル區、袋又ハ紙布片ニハ様式第七號ニ依ル缺蛾印ヲ押捺ス  
検査ニ合格シタル蠶種ニハ其ノ臺紙又ハ容器ニ様式第八號ニ依ル原蠶種検査合格證明ヲ押捺ス但シ有毒印又ハ缺蛾印ヲ押捺シタル區、袋又ハ紙布片ハ之ヲ除去ス

第四十一條 蠶絲業法第十一條第二項及第三項ノ規定ニ依リ普通蠶種ノ母蛾ニ付行フ蠶種ノ検査(歩合検査)ハ一掃立口ノ母蛾ノ數千蛾以上ノモノニ在リテハ十蛾又ハ其ノ端數毎ニ一蛾ノ割合ヲ以テ母蛾ヲ、百蛾以上千蛾未滿ノモノニ在リテハ百蛾ヲ、百蛾未滿ノモノニ在リテハ全部ノ母蛾ヲ探リ一蛾毎ニ顯微鏡ヲ以テ之ヲ行ヒ微粒子ヲ發見シタル母蛾ノ數検査蛾數ノ百分ノ一未滿ナルトキハ其



ノ掃立口全部ノ蠶種ヲ合格トシ百分ノ一以上ナルトキハ之ヲ不合格トス  
検査ニ合格シタル蠶種ニハ其ノ臺紙又ハ容器ニ様式第九號ニ依ル普通蠶種検査合格證印ヲ押捺ス但シ検査後卵ヲ容器ニ納ムルモノニ在リテハ様式第十號ニ依ル検査合格證明書ヲ交付ス  
検査ニ不合格ト爲リタル蠶種ニ付テハ其ノ旨ヲ蠶種製造者ニ通知ス

第四十二條 蠶絲業法第十一條第四項ノ再検査ハ臺紙又ハ産卵用紙布一枚毎二十蛾以上ノ母蛾ヲ採リ之ヲ十等分シ其ノ一分毎ニ顯微鏡ヲ以テ之ヲ行ヒ微粒子ヲ發見セザルモノヲ合格トシ之ヲ發見シタルモノヲ不合格トス  
検査ニ合格シタル蠶種ニハ其ノ臺紙又ハ容器ニ様式第十一號ニ依ル普通蠶種再検査合格證印ヲ押捺ス但シ検査後卵ヲ容器ニ納ムルモノニ在リテハ様式第十號ニ依ル再検査合格證明書ヲ交付ス

第四十三條 蠶種製造者第四十一條第二項但書又ハ前條第二項但書ノ規定ニ該當スル蠶種ヲ容器ニ納メタルトキハ検査合格證明書又ハ再検査合格證明書ヲ添ヘ之ヲ所轄蠶業取締所ニ提出シ検査合格證印ヲ押捺ヲ受クベシ

第四十四條 蠶絲業法第十七條第一項ノ検査ハ左ノ區別ニ

ニ合格シタルモノヲ合ム)ニハ其ノ臺紙又ハ容器ニ様式第十二號ニ依ル移入又ハ輸入原蠶種検査合格證印又ハ様式第十三號ニ依ル移入又ハ輸入普通蠶種検査合格證印ヲ押捺ス

第四十五條 前五條又ハ第六十二條ノ規定ニ依リ検査合格證印ヲ容器ニ押捺シタル場合ニ於テハ様式第十四號ニ依ル封緘證印ヲ押捺シ又ハ様式第十五號ニ依ル封緘證紙ヲ貼附ス  
容器ニ封緘證印又ハ封緘證紙ナキ蠶種ハ之ヲ讓渡シ又ハ讓受クルコトヲ得ズ

第四十六條 蠶業取締所ニ付蠶種ノ検査ヲ受ケタル者其ノ原蠶種ノ區、袋又ハ紙布片ヲ填補セントスルトキハ其ノ蠶業取締所ニ於テ之ヲ行ヒ框製蠶種ノ填補區ニハ様式第十六號ニ依ル繼印ノ押捺ヲ受クベシ

全部ノ區、袋又ハ紙布片ヲ填補ニ用ヒタル爲不用ト爲リタル臺紙又ハ容器ノ検査合格證印ハ其ノ抹消ヲ受クベシ  
第一項ノ規定ニ依リ區、袋又ハ紙布片ヲ填補セントスルトキハ検査ニ合格シタル同一記號ノ蠶種ノ區、袋又ハ紙布片ヲ用フベシ

第四十七條 蠶業取締所ニ付蠶種ノ検査ヲ受ケタル者其ノ検査合格證印アル蠶種ヲ散卵ト爲シタルトキ又ハ已ムヲ

從ヒ之ヲ行フ

一 原蠶種ト爲スモノノ検査

(イ) 母卵ニ付検査ヲ行フ場合ニ於テハ一母蛾毎ニ卵ト對照スルコトヲ得ルモノニ付テハ第四十條ノ規定ニ準ジ検査、合格又ハ不合格ノ決定及蠶種ノ處分ヲ行ヒ、之ヲ對照スルコト能ハザルモノニ付テハ全部ノ母蛾ニ付顯微鏡ヲ以テ検査ヲ行ヒ微粒子ヲ發見セザル場合ニ於テハ全部ノ蠶種ヲ合格トシ微粒子ヲ發見シタル場合ニ於テハ全部ノ蠶種ヲ不合格トス  
(ロ) 卵ニ付検査ヲ行フ場合ニ於テハ一枚又ハ一容器毎ニ百粒以上ノ卵ヲ採リ之ヲ十等分シ其ノ一分毎ニ顯微鏡ヲ以テ検査ヲ行ヒ微粒子ヲ發見セザルモノヲ合格トシ之ヲ發見シタルモノヲ不合格トス

二 普通蠶種ト爲スモノノ検査

(イ) 母蛾ニ付検査ヲ行フ場合ニ於テハ第四十一條第一項ノ規定ニ準ジ検査及合格又ハ不合格ノ決定ヲ行フ  
(ロ) 卵ニ付検査ヲ行フ場合ニ於テハ前條(ロ)ノ規定ニ準ジ検査及合格又ハ不合格ノ決定ヲ行フ  
前項第一號(イ)及第二號(ロ)ノ検査ハ母蛾ナキ場合ニ限り之ヲ行フ  
検査ニ合格シタル蠶種(蠶絲業法第十七條第二項ノ検査

得ザル事由ニ因リ其ノ容器ヲ變更シ若ハ開封シタルトキハ其ノ蠶業取締所ニ付容器ニ検査合格證印ノ押捺、封緘證印ノ押捺又ハ封緘證紙ノ貼附ヲ受クルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ新ナル容器ノ表面ニハ様式第四號ニ依リ第三十條第一項又ハ第二項各號ニ掲グル事項ヲ記載シ不用ト爲リタル臺紙又ハ容器ノ検査合格證印ハ其ノ抹消ヲ受クベシ(昭和十年省令第二十二號本項改正)

地方長官卵ノ取替又ハ混合ノ疑アリト認ムルトキハ第一項ノ検査合格證印ノ押捺、封緘證印ノ押捺又ハ封緘證紙ノ貼附ヲ拒ムコトヲ得容器ノ變更又ハ開封ニ付已ムヲ得ザル事由ナシト認ムルトキ亦同ジ

第四十八條 蠶業取締所ノ押捺シタル検査合格證印アル蠶種ヲ分割シテ讓渡サントスル者ハ其ノ蠶業取締所ニ付左ノ手續ヲ爲スベシ

一 框製又ハ平附蠶種ニ在リテハ其ノ臺紙ノ裏面ニ截斷セントスル部分ヲ區割シ各部ニ第三十條第一項又ハ第二項各號ニ掲グル事項並ニ分割者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載シ検査合格證印ノ押捺ヲ受クベシ  
二 框製以外ノ一蛾別製又ハ散卵蠶種ニ在リテハ蠶業取締所ニ於テ之ヲ分割シ各容器ノ表面ニ様式第四號ニ依リ第三十條第一項又ハ第二項各號ニ掲グル事項並ニ分



割者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載シ其ノ容器ニ検査合格證印ノ押捺及封緘證印ノ押捺又ハ封緘證紙ノ貼附ヲ受ケ且不用ト爲リタル容器ノ検査合格證印ハ其ノ抹消ヲ受ケベシ

第四十九條 第四十六條第二項、第四十七條第二項又ハ前條第二號ノ規定ニ依リ検査合格證印ノ抹消ヲ爲ス場合ニ於テハ様式第十七號ニ依ル消印ヲ押捺ス

第五十條 蠶種業組合、蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合又ハ同業組合聯合會ニシテ蠶絲業法第十一條ノ繭ノ検査及蠶種ノ検査ニ代ヘ其ノ組合員又ハ所屬組合ノ組合員ノ製造スル蠶種ニ關シ繭及蠶種ノ検査ヲ行ハントスルモノハ農林大臣ノ許可ヲ受ケベシ（昭和六年省令第十八號本項改正）

蠶種製造者ニシテ蠶絲業法第十一條ノ繭ノ検査及蠶種ノ検査ニ代ヘ自己ノ製造スル蠶種ニ關シ繭及蠶種ノ検査ヲ行ハントスルモノ亦前項ニ同ジ

第五十一條 蠶種業組合、蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合又ハ同業組合聯合會ニシテ蠶絲業法第十一條ノ蠶種ノ検査ニ代ヘ其ノ組合員又ハ所屬組合ノ組合員ノ製造スル自家用原蠶種ニ關シ蠶種ノ検査ヲ行ハントスルモノハ其ノ地區ヲ管轄スル地方長官ノ許可ヲ受ケベシ（昭和六年

省令第十八號本項改正）

蠶種製造者ニシテ蠶絲業法第十一條ノ蠶種ノ検査ニ代ヘ自己ノ製造スル自家用原蠶種ニ關シ蠶種ノ検査ヲ行ハントスルモノハ蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル地方長官ノ許可ヲ受ケベシ

第五十二條 左ノ各號ノ條件ヲ具備スル蠶種製造者ニ非ザレハ第五十條第二項ノ許可ヲ受クルコトヲ得ズ  
一 最近三年間ニ於ケル各年ノ蠶種製造額三十萬蛾以上タルコト

二 最近三年間ニ於ケル各年ノ普通蠶種歩合検査ノ合格歩合（検査合格額ノ検査總額ニ對スル割合）百分ノ九十五以上タルコト

三 適當ナル検査設備ヲ有スルコト  
四 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在リテハ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後二年ヲ經過シタルコト

第五 蠶絲業法若ハ原蠶種管理法又ハ之ニ基キテ發スル命令ニ違反シ處罰ヲ受ケ又ハ免許ヲ取消サレタル者ニ在リテハ處罰ヲ受ケ又ハ免許ヲ取消サレタル後三年ヲ經過シタルコト（昭和十年省令第二十二號本號改正）  
前項第三號ノ條件ヲ具備スル者ニ非ザレハ第五十條第一

項又ハ前條ノ許可ヲ受クルコトヲ得ズ

第五十三條 第五十條第一項ノ許可ヲ受ケントスル蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ（昭和六年省令第十八號本項改正）

一 名稱及事務所

二 組合員又ハ所屬組合ノ組合員ニシテ蠶種ノ製造ヲ爲スモノノ數、蠶種製造場所數、蠶兒飼育場所數並ニ原蠶種及普通蠶種ノ製造額概定數

三 繭及蠶種ノ検査ニ關スル規程

四 蠶種ノ検査場所並ニ検査ノ用ニ供スル建物ノ種類及面積

五 蠶種ノ検査ニ關スル設備

六 繭及蠶種ノ検査ニ從事スル者ノ數

七 蠶種検査ノ管理者ノ氏名及履歷ノ要領

八 繭及蠶種ノ検査ニ關スル收支豫算

第五十條第二項ノ許可ヲ受ケントスル蠶種製造者ハ前項第四號乃至第七號ニ掲グル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

一 氏名又ハ名稱及住所

二 履歷ノ要領

蠶絲業法施行規則

三 蠶種製造場所及蠶兒飼育場所  
四 最近三年間ニ於ケル各年ノ原蠶種及普通蠶種ノ製造額

五 最近三年間ニ於ケル各年ノ普通蠶種ノ歩合検査成績前二項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第五十四條 第五十一條第一項ノ許可ヲ受ケントスル蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ地方長官ニ提出スベシ（昭和六年省令第十八號本項改正）

一 名稱及事務所

二 組合員又ハ所屬組合ノ組合員ニシテ原蠶種ノ製造ヲ爲スモノノ數及原蠶種ノ製造額概定數

三 検査ニ關スル規程

四 原蠶種ノ検査額概定數

五 検査場所並ニ検査ノ用ニ供スル建物ノ種類及面積

六 検査ニ關スル設備

七 検査ニ從事スル者ノ數

八 蠶種検査ノ管理者ノ氏名及履歷ノ要領

九 検査ニ關スル收支豫算

第五十一條第二項ノ許可ヲ受ケントスル蠶種製造者ハ前



項第四號乃至第七號ニ掲グル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ地方長官ニ提出スベシ

- 一 氏名又ハ名稱及住所
- 二 履歷ノ要領

前二項ノ書類ノ外地方長官ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第五十五條 第五十條ノ許可ヲ受ケタル者第五十三條第一項第三號、第四號又ハ第五號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ農林大臣ノ許可ヲ、第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者前條第一項第三號、第五號又ハ第六號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受ケベシ

第五十六條 第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ検査ニ關スル方法ヲ定メ第五十三條又ハ第五十四條ノ申請書ノ提出ト同時ニ其ノ認可ヲ申請スベシ

検査ニ關スル方法ヲ變更セントスルトキハ農林大臣又ハ地方長官ノ認可ヲ受ケベシ

第五十七條 前條ノ検査ニ關スル方法ハ蠶業取締所ノ行フモノト同等以上タルコトヲ要ス

第五十八條 農林大臣必要ト認ムルトキハ第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行フ蠶種ニ關スル検査ニ從事スル者及蠶種検査ノ管理者ノ資格ヲ定ムルコトアル

ヲ受ケタル蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會ニ付蠶種ノ検査ヲ受ケタル者ハ其ノ蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會ノ承認ヲ受ケ第三十條第一項ノ規定ニ依リ蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記載シタル文字ノ訂正、増加又ハ抹消ヲ爲スコトヲ得(昭和六年省令第十八號本項改正)

蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會前項ノ承認ヲ爲シタルトキハ様式第五號ニ依ル變更證明印ヲ捺捺スベシ

(昭和六年省令第十八號本項改正)  
第五十條第二項又ハ第五十一條第二項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者第三十條第一項ノ規定ニ依リ蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記載シタル文字ノ訂正、増加又ハ抹消ヲ爲シタルトキハ様式第五號ニ依ル變更證明印ヲ捺捺スベシ

第六十二條 第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者蠶種ノ検査ヲ行ヒタルトキハ原蠶種ニ在リテハ合格シタル蠶種ノ臺紙又ハ容器ニハ様式第八號ニ依ル原蠶種検査合格證明印ヲ、不合格ト爲リタル區、袋又ハ紙布片ニハ様式第六號ニ依ル有毒印ヲ、母蛾ノ亡失シ又ハ混合シタル區、袋又ハ紙布片ニハ様式第七號ニ依ル缺蛾印ヲ捺捺シ、普通蠶種ニ在リテハ歩合検査又ハ再検査ニ合格シタル蠶種ノ臺紙又ハ容器ニハ様式第九號ニ依ル普通蠶種検査合

ベシ

前項ノ資格ヲ定メタルトキハ之ヲ告示ス  
蠶種検査ノ管理者ハ同時ニ他ノ蠶種業組合、同業組合、同業組合聯合會又ハ蠶種製造者ノ蠶種検査ノ管理者タルコトヲ得ズ(昭和六年省令第十八號本項改正)

第五十九條 第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ハ検査場所毎ニ毎年検査開始ヨリ少クトモ十日前ニ左ノ事項ヲ農林大臣ニ届出ヅベシ

- 一 検査場所
- 二 検査ノ開始及終了ノ豫定月日
- 三 繭、原蠶種及普通蠶種ノ検査額豫定數

第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ検査ノ開始及終了ノ豫定月日並ニ原蠶種ノ検査額豫定數ヲ地方長官ニ届出ヅベシ

第六十條 蠶種製造者第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行フ繭ノ検査ニ合格シタル種繭ヲ讓渡ス場合ニ於テハ其ノ検査ヲ行ヒタル者ノ作成シタル種繭證明書ヲ讓受人ニ交付スベシ但シ蠶種製造者ニ非ザル者ニ讓渡ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ種繭證明書ハ様式第三號ニ依リ之ヲ作成スベシ  
第六十一條 第五十條第一項又ハ第五十一條第一項ノ許可

格證明印又ハ様式第十一號ニ依ル普通蠶種再検査合格證明印ヲ捺捺スベシ  
前項ノ有毒印又ハ缺蛾印ヲ捺捺シタル區、袋又ハ紙布片ハ之ヲ除去スベシ

第六十三條 第五十條第一項又ハ第五十一條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會ニ付蠶種ノ検査ヲ受ケタル者其ノ原蠶種ノ區、袋又ハ紙布片ヲ填補セントスルトキハ蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會ノ定ムル所ニ依リ其ノ検査場所ニ於テ之ヲ行ヒ框製蠶種ノ填補區ニハ様式第十六號ニ依ル繼印ノ捺捺ヲ受ケベシ(昭和六年省令第十八號本項改正)

第五十條第二項又ハ第五十一條第二項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者自ラ検査ヲ行ヒタル原蠶種ノ區、袋又ハ紙布片ヲ填補セントスルトキハ検査場所ニ於テ之ヲ行ヒ框製蠶種ノ填補區ニハ様式第十六號ニ依ル繼印ヲ捺捺スベシ

第四十六條第二項及第三項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ付之ヲ準用ス  
第六十四條 第五十條第一項又ハ第五十一條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會ニ付蠶種ノ検査ヲ受ケタル者其ノ検査合格證明印アル蠶種ヲ散卵ト爲シタルトキ又ハ已ムヲ得ザル事由ニ因リ其ノ容



器ヲ變更シ若ハ開封シタルトキハ蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會ノ定ムル所ニ依リ容器ニ検査合格證印ノ押捺、封緘證印ノ押捺又ハ封緘證紙ノ貼附ヲ受クルコトヲ得但シ蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會ハ卵ノ取替若ハ混合ノ疑アリト認ムルトキ又ハ容器ノ變更若ハ開封ニ付已ムヲ得ザル事由ナシト認ムルトキハ其ノ手續ヲ拒ムコトヲ得(昭和六年省令第十八號本項改正)

第五十條第二項又ハ第五十一條第二項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者其ノ検査合格證印アル蠶種ヲ散卵ト爲シタルトキ又ハ已ムヲ得ザル事由ニ因リ其ノ容器ヲ變更シ若ハ開封シタルトキハ自ら容器ニ検査合格證印ノ押捺、封緘證印ノ押捺又ハ封緘證紙ノ貼附ヲ爲スコトヲ得

第四十七條第二項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ付之ヲ準用ス第六十五條 第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺シタル検査合格證印アル蠶種ヲ分割シテ讓渡サントスル者ハ其ノ検査合格證印ヲ押捺シタル者ニ付第四十八條ノ規定ニ準ジ手續ヲ爲スベシ

第六十六條 第四十九條ノ規定ハ前三條ノ規定ニ依リ不用ト爲リタル臺紙又ハ容器ノ検査合格證印ノ抹消ヲ爲ス場合ニ付之ヲ準用ス

第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ毎年其ノ検査成績ヲ地方長官ニ報告スベシ

第六十九條 第五十條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會ニ付繭ノ検査ヲ受ケタル者及同條第二項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ハ繭ノ検査終了後蠶兒飼育場所所在地ヲ管轄スル地方長官ノ定ムル所ニ依リ左ノ事項ヲ地方長官ニ届出ツベシ(昭和六年省令第十八號本項改正)

- 一 蠶兒飼育場所
- 二 化性、品種名及掃立口ノ記號
- 三 收購數量
- 四 検査ニ合格シタル繭繭ノ數量
- 五 検査月日

第七十條 第五十條ノ許可ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ農林大臣ハ其ノ許可ヲ取消スコトアルベシ

- 一 其ノ行フ検査ニ關シ蠶絲業法又ハ同法ニ基キテ發スル命令又ハ處分ニ違反シタルトキ
- 二 適當ナル検査設備ヲ缺クニ至リタルトキ
- 三 正當ノ事由ナクシテ其ノ検査ヲ行ハザルトキ
- 四 第五十條第二項ノ許可ヲ受ケタル者ニ在リテハ引續キ三年以上各年ノ蠶種製造額三十萬蛾ニ滿タザルトキ

第六十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ニ在リテハ農林大臣ニ、第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ニ在リテハ地方長官ニ滯滞ナク其ノ旨ヲ届出ツベシ但シ第一號ノ場合ニ於テハ其ノ相續人、戸主又ハ家族ヨリ其ノ旨ヲ届出ツベシ

- 一 許可ヲ受ケタル者死亡シタルトキ
- 二 許可ヲ受ケタル者蠶種ニ關スル検査ヲ廢止シタルトキ
- 三 許可ヲ受ケタル者其ノ氏名、名稱、住所又ハ事務所ヲ變更シタルトキ
- 四 蠶種ニ關スル検査ニ從事スル者ノ數又ハ蠶種検査ノ管理者ニ變更アリタルトキ

蠶種検査ノ管理者ノ變更届ニハ新ニ管理者ト爲リタル者ノ履歷ノ要領ヲ記載スベシ

第六十八條 第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ハ毎年四月三十日迄ニ左ノ事項ヲ記載シタル前年ノ検査成績ヲ農林大臣ニ報告スベシ

- 一 繭ノ検査ヲ行ヒタル掃立口ノ數及其ノ繭ノ數量並ニ検査ニ合格シタル掃立口ノ數及其ノ繭繭ノ數量
- 二 蠶種ノ検査ヲ行ヒタル原蠶種及普通蠶種ノ製造方法別數量及其ノ検査合格數量

第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者前項第一號、第二號又ハ第三號ニ該當スルトキハ地方長官ハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第七十一條 法人、組合其ノ他ノ團體ハ其ノ團體員又ハ他人ノ爲ニ検査合格證印アル普通蠶種ニ付微粒子ノ顯微鏡検査ヲ爲スコトヲ得ズ

第七十一條ノ二 蠶絲業法第十一條ノ二第三項ノ規定ニ依リ道府縣ノ行フ原蠶種ニ關スル検査ニ付テハ第二十三條第一項第二項、第三十條第一項、第三十一條第一項、第四十條、第四十五條、第六十一條第三項、第六十三條第二項第三項、第六十四條第二項第三項及第六十六條ノ規定ニ準據スベシ但シ検査ニ合格シタル蠶種ニ押捺スベキ證印ハ様式第八號ノ二ニ依ル原蠶種印トス(昭和十四年省令第三號本條乃至第七十一條ノ四追加)

第七十一條ノ三 原蠶種管理法第五條第一項ノ規定ニ依リ道府縣ノ配付シタル原蠶種ヲ分割シテ讓渡サントスル者ハ其ノ原蠶種印ヲ押捺シタル道府縣ニ付第四十八條ノ規定ニ準ジ手續ヲ爲スベシ



依リ配付スル原蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ様式第八號ノ二ニ依ル原蠶種印ヲ捺捺シ政府又ハ他ノ道府縣ノ捺捺セル原蠶種印ヲ抹消スベシ  
前項ノ場合ニ於テハ様式第十七號ニ依ル消印ヲ捺捺スベシ前條ノ規定ハ原蠶種管理法第十二條ノ規定ニ依リ道府縣ノ配付シタル原蠶種ニ之ヲ準用ス

第七十二條 學術研究ノ爲蠶種ノ製造及其ノ蠶兒ノ飼育ヲ爲サントスル者ハ農林大臣ノ許可ヲ受クベシ  
學術研究ノ爲蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニシテ蠶絲業法第四條第一項ノ適用ヲ免レントスルモノ亦前項ニ同ジ

第一項ノ許可ヲ受ケタル者ニハ第十二條及第十三條ノ規定ヲ準用ス  
國ノ學校、試驗場等又ハ府縣ノ蠶業試驗場ハ前三項ノ規定ニ拘ラズ學術研究ノ爲蠶種ノ製造及其ノ蠶兒ノ飼育ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ蠶絲業法第四條第一項ノ規定ノ適用ヲ免除ス

第七十三條 前條第一項又ハ第二項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ  
一 氏名又ハ名稱及住所

二 蠶種ノ製造、検査及配付ニ關スル規程

三 配付セントスル普通蠶種ノ數量

四 蠶種ヲ配付セントスル期間

五 專任職員ノ氏名及履歷ノ要領

第七十六條 第七十三條第一項各號又ハ前條各號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク農林大臣ニ之ヲ届出ツベシ

第七十二條第一項、第二項又ハ第七十四條ノ許可ヲ受ケタル者死亡シ又ハ學術ノ研究若ハ蠶種ノ配付ヲ廢止シタルトキハ遲滞ナク農林大臣ニ之ヲ届出ツベシ但シ死亡ノ場合ニ於テハ其ノ相續人、戸主又ハ家族ヨリ之ヲ届出ツベシ

第七十七條 農林大臣必要ト認ムルトキハ第七十二條第一項、第二項又ハ第七十四條ノ許可ヲ取消スコトアルベシ  
第七十八條 第七十四條ノ許可ヲ受ケタル學校、講習所又ハ試驗場等ニ於テ配付スル蠶種ノ製造及検査ノ方法ハ本則中普通蠶種ニ關スル規定ニ準據スベシ(昭和十四年省令第五十三號本條改正)

第七十九條 蠶絲業法第十二條ノ規定ニ依リ普通蠶種ヲ指定スルコト左ノ如シ

一 國ノ學校、試驗場等又ハ府縣ノ蠶業試驗場ニ於テ學

蠶絲業法施行規則

二 研究ノ目的、期間及方法

三 研究ニ從事スル者及之ヲ主管スル者ノ氏名及履歷ノ要領

四 前條第二項ノ許可ヲ受ケントスル者ニ在リテハ其ノ適用ヲ免レントスル範圍

學校、講習所又ハ試驗場等ニ在リテハ直接研究ノ任ニ當ル職員ヲ以テ前項第三號ノ研究ニ從事スル者ト、校長、所長、場長又ハ之ニ準ズベキ者ヲ以テ其ノ主管者ト看做ス  
第七十四條 道府縣、市、市町村學校組合、町村學校組合、公益法人、蠶絲業組合又ハ蠶絲業ニ關スル同業組合ノ設置スル學校、講習所又ハ試驗場等ニシテ蠶絲業ニ關スル知識經驗アル專任職員三人以上ヲ有シ蠶量五十グラム以上ヲ飼育スルニ適當ナル蠶室、蠶具、桑園其ノ他ノ設備ヲ有スル者ハ第七十二條第一項ノ許可ヲ受ケテ製造シタル蠶種ヲ農林大臣ノ許可ヲ受ケ配付スルコトヲ得(昭和八年省令第七號本項改正)

農林大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ規定ニ依リ配付スル蠶種ノ數量ヲ制限スルコトヲ得

第七十五條 前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ  
一 蠶室、蠶具、桑園其ノ他ノ設備

術研究ノ爲製造シ配付スルモノ

二 道府縣、市、市町村學校組合、町村學校組合、公益法人、蠶絲業組合又ハ蠶絲業ニ關スル同業組合ノ設置スル學校、講習所又ハ試驗場等ニ於テ第七十四條ノ許可ヲ受ケ配付スルモノ(昭和十四年省令第五十三號本條改正)

第八十條 府縣ノ蠶業試驗場又ハ第七十四條ノ許可ヲ受ケタル者ハ前條ノ規定ニ依リ指定セラレタル蠶種ニ様式第十九號ニ依ル普通蠶種印ヲ捺捺スベシ(昭和十四年省令第五十三號本條改正)

第八十一條 死籠繭ヲ除クノ外化蛹セザル生繭ハ之ヲ賣買スルコトヲ得ズ但シ其ノ生繭ヲ搬出セズ又ハ搬出セシメザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第八十二條 他人ニ讓渡ス目的ヲ以テ桑苗ヲ生産スル者ハ桑苗ノ生産場所所在地ヲ管轄スル地方長官ノ定ムル所ニ依リ毎年左ノ事項ヲ地方長官ニ届出ツベシ桑苗圃ニアル以上ヲ有スル者亦同ジ

一 氏名又ハ名稱及住所

二 桑苗ノ生産場所

三 桑苗ノ品種別生産豫定數

四 仕立法別苗圃ノ面積



第七條ノ規定ハ前項ノ届出ヲ爲シタル者死亡シ若ハ業務ヲ廢止シ又ハ前項ノ規定ニ依リ届出デタル事項ニ變更アリタル場合ニ付之ヲ準用ス

第八十三條 他人ニ讓渡ス目的ヲ以テ桑苗ヲ生産スル者又ハ桑苗圃ニアル以上ヲ有スル者ハ桑苗ノ生産場所ニ在ル桑苗ノ葉ヲ摘採シ又ハ摘採セシムルコトヲ得ズ

地方長官ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ前項ノ規定ニ付別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第八十四條 害菌若ハ害蟲ノ附着セル桑苗、著シク發育ノ不良ナル桑苗又ハ前條ノ規定ニ違反シテ葉ヲ摘採シタル桑苗ハ之ヲ讓渡スコトヲ得ズ但シ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第八十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ願書ニ履歷書及最近ノ撮影ニ係ル本人ノ寫眞二葉ヲ添ヘ住所地方官ノ管轄スル地方長官ニ提出シ其ノ免許ヲ受ケベシ

一 蠶種若ハ生繭ノ賣買若ハ仲立ヲ業トスル者又ハ其ノ從業者ニシテ自ラ蠶種又ハ生繭ノ賣買又ハ仲立ヲ爲サントスルモノ

二 蠶種製造者ノ從業者ニシテ蠶種ノ行商ヲ爲サントスルモノ

三 生絲製造者又ハ其ノ從業者ニシテ生絲製造工場以外

ニシテ桑苗ノ行商ヲ爲サントスルモノ亦同ジ

前項ノ鑑札ハ住所地方官ノ管轄スル地方長官之ヲ交付ス

第八十八條 蠶種製造者又ハ第六條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル者ハ蠶兒飼育場所、蠶種製造場所又ハ生繭ノ取扱場所ニ様式第二十二號ニ依ル標札ヲ掲グベシ

第八十二條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル者ハ桑苗ノ生産場所ニ様式第二十三號ニ依ル標札ヲ建ツベシ

第八十九條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ地區ハ道府縣ノ區域ニ依ルベシ但シ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第九十條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ設置ニ付テハ重要物産同業組合法施行規則第三條乃至第十一條ノ規定ヲ準用シ同則第四十一條第一項、第二項及第四項ノ規定ヲ適用セズ但シ發起人ハ同業組合ノ代表者タルコトヲ要ス

前項ノ發起人ノ數ハ五名以上タルコトヲ要セズ  
蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ定款ニハ地區及營業ノ種類ヲ記載スベシ

第九十一條 蠶絲業法第一條第二項ノ規定ニ依リ蠶絲業者ト看做サルモノハ養蠶實行組合及蠶絲共同施設組合トス(昭和八年省令第七號本條乃至第百條削除)(昭和十一

ニ於テ自ラ生繭ノ買入ヲ爲サントスルモノ

地方長官前項ノ免許ヲ爲シタルトキハ様式第二十號ニ依リ免許證ヲ交付スベシ

第一項ノ免許ノ期間ハ三年以内トス但シ其ノ期間ハ申請ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得

第八十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ前條ノ免許ヲ受ケルコトヲ得ズ

一 蠶種又ハ繭ノ鑑定及取扱ニ關スル知識經驗ナキ者

二 蠶絲業法又ハ同法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ處罰ヲ受ケタル後一年ヲ經過セザル者

三 前二號ノ外地方長官ニ於テ不適當ト認ムル者

地方長官必要ト認ムルトキハ前項第一號ノ知識經驗ニ付試験ヲ行フコトヲ得

前條ノ免許ヲ受ケタル者蠶絲業法又ハ同法ニ基キテ發スル命令又ハ處分ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害スル虞アリト認ムルトキハ地方長官ハ業務ヲ停止シ若ハ制限シ又ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

第八十七條 蠶種製造者其ノ製造シタル蠶種ノ行商ヲ爲サントスルトキ又ハ桑苗ノ生産若ハ賣買ヲ業トスル者桑苗ノ行商ヲ爲サントスルトキハ様式第二十一號ニ依ル鑑札ヲ携帯スベシ桑苗ノ生産又ハ賣買ヲ業トスル者ノ從業者

年省令第十九號本條乃至第百條ノ八追加)

第九十二條 蠶絲業法第二十九條ノ規定ニ依リ設立シ得ベキ蠶絲共同施設組合ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限ル

一 蠶種製造者ヲ以テ組織スルモノ(蠶種共同施設組合)

二 生絲製造者ヲ以テ組織スルモノ(生絲共同施設組合)

三 殺蛹乾繭又ハ蠶種、繭、生絲、屑物類ノ賣買、仲立若ハ保管ヲ業トスル者ヲ以テ組織スルモノ(蠶絲商共同施設組合)

四 養蠶實行組合、蠶種製造者(蠶種共同施設組合ヲ含ム)、殺蛹乾繭又ハ繭ノ賣買、仲立若ハ保管ヲ業トスル者(蠶絲商共同施設組合ヲ含ム)又ハ生絲製造者(生絲共同施設組合ヲ含ム)ノ二種以上ノモノヲ以テ組織スルモノ(共營蠶絲組合)

第九十三條 蠶絲共同施設組合ハ其ノ名稱中ニ前條第一號ニ該當スルモノニ在リテハ蠶種共同施設組合、同條第二號ニ該當スルモノニ在リテハ生絲共同施設組合、同條第三號ニ該當スルモノニ在リテハ蠶絲商共同施設組合、同條第四號ニ該當スルモノニ在リテハ共營蠶絲組合ナル文字ヲ用フベシ

第九十四條 蠶絲共同施設組合設立ノ認可申請書ニハ定款



ノ外事業計畫書、設備要領書並ニ組合員毎ノ出資口數ヲ記載シタル書類ヲ添附シテ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ  
前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第九十五條 蠶絲共同施設組合ノ役員又ハ清算人ノ受クベキ給與ハ定款又ハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ定ムベシ  
第九十六條 蠶絲共同施設組合ノ組合員方總會ニ於テ有スベキ議決權ハ一人ニ付議決權總數ノ十分ノ三ヲ超ユルコトヲ得ズ

第九十七條 蠶絲共同施設組合ノ定款變更ノ認可申請書ニハ理由書及總會ノ決議録ノ謄本ヲ添附シテ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

定款ノ變更ガ出資一口ノ金額若ハ保證金額ノ減少又ハ蠶絲業法第三十四條ノ十ノ規定ニ依リ準用セラルル産業組合法第五十八條第三項若ハ同法第六十八條第二項ノ場合ニ關スルモノナルトキハ其ノ認可申請書ニハ前項ニ掲グル書類ノ外財産目錄及貸借對照表ヲ添附スベシ  
定款ノ變更ガ蠶絲業法第三十四條ノ十ノ規定ニ依リ準用セラルル産業組合法第五十八條第二項又ハ第六十八條第一項ノ場合ニ關スルモノナルトキハ其ノ認可申請書ニハ總會組合員ノ同意ヲ證スル書類ヲ添附スベシ

タル出資額ガ出資總額ノ二分ノ一ニ滿タザル場合ニ限り配當スベキ剩餘金ノ二分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ズ  
拂込ミタル出資額ニ對スル剩餘金配當ノ率ハ年六分ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ年一割迄之ヲ増加スルコトヲ得

第九十條ノ三 蠶絲共同施設組合ガ新ニ組合ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徵收シ又ハ新ニ出資口數ヲ増加スル者ヨリ増口金ヲ徵收スルトキハ其ノ金額ハ之ヲ準備金ニ組入ルベシ脱退シタル組合員ニ對シ其ノ持分ノ一部ヲ拂戻スベキコトヲ定メタルトキハ其ノ剩餘金ニ付亦同ジ

第九十條ノ四 蠶絲共同施設組合ノ組合員組合ニ對シ脱退ノ承諾ヲ求メントスルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ一定期間前ニ書面ヲ以テ脱退ノ豫告ヲ爲スベシ

前項ノ期間ハ一年ヲ超ユルコトヲ得ズ  
第九十條ノ五 蠶絲共同施設組合ノ總會ノ決議ニ因ル解散ノ認可申請書ニハ理由書、總會ノ決議録ノ謄本、財産目錄及貸借對照表ヲ添附シテ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

第九十條ノ六 蠶絲共同施設組合ノ合併ノ認可申請書ニハ前條ニ掲グル添附書類ノ外合併契約書ノ謄本及合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ設立スル組合ノ定款ヲ添附シテ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

第九十八條 蠶絲共同施設組合蠶絲業法第三十四條ノ十ノ規定ニ依リ準用セラルル産業組合法第四十條第二項及第四十一條第二項ノ手續ヲ爲スコトヲ要スル場合ニ於テ其ノ手續ヲ爲シタルトキハ之ヲ證スル書類ヲ添附シ遲滞ナク農林大臣ニ其ノ旨ヲ届出ツベシ

第九十九條 蠶絲共同施設組合ガ借入金ヲ爲サントスルトキハ事業年度毎ニ總會ニ於テ一事業年度ニ於ケル借入額ノ最高限度ヲ議決スベシ

前項ノ規定ハ蠶絲共同施設組合ガ一事業年度ニ於ケル一組合員ニ對シテ爲ス貸付額ノ最高限度ニ之ヲ準用ス  
蠶絲共同施設組合ハ前二項ノ規定ニ依リ議決シタル事項ヲ遲滞ナク地方長官ニ届出ツベシ

第一百條 蠶絲共同施設組合ハ財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ニ付總會ノ承認アリタルトキハ其ノ決議録ノ謄本ヲ添附シテ遲滞ナク農林大臣ニ之ヲ届出ツベシ

第一百條ノ二 蠶絲共同施設組合ノ剩餘金ノ配當ハ取扱ヒタル物ノ數量、價額其ノ他事業ノ分量又ハ拂込ミタル出資額ニ對スルノ外之ヲ爲スコトヲ得ズ  
取扱ヒタル物ノ數量、價額其ノ他事業ノ分量ニ對シ配當スベキ剩餘金ニシテ出資ノ拂込ニ充テザルモノハ拂込ミ

合併ガ蠶絲業法第三十四條ノ十ノ規定ニ依リ準用セラルル産業組合法第六十三條ノ二ノ場合ニ該當スルトキハ前項ノ規定ニ依ル添附書類ノ外申請者ガ同條ノ規定ニ依リ選任セラレタル者ナルコトヲ證スル書類ヲ添附スベシ  
合併ガ蠶絲業法第三十四條ノ十ノ規定ニ依リ準用セラルル産業組合法第六十二條第二項但書ノ場合ニ該當スルトキハ第一項ノ規定ニ依ル添附書類ノ外當該組合ノ總會組合員ノ同意ヲ證スル書類ヲ添附スベシ

第一百條ノ七 左ノ場合ニ於テハ蠶絲共同施設組合ハ遲滞ナク農林大臣ニ其ノ旨ヲ届出ツベシ

一 定款ノ施行ニ關スル規則ヲ定メ又ハ之ヲ改廢シタルトキ  
二 事務所、理事、監事、清算人、定款ニ定メタル事由ノ發生ニ因ル解散又ハ清算終了ノ登記ヲ爲シタルトキ  
前項第二號ノ規定ニ依ル清算終了ノ届書ニハ總會ノ承認ヲ經タル決算報告書ヲ添附スベシ

第一百條ノ八 蠶絲業法第三十四條ノ十ノ規定ニ依リ準用セラルル産業組合法第六十條第一項及第六十一條ニ於テ行政官廳ト稱スルハ農林大臣及地方長官トス但シ組合ノ事業ノ停止及組合ノ解散ニ付テハ農林大臣トス  
蠶絲業法第三十四條ノ十ノ規定ニ依リ準用セラルル民法



第五十九條及第七十七條並ニ産業組合法第二十四條及第六十條ノニ於テ主務官廳又ハ行政官廳ト稱スルハ地方長官トス

第一百條 蠶絲業法第三十五條第一項ノ規定ニ依リ物品ヲ收去セントスルトキハ當該蠶種、繭、桑苗又ハ蠶絲類ノ取扱ヲ爲ス者、其ノ從業者、同居者若ハ隣佑ニシテ成年ニ達シタルモノノ立會ヲ以テ之ヲ爲スベシ

收去シタル物品ハ之ヲ容器ニ納メ又ハ結束ヲ爲シ之ニ封緘ヲ施シ其ノ品名、物品ヲ收去セラレタル者ノ氏名又ハ名稱並ニ收去ノ年月日及場所ヲ記載シ當該官吏吏員及立會人之署名捺印スベシ立會人署名捺印セズ又ハ署名捺印スルコト能ハザルトキハ其ノ旨ヲ附記スベシ

第一百二條 蠶絲業法第三十五條第二項ノ規定ニ依リ當該官吏吏員臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲サントスルトキハ様式第二十四號ニ依ル證票ヲ携帶スベシ  
臨檢、搜索、尋問及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法施行規則第二條乃至第五條、第八條及第十二條ノ規定ヲ準用ス

第一百三條 府縣ノ蠶業試驗場又ハ第七十二條第一項若ハ第七十四條ノ許可ヲ受ケタル學校、講習所又ハ試驗場等ハ毎年四月三十日迄ニ前年ノ成績ヲ農林大臣ニ報告スベシ

ベキ事項ニ付虛偽ノ記載ヲ爲シタル者

三 第六十三條第三項ノ規定ニ依リ準用セラルル第四十六條第二項若ハ第三項ノ規定又ハ第六十四條第三項ノ規定ニ依リ準用セラルル第四十七條第二項ノ規定ニ違反シタル者

左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ科料ニ處ス  
一 第七條、第十六條、第十九條、第二十四條、第二十五條、第六十七條、第六十八條、第六十九條、第八十二條第一項、第八十七條第一項又ハ第八十八條ノ規定ニ違反シタル者

二 第八十二條第二項ノ規定ニ依リ準用セラルル第七條ノ規定ニ違反シタル者  
第九條 削除(昭和十年省令第二十二號本條削除)

第一百條 本則中府縣ノ蠶業試驗場トアルハ北海道ニ在リテハ北海道農事試驗場トス

附 則

第一百一條 本令ハ昭和四年法律第十八號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一百二條 従前ノ規定ニ依リ下付シタル蠶種製造ノ免許證ハ本令ニ依リ之ヲ交付シタルモノト看做ス

第一百三條 本令施行ノ際現ニ蠶種製造者タルモノ及其ノ

蠶絲業法施行規則

第一百四條 地方長官ハ毎年五月三十一日迄ニ前年度ノ蠶業取締事務成績ヲ農林大臣ニ報告スベシ

第一百五條 地方長官蠶絲業法及本則ノ施行ニ關スル規定ヲ定メタルトキハ農林大臣ニ之ヲ報告スベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ

第一百六條 道府縣ハ蠶絲業法施行ニ關スル事務ヲ處理セシムル爲蠶業取締所ヲ設クベシ

第一百七條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ地方長官ヲ經由スベシ(昭和八年省令第七號本條改正)

第一百八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第六條第一項、第二項、第十八條第三項、第二十條、第二十二條第二項、第二十六條第二項、第三十一條、第三十二條第一項、第三十九條第一項、第四十五條第二項、第四十六條、第四十七條第二項、第四十八條、第五十五條、第五十九條、第六十條、第六十一條第二項、第三項、第六十二條、第六十三條第一項、第二項、第六十五條、第七十一條、第八十一條、第八十三條第一項、第八十四條又ハ第八十五條第一項ノ規定ニ違反シタル者(昭和十四年省令第五十三號本號改正)  
二 第三十條ノ規定ニ依リ蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記載ス

相續人ニシテ引續キ業務ヲ承繼スルモノハ一年間ノ蠶種製造額十萬蛾ニ滿タザルノ故ヲ以テ其ノ蠶種製造ノ免許ヲ取消サルルコトナシ

第一百十四條 本令施行ノ際現ニ蠶種製造ノ管理者タルモノニ付テハ仍従前ノ例ニ依ル

第一百五條 従前ノ規定ニ依リ學術研究ノ爲蠶種ノ製造、其ノ蠶兒ノ飼育及製造蠶種ノ配付又ハ蠶絲業法第四條第一項ノ適用免除ニ付受ケタル許可ハ本令施行後ト雖仍其ノ效力ヲ有ス

第一百十六條 蠶種ノ臺紙ノ大サ、蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記載スベキ事項、其ノ記載ノ方法及一容器ニ納ムベキ散卵ノ量ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ一年間仍従前ノ規定ニ依ルコトヲ得

第一百七條 従前ノ規定ニ依リ蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ押捺シタル檢査證印又ハ封緘印ハ之ヲ本令ニ依リ押捺シタル檢査合格證印又ハ封緘證印ト看做ス

第一百八條 本令施行ノ際現ニ第八十五條第一項各號ノ一ニ該當スル者ハ同條ノ規定ニ拘ラズ本令施行ノ日ヨリ四月以内ハ仍従前ノ例ニ依リ其ノ業務ニ從事スルコトヲ得

第一百九條 蠶絲業法第十四條ノ規定ハ本令施行前沖繩縣、伊豆七島、釧路國、根室國及北見國禮文郡ニ於テ製



蠶絲業法關係法規

造シタル蠶種及其ノ蠶兒ヲ同地域内ニ於テ讓渡シ又ハ飼育スル場合ニ付テハ之ヲ適用セズ

第二百十條 本令施行前前條ノ地域内ニ於テ蠶種製造用トシテ製造シタル蠶種ハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ同地域内ニ限リ蠶種製造ノ爲之ヲ用フコトヲ得

第二百十一條 本令施行ノ際現ニ第十九條ノ地域内ニ於テ蠶種ノ製造ヲ業トスル者本令施行ノ日ヨリ二月以内ニ蠶絲業法第五條ノ規定ニ依リ蠶種製造ノ免許ヲ出願シタルトキハ之ニ對スル處分アル迄仍從前ノ例ニ依リ其ノ業務ヲ營ムコトヲ得

第二條第一號ノ規定ハ前項ノ出願ヲ爲シタル者ニ付テハ之ヲ適用セズ

第十三條ノ規定ハ第一項ノ出願ヲ爲シ蠶種製造ノ免許ヲ受ケタル者及其ノ相續人ニシテ引續キ其ノ業務ヲ承繼スルモノニ付之ヲ準用ス

附 則(昭和六年七月農林省令第十八號附則)  
本令ハ蠶絲業組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則(昭和八年五月農林省令第七號附則)

本令ハ昭和八年五月十日ヨリ之ヲ施行ス

附 則(昭和十年八月農林省令第二十二號附則)

本令ハ昭和十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

四〇

一 容器ニ納ムヘキ散卵ノ量ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ一年間仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

附 則(昭和十一年八月農林省令第十九號附則)

本令ハ昭和十一年法律第十一號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則(昭和十二年四月農林省令第九號附則)

本令ハ昭和十二年四月十五日ヨリ之ヲ施行ス

附 則(昭和十四年農林省令第三號附則)

本令ハ昭和十四年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

附 則(昭和十四年十月農林省令第五十三號附則)

本令ハ昭和十四年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則(昭和十五年五月農林省令第三十一號附則)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス(昭和十五年五月二十五日)

第一號 樣式



直徑一・五糎  
肉色朱

第二號

第一號 繭檢査合格證

繭檢査合格證

住所 氏 名(名稱)

一 蠶兒飼育場所

二 掃立口ノ記號

三 化性、品種名及系統

四 繭色

五 繭形

六 繭數量

七 一立ノ重量及顆數

八 上蔭月日

右繭檢査ニ合格シタルコトヲ證ス

年 月 日

道府縣團

縱一〇糎  
横一五糎

蠶絲業法施行規則

第三號

第一號 種繭證明書

種繭證明書

住所 氏 名(名稱)

一 讓渡人ノ氏名又ハ名稱及住所

二 蠶兒飼育場所

三 掃立口ノ記號

四 化性、品種名及系統

五 繭色

六 繭形

七 繭數量

八 一立ノ重量及顆數

九 上蔭月日

右種繭タルコトヲ證明ス

年 月 日

道府縣團

縱一〇糎  
横一五糎

備考

第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ノ作成スルモノニ在リテハ「道府縣」トアル箇所ニ當該蠶種業組合、同業組合、同業組合聯合會又ハ蠶種製造者ノ名稱又ハ氏名ヲ記載スルコト



第四號

(框製)

記號	化	越年	品	系	繭	產卵	住	氏名	蠶種製造場所
	性								
記號	化	越年	品	系	繭	產卵	住	氏名	蠶種製造場所
番號	性	別年ノ	名	統	色	月日	氏名	蠶種製造場所	
一	二	三	四	五	六	七			
八	九	一〇	一一	一二	一三	一四			
一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一			
二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八			

(平附)

記號	化	越年	品	系	繭	產卵	住	氏名	蠶種製造場所
番號	性	別年ノ	名	統	色	月日	氏名	蠶種製造場所	
記號	化	越年	品	系	繭	產卵	住	氏名	蠶種製造場所
番號	性	別年ノ	名	統	色	月日	氏名	蠶種製造場所	
記號	化	越年	品	系	繭	產卵	住	氏名	蠶種製造場所
番號	性	別年ノ	名	統	色	月日	氏名	蠶種製造場所	
記號	化	越年	品	系	繭	產卵	住	氏名	蠶種製造場所
番號	性	別年ノ	名	統	色	月日	氏名	蠶種製造場所	
記號	化	越年	品	系	繭	產卵	住	氏名	蠶種製造場所
番號	性	別年ノ	名	統	色	月日	氏名	蠶種製造場所	

(移入又ハ輸入蠶種)

化性	繭色
品種名	(卵量)
蠶種製造地	
移(輸)入者住所	
移(輸)入者氏名(名稱)	

備考

移入又ハ輸入蠶種ニシテ平附又ハ框製ノモノニ在リテハ裏紙ノ裏面ニ、其ノ他ノモノニ在リテハ容器ノ表面ニ記載スルコト

第五號



直徑一・五糎  
肉色朱

備考

一 第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ在リテハ「道府縣」トアル箇所ニ當該蠶種業組合、同業組合、同業組合聯合會又ハ蠶種製造者ノ名稱又ハ氏名ヲ表ハシ肉色ハ青ヲ用フルコト  
二 第七十一條ノニ依リ第六十一條第三項ニ準據シテ道府縣ノ押捺スルモノニ在リテハ肉色朱ヲ用フルコト

第六號



直徑一糎  
横〇・七糎  
肉色黒

第七號



直徑一糎  
肉色黒



第八號



外圓 直徑二・五糎  
肉色朱

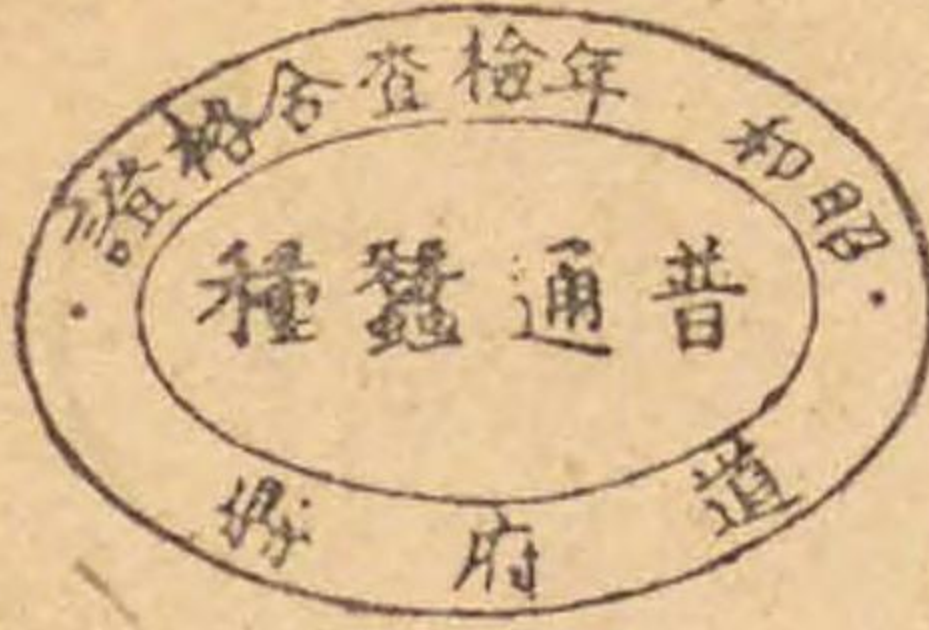
備考 樣式第五號備考ハ第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ付之ヲ準用ス

第九號



外圓 直徑二・五糎  
肉色朱

備考 樣式第五號備考ハ第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ付之ヲ準用ス



外圓 長徑二・五糎  
短徑二糎  
肉色朱

第十一號



外圓 長徑二・五糎  
短徑二糎  
肉色朱

備考 樣式第五號備考ハ第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ付之ヲ準用ス

第十二號



外圓 直徑二・五糎  
肉色朱

蠶絲業法施行規則

第十號

第 號

散卵普通蠶種検査(散卵普通蠶種再檢) 合格證明書

住所

氏 名(名稱)

一 蠶種製造場所

二 記號及番號

三 化性、品種名及系統

四 越年不越年ノ別

五 繭色

六 枚數

七 卵量

右散卵普通蠶種検査(散卵普通蠶種再檢)ニ合格シタルコトヲ證明ス

年 月 日

道府 縣印

四四

縱一〇糎  
横一五糎

第十三號



外圓 長徑二・五糎  
短徑二糎  
肉色朱

第十四號



直徑一・五糎  
肉色朱

備考 樣式第五號備考一ハ第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ付之ヲ準用ス

四五



第十五號



模樣面  
縱一・五糎  
橫三糎  
色合紅

備考

樣式第五號ノ備考一ハ第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ使用スルモノニ付之ヲ準用ス但シ色合ハ青ヲ用フルコト

第十六號



長徑一糎  
短徑〇・七糎  
肉色朱

備考

第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ在リテハ肉色青ヲ、第七十一條ノ二ニ依リ第六十三條第二項ニ準據シテ道府縣ノ押捺スルモノニ在リテハ肉色朱ヲ用フルコト

第二十號

第 號

免 許 證

免 許 期 間 自 年 月 日 至 年 月 日

住 所 氏 名

業 種 右 雇 主 住 氏 所 名 ( 名 稱 )

年 月 日 生

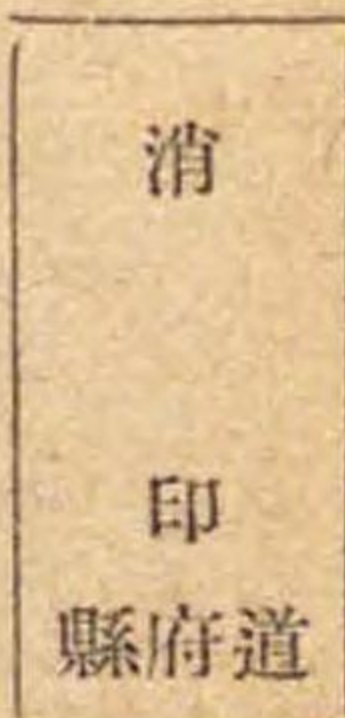
縣 道 府 印

縱九糎  
橫七糎

備考

一 業種ハ免許ヲ受ケタル業種例ヘバ「蠶種賣買」、「蠶種行商」、「生繭買入」等ト記載スルコト  
二 免許證ノ裏面ニハ寫眞ヲ貼附スルコト

第十七號



模樣面  
縱二糎  
橫一・五糎  
肉色黑

備考

樣式第五號備考一ハ第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ付之ヲ準用ス但シ肉色ハ黑ヲ用フルコト

第十八號 削除(昭和十四年省令第五十三號削除)  
第十九號



外圓  
長徑二・五糎  
短徑二糎  
肉色朱

備考

第七十四條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ在リテハ「府縣蠶業試驗場」トアル箇所ニ之ヲ押捺スル者ノ名稱ヲ表ハスコト

第二十一號 (業主)

第 號

蠶 種 行 商 ( 桑 苗 行 商 ) 之 證

年 月 日

住 所 氏 名

年 月 日 生

縣 道 府 印

縱九糎  
橫六糎



(從業者)

第 號		桑苗行商從業者之證	
年月日		道府縣印	
前	裏	前	裏
住所	住所	右屋主	住所
氏名	氏名	氏名	氏名
年月日生	年月日生	名(名稱)	名(名稱)

縦九糎  
横六糎

道府縣蠶絲業法施行手續標準

昭和四年十二月十四日附四蠶局第三五六號  
改正昭和十二年四月十三日附一蠶局第六二二號  
改正昭和十四年十月十九日附一蠶局第二一三〇號

- 第一條 蠶絲業法施行規則第一條ノ規定ニ依ル蠶種製造ノ  
免許願書ハ様式第一號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ  
前項ノ願書ニハ左ノ書類ヲ添付スベシ
- 一 履歷書及蠶絲業法施行規則第二條第一項第四號ノ規定ニ該當セザル旨ノ市町村長ノ證明書
  - 二 蠶種製造ノ管理者ヲ置ク場合ニ於テハ管理者ニ付前號ノ書類
  - 三 蠶種製造又ハ蠶兒飼育ノ用ニ供スル建物ノ平面圖
  - 四 出願者法人ナルトキハ其ノ定款
- 蠶種製造ノ免許ヲ爲シタルトキハ様式第二號ニ依ル蠶種製造免許證ヲ交付ス
- 第二條 蠶種製造者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ遲滯ナク蠶種製造免許證ヲ返納スベシ但シ第一號ノ場合ニ於テハ其ノ相續人、戶主若ハ家族又ハ清算人ヨリ之ヲ返納スベシ
- 一 死亡シ又ハ解散シタルトキ但シ蠶絲業法施行規則第

道府縣蠶絲業法施行手續標準

第二十二號

蠶兒飼育場所 (蠶種製造場所) (生繭取扱場所)	住所	氏名(名稱)
縦四〇糎以上 横一〇糎以上		

第二十三號

所在 面積	住所	氏名(名稱)
幅一〇糎以上 高サ地上ヨリ一二〇糎以上		

備考  
所在ハ市町村、大字、字及地番ヲ記載スルコト

第二十四號

第 號	農林省 蠶業取締官吏(吏員)證票 (道府縣)印	縦九糎 横七糎
官職	氏名	

- 八條第一項但書又ハ第二項ノ規定ニ依ル業務承繼アリタル場合ヲ除ク
- 二 業務ヲ廢止シタルトキ
  - 三 免許ヲ取消サレタルトキ
- 前項第一號但書ノ場合ニ於テハ承繼者ハ蠶絲業法施行規則第八條第三項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スノ外左ノ書類ヲ添付シ蠶種製造免許證ノ書換ヲ知事ニ申請スベシ
- 一 第一條第二項第一號及第二號ノ書類
  - 二 承繼者法人ナルトキハ其ノ定款(昭和十二年四月十三日附蠶局第六二二號改正)
  - 三 三日附蠶局第六二二號改正)
- 第三條 蠶絲業法施行規則第五條ノ規定ニ依ル蠶種製造届ハ何月何日迄ニ様式第 號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ
- 前項ノ期日以後ニ於テ蠶種製造ノ免許ヲ受ケタル者ハ遲滯ナク前項ノ届書ヲ提出スベシ
- 第四條 蠶絲業法施行規則第六條ノ規定ニ依ル繭取扱届ハ毎年何月何日迄ニ様式第四號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ但シ生繭取扱場所ヲ豫定スルコトヲ得ザル者ニ在リテハ生繭取扱開始ノ日ヨリ少クトモ何日前迄ニ之ヲ提出スベシ
- 毎年同一ノ場所ニ於テ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニシテ其ノ届ヲ前項ノ届書ニ附記シタルモノハ前項ノ届書ハ毎年之ヲ

四九



提出スルコトヲ要セズ

第五條 蠶絲業法施行規則第六條、第十二條及第十三條ノ規定ハ毎年何月何日以後（何地ニ又ハ何地以外ノ地ニ）之ヲ適用セズ

第六條 削除（昭和十二年四月十三日附蠶局第六二二號本條削除）

第七條 蠶絲業法施行規則第十五條ノ規定ニ依ル蠶室及蠶具ノ消毒ハ蠶兒ノ飼育又ハ蠶種ノ製造ヲ爲ス毎ニ其ノ前ニ於テ之ヲ行フベシ

第八條 蠶絲業法施行規則第十六條ノ掃立届ハ蠶種製造用蠶兒ノ掃立後遲滞ナク様式第五號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

第九條 蠶絲業法施行規則第十八條第二項ノ規定ニ依リ掃立口ヲ合併シ又ハ分割シタルトキハ其ノ旨ヲ蠶種製造者ニ通知ス

第十條 蠶絲業法施行規則第二十條ノ規定ニ依ル蠶兒讓渡届ハ様式第六號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

第十一條 蠶絲業法施行規則第二十一條ノ繭検査請求書ハ様式第七號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

第十二條 蠶絲業法施行規則第二十二條第二項但書ノ許可ヲ受ケ蠶種製造用繭ヲ蠶兒飼育場所以外ニ搬出セントス

造シタル蠶種ニ在リテハ雌蛾ヲ右ニ雄蛾ヲ左ニ記載スベシ

第十七條 蠶種ノ臺紙又ハ容器ニハ蠶絲業法施行規則第三十條、第四十七條第二項、第四十八條、第六十四條第三項又ハ第六十五條ノ規定ニ依リ記載スベキ文字ノ外文字若ハ圖形等ヲ記載シ又ハ著色スルコトヲ得ズ但シ知事ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ知事ニ提出スベシ  
一 文字、圖形等及色合  
二 許可ヲ受ケントスル理由

第十八條 削除（昭和十四年十月十九日附蠶局第二一三〇號本條削除）

第十九條 蠶絲業法施行規則第三十二條第一項但書ノ承認ヲ受ケ蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記載シタル文字ノ訂正、増加又ハ抹消ヲ爲サントスル者ハ其ノ蠶種ヲ蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル蠶業取締所ニ提出シ承認ノ申請ヲ爲スベシ

第二十條 削除（昭和十四年十月十九日附蠶局第二一三〇號本條削除）

第二十一條 蠶絲業法施行規則第三十四條ノ原蠶種検査請

道府縣蠶絲業法施行手續標準

ル者ハ掃立届ト同時ニ様式第八號ニ依リ申請書ヲ知事ニ提出スベシ

第十三條 蠶絲業法施行規則第二十四條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ繭検査合格證又ハ種繭證明書ノ裏書ヲ申請セントスル者ハ様式第九號ニ依リ申請書ヲ知事ニ、同條第二項又ハ第三項ノ規定ニ依リ種繭證明書ヲ交付ヲ受ケントスル者ハ様式第十號ニ依リ申請書ヲ讓渡人ノ所轄蠶業取締所ヲ經由シ知事ニ提出スベシ

第十四條 蠶絲業法施行規則第二十五條第一項ノ規定ニ依ル蠶種製造廢止届ハ様式第十一號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

蠶絲業法施行規則第二十三條ノ繭検査合格證又ハ同則第二十四條ノ種繭證明書アル種繭ニ依ル蠶種ノ製造ヲ廢止シタルトキハ全部ノ廢止ニ在リテハ其ノ繭検査合格證又ハ種繭證明書ヲ返納シ、一部ノ廢止ニ在リテハ様式第九號ニ依リ裏書申請書ヲ知事ニ提出スベシ

第十五條 蠶絲業法施行規則第二十七條第三項ノ符號ハ數字ヲ用ヒ、同則第三十條第一項第一號ノ記號ハ平假名ヲ用フベシ

第十六條 蠶絲業法施行規則第三十條第一項ノ規定ニ依リ蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記載スベキ品種名ハ交雜ニ依リ製

求書ハ様式第十三號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ  
前項ノ請求書ニハ繭検査合格證又ハ種繭證明書ヲ添附スベシ

第二十二條 蠶絲業法施行規則第三十五條ノ普通蠶種歩合検査請求書ハ様式第十四號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ  
前項ノ請求書ニハ繭検査合格證又ハ種繭證明書ヲ添附スベシ

第二十三條 蠶絲業法施行規則第三十六條第一項ノ普通蠶種再検査請求書ハ歩合検査ニ不合格ト爲リタル旨ノ通知ヲ受ケタル後何日以内ニ様式第十五號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

第二十四條 蠶絲業法施行規則第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行フ繭ノ検査ニ合格シタル種繭ヲ用ヒテ製造シタル蠶種ニ付同則第三十七條但書ノ許可ヲ受ケ同則第三十四條乃至第三十六條ノ規定ニ依リ蠶種ノ検査ヲ請求セントスル者ハ様式第十六號ニ依リ申請書ヲ知事ニ提出スベシ  
第二十五條 蠶絲業法施行規則第三十八條ノ移入又ハ輸入蠶種検査請求書ハ様式第十七號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

第二十六條 蠶絲業法施行規則第四十七條第一項ノ規定ニ依リ蠶種ノ容器ニ検査合格證印ノ押捺、封緘證印ノ押捺



又ハ封緘證紙ノ貼附ヲ受ケントスル者ハ様式第十八號ニ依ル請求書及其ノ容器ヲ所轄蠶業取締所ニ提出スベシ  
前項ノ請求書ニハ舊容器及已ムヲ得ザル事由ヲ證スルニ足ル書類又ハ臺紙ヲ添附スベシ

第二十七條 蠶絲業法施行規則第三十九條第二項ノ規定ニ依リ蠶種ノ検査ヲ拒ミタルトキ又ハ同則第四十七條第三項ノ規定ニ依リ検査合格證印ノ押捺、封緘證印ノ押捺若ハ封緘證紙ノ貼附ヲ拒ミタルトキハ其ノ旨ヲ蠶種製造者ニ通知ス

第二十八條 蠶絲業法施行規則第五十一條ノ許可ヲ受ケントスル者同則第五十六條ノ規定ニ依リ検査ニ關スル方法ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ知事ニ提出スベシ  
一 標本調製ノ方法  
二 鏡檢ノ方法  
三 合格又ハ不合格ノ決定方法

第二十九條 蠶絲業法施行規則第五十九條第二項ノ規定ニ依ル原蠶種検査届ハ検査開始ノ日ヨリ少クトモ何日前迄ニ様式第十九號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ  
第三十條 蠶絲業法施行規則第六十八條第二項ノ規定ニ依ル原蠶種検査成績報告ハ検査終了後何日以内ニ様式第二

ル者死亡シ、業務ヲ廢止シ若ハ免許ヲ取消サレタルトキ又ハ免許ノ期間滿了シタルトキハ遲滞ナク免許證ヲ返納スベシ但シ死亡ノ場合ニ於テハ其ノ相續人、戶主、家族又ハ雇主ヨリ之ヲ返納スベシ

第三十六條 蠶絲業法施行規則第八十五條第三項ノ規定ニ依リ免許期間ノ更新ヲ申請セントスル者ハ様式第二十五號ニ依ル申請書ヲ知事ニ提出スベシ  
前項ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ寫眞ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第三十七條 蠶絲業法施行規則第八十七條ノ鑑札ノ交付ヲ受ケントスル者ハ様式第二十六號ニ依ル申請書ヲ知事ニ提出スベシ  
鑑札ノ有効期間ハ交付ノ日ヨリ何年トス但シ其ノ期間ハ申請ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得

第三十八條 第三十五條ノ規定ハ蠶絲業法施行規則第八十七條ノ鑑札ノ交付ヲ受ケタル者死亡シ若ハ業務ヲ廢止シ又ハ鑑札ノ有効期間滿了シタル場合ニ付之ヲ準用ス

第三十九條 蠶種製造免許證、蠶絲業法施行規則第八十五條ノ免許證又ハ同則第八十七條ノ鑑札ヲ失シ若ハ毀損

道府縣蠶絲業法施行手續標準

十號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ  
第三十一條 蠶絲業法施行規則第六十九條ノ規定ニ依ル繭検査済届ハ繭ノ検査終了後遲滞ナク様式第二十一號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

第三十二條 蠶絲業法施行規則第八十二條ノ規定ニ依ル桑苗生産届ハ何月何日迄ニ様式第二十二號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

第三十三條 蠶絲業法施行規則第八十四條但書ノ許可ヲ受ケ桑苗ヲ讓渡サントスル者ハ様式第二十三號ニ依ル申請書ヲ知事ニ提出スベシ  
前項ノ申請書ニハ讓受人連署スベシ

第三十四條 蠶絲業法施行規則第八十五條ノ免許ヲ受ケントスル者ハ様式第二十四號ニ依ル願書ヲ知事ニ提出スベシ  
前項ノ願書ニハ履歷書及寫眞ノ外蠶絲業法施行規則第八十六條第一項第二號ニ該當セザル旨ノ市町村長ノ證明書ヲ添附スベシ寫眞ハ名刺形トシ出願前六ヶ月以内ニ帽ヲ著ケズ半身ニテ撮影シ臺紙ニ貼附セザルモノニシテ裏面ニ撮影年月日及氏名ヲ記載スベシ

第三十五條 蠶絲業法施行規則第八十五條ノ免許ヲ受ケタル者ハ記載事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ遲滞ナク再交付又ハ書換ヲ知事ニ申請スベシ  
第四十條 第二條第一項、第十四條第二項、第十七條、第三十五條若ハ第三十八條ノ規定ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス(昭和十二年四月十三日附蠶局第六二二號及昭和十四年十月十九日附蠶局第二一三〇號本條改正)

第四十一條 本令ニ依リ知事ニ提出スベキ書類ハ所轄蠶業取締所ヲ經由スベシ  
第四十二條 蠶業取締所及其ノ支所ノ名稱、位置及管轄區域左ノ通定ム

シ又ハ記載事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ遲滞ナク再交付又ハ書換ヲ知事ニ申請スベシ



蠶絲業法關係法規

名	稱	位	置	管	轄	區	域

蠶業取締所又ハ其ノ支所ノ出張所ヲ設ケタルトキハ其ノ名稱、位置、管轄區域及開閉期日ハ之ヲ告示ス

附 則

本令ハ昭和四年法律第十八號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

様式

第二號

第 號	蠶種製造免許證	住 所	氏 名(名稱)
蠶絲業法第五條ニ依リ蠶種製造者タルコトヲ免許ス			
年 月 日		道 府 縣 印	

道府縣蠶絲業法施行手續標準

第一號

蠶種製造免許願

蠶種製造場所	管理 者ノ 氏 名及 住所	蠶種製造ノ用ニ供スル建物ノ棟數	蠶數	室 平 面 積	概 種 製 造 額	蠶兒飼育場所	擔當者ノ氏名	蠶兒飼育ノ用ニ供スル建物ノ棟數	蠶數	室 平 面 積	掃立蟻量概定數	右免許相成度此段相願候也
												知事宛
												氏
												名(名稱)印

五四

第三號

蠶種製造届

蠶種製造場所	原蠶種製造額	豫定	普通蠶種製造額	計	蠶種製造場所	蠶兒飼育場所	春蠶期	夏秋蠶期
							越 年 不 越 計	越 年 不 越 計

右及届出候也

住  
所

年  
月  
日  
知事宛

名(名稱)印

五五



蠶絲業法關係法規

第四號

生繭取扱届

取扱場所	取扱豫定期間		取扱豫定量	管理者ノ氏名及住所
	開始月日	終了月日		

右及届出候也

住所

年月日

業種氏名

(名稱)印

知事宛

備考

業種「生絲製造業」、「繭賣買業」、「繭乾燥業」等ト記載スベシ

第五號

蠶兒掃立届

掃立口ノ記號	蠶兒飼育場所	化性品種名	原蠶製造者ノ氏名(稱名)	掃立月日	蠶立量	掃立蟻量

右及届出候也

住所

年月日

氏名

(名稱)印

知事宛

第七號

繭検査請求書

掃立口ノ記號	蠶兒飼育場所	化性品種名系統	上簇ノ時期	收繭豫定日
			始期	
			終期	

右及請求候也

住所

年月日

氏名

(名稱)印

知事宛

第六號

蠶兒讓渡届

掃立口ノ記號	讓渡前ノ蠶兒飼育場所	化性	品種名	原蠶製造者ノ氏名(名稱)	掃立月日	掃立蟻量	讓渡數量	讓渡後ノ蠶兒飼育場所	讓受人ノ氏名(名稱)及住所	讓渡月日

右及届出候也

住所

年月日

氏名

(名稱)印

知事宛

道府縣蠶絲業法施行手續標準



第八號

繭搬出許可申請書

記號	口ノ	掃立	蠶兒	化性	品種名	收繭	月日	數量	搬出	所
						豫定				
記號	口ノ	掃立	蠶兒	化性	品種名	搬出	月日	數量	搬出	所
						豫定				
記號	口ノ	掃立	蠶兒	化性	品種名	搬出	月日	數量	搬出	所
						豫定				
記號	口ノ	掃立	蠶兒	化性	品種名	搬出	月日	數量	搬出	所
						豫定				

右何ノ事由ニ因リ許可相成度此段及申請候也

年 月 日 住 所  
 氏 名(名稱)印  
 知事宛

第九號

繭檢查合格證(種繭證明書)裏書申請書

記號	口ノ	掃立	蠶兒	化性	品種名	讓渡	月日	數量	讓渡	所
						(廢止)				
記號	口ノ	掃立	蠶兒	化性	品種名	讓渡	月日	數量	讓渡	所
						(廢止)				
記號	口ノ	掃立	蠶兒	化性	品種名	讓渡	月日	數量	讓渡	所
						(廢止)				
記號	口ノ	掃立	蠶兒	化性	品種名	讓渡	月日	數量	讓渡	所
						(廢止)				

右及申請候也

年 月 日 住 所  
 氏 名(名稱)印  
 知事宛

第十一號

蠶種製造廢止届

記號	口ノ	掃立	蠶兒	化性	品種名	原蠶	月日	蠶數	蠶量	廢止
						種製者				
記號	口ノ	掃立	蠶兒	化性	品種名	種製者	月日	蠶數	蠶量	廢止
						(名稱)				
記號	口ノ	掃立	蠶兒	化性	品種名	種製者	月日	蠶數	蠶量	廢止
						(名稱)				
記號	口ノ	掃立	蠶兒	化性	品種名	種製者	月日	蠶數	蠶量	廢止
						(名稱)				

右及届出候也

年 月 日 住 所  
 氏 名(名稱)印  
 知事宛

第十號

種繭證明書交付申請書

記號	口ノ	掃立	蠶兒	化性	品種名	系統	種繭	月日	讓渡	蠶種製
							數量			
記號	口ノ	掃立	蠶兒	化性	品種名	系統	種繭	月日	讓渡	蠶種製
							數量			
記號	口ノ	掃立	蠶兒	化性	品種名	系統	種繭	月日	讓渡	蠶種製
							數量			
記號	口ノ	掃立	蠶兒	化性	品種名	系統	種繭	月日	讓渡	蠶種製
							數量			

右及申請候也

年 月 日 住 所  
 氏 名(名稱)印  
 知事宛



第十二號 削除（昭和十四年十月十九日附蠶第二一三〇號削除）

第十三號

越年（不越年）原蠶種檢查請求書

記號 番號	蠶種 製	造場 所	化性	名種品	月日	産卵	製造額	母蠶 容器 數

右及請求候也

年月日 住所 氏 名(名稱)印 知事宛

第十四號

越年（不越年）普通蠶種歩合檢查請求書

記號 番號	蠶種	製造	場所	化性	名種品	月日	産卵	製造額	母蠶 容器 數

右及請求候也

年月日 住所 氏 名(名稱)印 知事宛

第十五號

越年（不越年）普通蠶種再檢查請求書

記號 番號	蠶種 製	造場 所	化性	名種品	再檢 査	平附散卵	母蠶 數

右及請求候也

年月日 住所 氏 名(名稱)印 知事宛

道府縣蠶絲業法施行手續標準

第十六號

蠶種檢查許可申請書

造場 所	蠶種 製	化性	名種品	越年 不越年 ノ別	蠶種 製造額 豫定數 (蠶種)	種繭 數量	繭ノ檢 査 ヲ行ヒ ル者ノ 氏 名(名稱) 及住所

右何ノ事由ニ因リ許可相成度此段及申請候也

年月日 住所 氏 名(名稱)印 知事宛







第二十一號

繭檢查濟屆

掃立口ノ記號	蠶兒飼育場所	化性品種名	收繭數量	合格種	檢查
				繭數量	

右及届出候也

年月日

住所

氏

名(名稱)印

知事宛

第二十三號

桑苗讓渡許可申請書

品種名	本數	仕立法	生産場所	許可ヲ必要トスル事由

右及申請候也

年月日

住所

讓渡人 業種 氏

名(名稱)印

住所

讓受人 業種 氏

名(名稱)印

知事宛

道府縣蠶絲業法施行手續標準

第二十二號

桑苗生産届

生産場所	品種名別生産豫定數	仕立法別苗圃ノ面積	本	計
			本	

右及届出候也

年月日

住所

氏

名(名稱)印

知事宛

第二十四號

蠶種(生繭)賣買(仲立)(行商)免許願

- 一 業種
  - 二 業主又ハ從業者ノ別
- 右免許相成度此段相願候也

年月日

住所

氏

名

右屋主

住所

氏

名

印

住所

名(名稱)印

知事宛

備考

- 一 業種ハ「蠶種賣買」、「蠶種行商」、「生繭賣買」、「生繭買入」等ト記載スベシ
- 二 從業者ノ場合ニ於テハ雇主連署スベシ



第二十五號

蠶種(生繭)賣買(仲立)免許(鑑札有效)期間更新願

住 所 氏 名

- 一 業種
  - 二 免許證(鑑札)ノ番號
  - 三 免許ノ期間(鑑札ノ有効期間)
- 右更新相成度此段相願候也
- 年 月 日

右雇主 住 所 氏 名 印

知事宛

備考

- 一 業種ハ「蠶種賣買」、「蠶種行商」、「生繭賣買」、「生繭買入」、「桑苗行商」等ト記載スベシ
- 二 從業者ノ場合ニ於テハ雇主連署スベシ

第二十六號

蠶種(桑苗)行商鑑札交付申請書

住 所 氏 名 年 月 日 生 名

- 一 業種
  - 二 業主又ハ從業者ノ別
- 右交付相成度此段及申請候也
- 年 月 日

右雇主 住 所 氏 名 印

知事宛

備考

- 一 業種ハ「蠶種製造」、「桑苗生産」、「桑苗賣買」ト記載スベシ
- 二 從業者ノ場合ニ於テハ雇主連署スベシ

附 則

管轄區域、開閉月日、所長又ハ支所長ノ命免ヲ公示スヘシ  
本令ハ蠶絲業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(明治四十五年一月一日ヨリ施行)

蠶絲業法施行心得

大正七年一月十二日農商務省告示第十五號  
全部 昭和五年二月農林省告示第六十七號  
改正

- 第一條 蠶絲業法施行規則第九條ノ規定ニ依リ蠶蛆又ハ其ノ蛹若ハ蠶ヲ熱殺シ又ハ水殺スル方法左ノ如シ
- 一 熱殺ハ熱湯中ニ浸漬シ、攝氏百度以上ノ蒸汽ニ接觸セシメ、攝氏七十二度以上ノ乾熱ニ十分間以上接觸セシメ又ハ燒棄スルコト
  - 二 水殺ハ水中ニ蠶蛆ハ七十時間以上、其ノ蛹ハ百二十時間以上浸漬スルコト
- 第二條 蠶絲業法施行規則第十條ノ規定ニ依リ蠶兒、蠶蛹、蠶蛾、其ノ屍體、死籠繭又ハ薄皮繭ヲ處理スル方法左ノ如シ
- 一 熱湯ヲ用フル場合ニ於テハ其ノ中ニ一時間以上浸漬シ又ハ五分間以上煮沸スルコト
  - 二 「フォルマリン」ヲ用フル場合ニ於テハ百分中一分以

蠶業取締所規程

明治四十四年十月十六日農商務省令第三十一號  
改正 大正元年十二月同第二十五號  
改正 大正九年八月同第十八號

- 第一條 地方長官蠶業取締所ヲ設置セムトスルトキハ本令ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 蠶業取締所又ハ其ノ支所ハ道府縣内須要ノ地ニ之ヲ設ケ但シ必要アル時期ニ限り其ノ出張所ヲ設クルコトヲ得
- 蠶業取締所、支所及出張所ノ管轄區域及開閉月日ハ地方長官之ヲ定ム
- 第三條 蠶業取締所ノ産業職員左ノ如シ
- 所 長
- 技 師
- 主 事
- 技 手
- 主 事 補
- 所長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ但シ主事又ハ技手ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得
- 第四條 地方長官ハ蠶業取締所處務規程ヲ定ムヘシ
- 第五條 地方長官ハ蠶業取締所、支所又ハ出張所ノ位置、蠶業取締所規程 蠶絲業法施行心得



上ノ蟻酸「アルデヒド」ヲ含有スル攝氏二十四度以上ノ液ニ投入シ六十時間以上之ヲ放置スルコト

三 石灰水ヲ用フル場合ニ於テハ百分中十分ノ生石灰ヲ含有スル液ニ投入シ百十五時間以上之ヲ放置スルコト

四 乾燥ヲ行フ場合ニ於テハ攝氏七十二度以上ノ火熱又ハ蒸汽熱ヲ用ヒ生繭重量百ニ對シ四十以內ニ至ラシムルコト

第三條 蠶絲業法施行規則第十二條第一項ノ規定ニ依リテ爲ス蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ヲ防グニ足ル設備トシテハ少クトモ目張ヲ爲シ又ハ濾紙其ノ他緻密ナル目ノ敷物ヲ敷クベシ

第四條 蠶絲業法施行規則第十五條ノ規定ニ依ル蠶室及蠶具ノ消毒方法左ノ如シ

一 「フオルマリン」撒布消毒

蠶室ニ在リテハ其ノ周圍ヲ密閉シ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ室ノ内面十平方メートルニ對シ百分中一分以上ノ蟻酸「アルデヒド」ヲ含有スル液四百六十立方センチメートルノ量ヲ用ヒ噴霧器ニテ天井、四圍及床板ニ撒布シ撒布後十五時間以上室ヲ密閉シ置クベシ但シ充分ニ密閉シ難キ室、撒布面ノ粗雜ナル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

皆川蕙ハ四枚 蠶網ハ十枚ヲ以テ限度トスベシ

四 昇汞水消毒

蠶室ニ在リテハ百分中五分ノ昇汞及十分ノ鹽酸又ハ五分ノ食鹽ヲ含有スル液ヲ雜巾ノ類ニ含マシメテ天井、四圍及床板ヲ擦拭シ又ハ噴霧器若ハ如露等ヲ以テ撒布シ全面ヲ充分潤ハシメ三十分間以上之ヲ放置スベシ 蠶網、蠶蕙及蠶箔ノ類ニ在リテハ百分中二分ノ昇汞及十分ノ鹽酸又ハ二分ノ食鹽ヲ含有スル液ニ之ヲ浸漬シ三十分間以上濕潤ノ状態ニ置クベシ 蠶架其ノ他浸漬シ難キ蠶具ニ在リテハ蠶室消毒ノ方法ニ準ズベシ

五 「クロール」石灰水消毒

百分中五分ノ「クロール」石灰ヲ加ヘタル水ヲ數時間放置シタル後其ノ上澄液ヲ用ヒ蠶室ノ昇汞水消毒ノ方法ニ準ジ消毒ヲ行フシ但シ「クロール」石灰ハ百分中二十五分以上ノ有效鹽素ヲ含有スルモノタルコトヲ要ス

第五條 蠶絲業法施行規則ニ依ル繭色ハ黃、金黃、綠、白、筐及紅ノ六種ノ區別ニ依ルベシ

蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記載スベキ繭色ハ其ノ蠶種ヨリ産出スル繭ニ依ルベシ

キ室ニ在リテハ其ノ液ノ量ヲ適宜増加スベシ 蠶具ニ在リテハ攝氏二十四度以上ノ室内ニ於テ百分中一分以上ノ蟻酸「アルデヒド」ヲ含有スル液ヲ蠶網、蠶蕙及蠶箔ノ類ハ一枚毎ニ、蠶架ノ類ハ一箇毎ニ表裏全面ノ潤フ迄撒布シ順次堆積シ扱又ハ蕙等ヲ以テ之ヲ覆ヒ十五時間以上放置スベシ

二 蒸汽消毒

桶又ハ箱等ニ蠶具ヲ容レ之ニ蒸汽ヲ通ジ三十分間以上攝氏百度以上ノ溫度ヲ保タシムベシ但シ蠶具ニ百分中一分ノ蟻酸「アルデヒド」ヲ含有スル液ヲ撒布シタルトキハ二十分間以上、百分中五分ノ蟻酸「アルデヒド」ヲ含有スル液ヲ撒布シタルトキハ三十分間以上攝氏六十度以上ノ溫度ヲ保タシムルヲ以テ足ル

三 蟻酸「アルデヒド」瓦斯消毒

室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上、濕度ヲ七十五「パーセント」以上ト爲シ室ノ立方積二十七立方メートルニ付蠶箔二百枚以下及厚蕙四百枚（皆川蕙ハ二枚、蠶網ハ五枚ヲ以テ厚蕙一枚ト看做ス）以下ヲ納メ二百二十グラム以上ノ瓦斯ヲ發散セシメ六時間以上室ヲ密閉シ置クベシ 前項ノ場合ニ於テ蠶具ヲ重積スルトキハ厚蕙ハ二枚、

第六條 蟻量、卵量及臺紙ノ重量ハグラムヲ單位トシ單位未滿ノ數ハ之ヲ四捨五入スベシ

繭ノ數量ハキログラムヲ單位トスベシ但シ一リツトル以下ノ繭ノ數量ハグラムヲ單位トスベシ

第七條 蠶絲業法施行規則ニ依ル品種名ハ漢字又ハ平假名ニ依リ之ヲ記載スベシ但シ慣用ノ文字アルモノハ之ニ依リ記載スベシ 移入シ又ハ輸入シタル蠶種ノ品種名ハ原品種名ヲ翻譯スルコトヲ得ルモノニ在リテハ其ノ譯語ヲ漢字ニ依リ、原品種名ヲ翻譯スルコト能ハザルモノニ在リテハ原品種名ヲ片假名ニ依リ記載スベシ但シ原品種名ニ漢字又ハA、B、C其ノ他ノ符號ヲ用フルモノニ在リテハ其ノ儘之ヲ記載スベシ

第八條 蠶絲業法施行規則ニ依ル系統ハ左ノ例ニ依リ之ヲ記載スベシ

- 一 純粹種ニ在リテハ日本種、支那種、歐羅巴種
- 二 固定種ニシテ系統ノ明カナルモノニ在リテハ日支固定種、支支固定種、支歐固定種、日支歐固定種等、其ノ明カナラザルモノニ在リテハ日本種系固定種、支那種系固定種、歐羅巴種系固定種
- 三 交雜種ニ在リテハ日日交雜種、支支交雜種、日支交



雜種、支歐交雜種等

第九條 蠶絲業法施行規則第六十八條第一項ノ規定ニ依リ報告スベキ検査成績ハ別記様式ニ依リ之ヲ作成スベシ

第十條 蠶絲業法施行規則第八十四條ノ害菌トハ紫紋羽病菌、白紋羽病菌及根朽病菌ヲ、害蟲トハ桑介殼蟲ヲ、著シク發育ノ不良ナル桑苗トハ著シク根張不良ナルモノ及實生苗ニ在リテハ幹長二十五センチメートル、其ノ他ノ苗ニ在リテハ幹長六十センチメートルニ達セザルモノヲ謂フ

(別記)

第一表 繭検査成績  
様式

純粹種	固定種	交雜種	合計	掃立口數		繭數	
				合格	不合格	合格	不合格
				斤	斤	斤	斤

第二表 蠶種検査成績

第一號 原蠶種

純粹種	固定種	交雜種	合計	越年		合格	不合格	其ノ他	計
				越年	不越年				

備考

本表ハ框製、袋製其ノ他ノ一蛾別製ノ製造方法別ニ之ヲ作成スベシ

第二號 普通蠶種

(甲) 歩合検査

純粹種	固定種	交雜種	合計	掃立口數		繭種數	
				合格	不合格	合格	不合格

備考

一 蠶種數量ノ欄ニハ卵量及蛾數ヲ併記スベシ

二 本表ハ平附及散卵ノ製造方法別ニ之ヲ作成スベシ

(乙) 再検査

純粹種	固定種	交雜種	合計	合格		不合格	
				合格	不合格	合格	不合格

備考

(甲) 表備考ハ本表ニ付之ヲ準用ス

蠶絲業法施行事務取扱規程

大正六年十二月二十七日農商務省訓令第二十一號  
 改正 大正十年四月同第七號  
 改正 大正十五年五月同第三號  
 全部改正 昭和五年三月農林省訓令第三號  
 改正 昭和八年八月同第一號

第一條 蠶絲業法施行ニ關スル事務ニシテ他ノ地方長官ノ事務ニ關係ヲ有スル場合ニ於テハ適當ナル方法ヲ以テ相互ニ協定又ハ通知ヲ爲スベシ

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ蠶絲業法施行規則第二條乃至第四條ノ適用ニ付テハ之ヲ蠶絲業ニ關スル知識經驗アル者トシテ取扱フベシ

蠶絲業法施行事務取扱規程

一 實業専門學校若ハ之ト同等以上ノ學校又ハ元農商務省蠶業講習所本科ノ卒業者ニシテ養蠶ニ關スル學科目及實習ヲ修メタルモノ

二 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニシテ一年以上蠶種製造ノ實務ニ從事シタルモノ

(イ) 尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年若ハ高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年ノ實業學校又ハ之ト同等以上ノ實業學校ノ卒業者ニシテ養蠶ニ關スル學科(養蠶科又ハ蠶業科等)ヲ修メタルモノ

(ロ) 元農商務省蠶業講習所ノ養蠶別科、東京高等蠶絲學校ノ養蠶實科又ハ京都高等蠶業學校ノ蠶業實科(大正十三年以前ノ別科ヲ含ム)ヲ卒業シタル者

(ハ) 實業専門學校ノ養蠶科又ハ蠶種科ノ選科生トシテ蠶體解剖學及蠶體生理學、蠶體病理學、養蠶學、蠶種學、栽桑學、蠶體解剖學及蠶體生理學實驗、蠶體病理學實驗、養蠶實習、蠶種學實驗、蠶種製造實習、圃場實習ヲ修メタルモノ

三 地方長官ノ適當ト認ムル學校、試験場又ハ講習所等ニ於テ一年以上ノ期間ニ依リ養蠶ニ關スル學科目及實習ヲ修メタル者ニシテ一年以上蠶種製造ノ實務ニ從事シタルモノ

第三條 繭検査合格證又ハ種繭證明書ニ記載スベキ繭形ハ



蠶絲業法關係法規

俵形、楕圓形、卵形、紡錘形、球形等ノ區別ニ依リ且綫目ノ深淺、形ノ大小又ハ長短等ヲ記載スベシ

第四條 原蠶種ノ母蛾ニ付顯微鏡検査ヲ行フ場合ニ於テハ一蛾毎ニ二枚ノ標本ヲ調製セシメ二人ノ吏員ヲシテ各一枚ヲ鏡檢セシムベシ

第五條 原蠶種ト爲サントスル移入又ハ輸入蠶種ニシテ一蛾毎ニ卵ト對照スルコト能ハザルモノノ母蛾ニ付顯微鏡検査ヲ行フ場合ニ於テハ一蛾毎ニ一鏡面ヲ鏡檢セシムベシ

第六條 母蛾又ハ卵ニ付顯微鏡検査ヲ行フ場合ニ於テ微粒子ヲ發見セザルモノト決定スルニハ一鏡面毎ニ五視野以上ヲ鏡檢セシムベシ

第七條 再検査ヲ行フ場合ニ於テ臺紙又ハ産卵用紙布一枚ニ付新ニ十蛾以上ノ母蛾ヲ採ルコト能ハザルトキハ蠶絲業法施行規則第四十二條ノ適用ニ付テハ其ノ蠶種ノ母蛾ニシテ歩合検査ニ用ヒタルモノヲ加フルコトヲ得此ノ場合ニ於テ歩合検査ニ用ヒタル母蛾ニ微粒子ヲ發見シタルモノアルトキハ必ズ之ヲ加ヘ不合格トシテ取扱フベシ

第八條 蠶絲業法施行規則第四十四條第三項ノ移入又ハ輸入原蠶種検査合格證印ヲ捺捺スベキ蠶種ハ交雜種タラザルコトヲ要ス

第九條 蠶絲業法施行規則第四百條ノ規定ニ依リ報告スベキ蠶業取締事務成績ハ別記様式ニ依リ之ヲ作成スベシ但シ沖繩縣ヲ除クノ外昭和四年度分ニ限り従前ノ例ニ依リ之ヲ作成スベシ

第十條 蠶絲業法第三十七條第一項ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク其ノ顯末ヲ報告スベシ

第十一條 蠶業取締所ニハ蠶種製造者臺帳、生繭取扱者臺帳、蠶種賣買仲立行商免許臺帳、生繭賣買仲立買入免許臺帳、繭検査臺帳、原蠶種検査臺帳、普通蠶種歩合検査臺帳、普通蠶種再検査臺帳、移輸入蠶種検査臺帳、桑苗生産者臺帳、蠶種行商者臺帳及桑苗行商者臺帳ヲ備ヘ置クベシ

(別記) 様式

第一表 蠶製造者數

實數	原蠶種製造者	普通蠶種製造者	實數	
			春蠶期	夏秋蠶期

第四表 繭検査成績

純粹種	固定種	交雜種	合計	掃立口數		繭數	
				合格	不合格	合格	不合格

第五表 蠶種検査成績

純粹種	固定種	交雜種	合計	合格				不合格				其ノ他	計	
				越年	不越年	越年	不越年	越年	不越年	越年	不越年			

蠶絲業法施行規則第五十一條第一項ノ許可ヲ受ケタル者	同業組合	
	同業組合	同業組合
同則第五十一條第二項ノ許可ヲ受ケタル者		

第二表 自家用原蠶種ノ検査ヲ爲ス者ノ數

純粹種	固定種	交雜種	合計	道府縣			計	蠶量
				蠶種製造者	移入及輸入原蠶種	其ノ他		

備考

蛾數明カナラザルモノニ在リテハ推定ニ依リ之ヲ記載スベシ

蠶絲業法施行事務取扱規程



備考

本表ハ框製、袋製其ノ他ノ一蛾別製ノ製造方法別ニ之ヲ作成スベシ

第二號 普通蠶種

(甲) 歩合検査

合計	交雜種	固定種	純粹種	掃立口數		蠶種數量	
				合格	不合格	合格	不合格

備考

- 一 蠶種數量ノ欄ニハ卵量及蛾數ヲ併記スベシ
- 二 本表ハ平附及散卵ノ製造方法別ニ之ヲ作成スベシ

(乙) 再検査

備考

本表ハ歩合検査及再検査ヲ通ジタル成績ヲ記載シ歩合検査ニ於テ不合格トナリタルモノニシテ再検査ヲ受ケザルモノハ之ヲ不合格中ニ記載スベシ

(丁) 春蠶用夏秋蠶用別

合計	計	交雜種		固定種		純粹種		合格	不合格	計	合格	不合格	計
		夏秋蠶用	春蠶用	夏秋蠶用	春蠶用	夏秋蠶用	春蠶用						

備考

(丙) 表備考ハ本表ニ付之ヲ準用ス

(戊) 白繭種黃繭種別

蠶絲業法施行事務取扱規程

合計	交雜種	固定種	純粹種	合格		不合格	
				合格	不合格	合格	不合格

備考

(甲) 表備考ハ本表ニ付之ヲ準用ス

(丙) 越年不越年別

合計	計	交雜種		固定種		純粹種		合格	不合格	計	合格	不合格	計
		不越年	越年	不越年	越年	不越年	越年						

合計	計	交雜種		固定種		純粹種		合格	不合格	計	合格	不合格	計
		夏秋蠶用	春蠶用	夏秋蠶用	春蠶用	夏秋蠶用	春蠶用						

備考

一 白繭種トハ白色又ハ笹色ノ繭ヲ營ム蠶ノ種類ヲ謂ヒ黃繭種トハ黃色、金黃色、紅色又ハ綠色ノ繭ヲ營ム蠶ノ種類ヲ謂フ

二 丙表備考ハ本表ニ付之ヲ準用ス

第六表 蠶種ノ移入者及輸入者ノ數

實數	普通蠶種	原蠶種	移入者	輸入者









蠶種ノ行商 ヲ爲ス者		蠶種ノ賣買 又ハ仲立ヲ 爲ス者	
業 主	從 業 者	業 主	從 業 者
計		計	
蠶絲業法施行規則第八十五條ノ規定ニ依リ免許ヲ受ケタル者		同則第八十七條ノ規定ニ依リ鑑札ノ交付ヲ受ケタル者	

第十一表 生繭ノ賣買又ハ仲立ヲ爲ス者及生繭ノ買入ヲ爲ス者ノ數

生繭ノ賣買 又ハ仲立ヲ 爲ス者		生繭ノ買入 ヲ爲ス者	
業 主	從 業 者	業 主	從 業 者
計		計	

第十二表 桑苗ノ行商ヲ爲ス者ノ數

桑苗ノ行商 ヲ爲ス者	
業 主	從 業 者
計	

第十三表 桑苗生産者數及仕立別苗圃面積  
(蠶絲業法施行規則第八十二條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタルモノ)

生産者	面積				
	實生	接木	代出	取木	其ノ他
	アール	アール	アール	アール	アール
	計				

第十四表 蠶業取締所ノ吏員數

蠶業取締吏員	地方農林技師		地方農林主事		農林技師		農林主事	
	常	臨時	常	臨時	常	臨時	常	臨時
	延實數	延實數	延實數	延實數	延實數	延實數	延實數	延實數
	置	置	置	置	置	置	置	置

蠶絲業法施行事務取扱ニ關スル件

昭和五年三月二十七日附蠶局第九一號蠶絲局長通牒  
改正昭和十四年十月十九日附蠶局第二一二九號蠶絲局長通牒

二月二十七日附蠶第九〇一號ヲ以テ大正七年農第一、二一九號内訓蠶絲業法施行事務ニ關スル件廢止相成候旨及通牒候處右ハ大正六年農務省訓令第二十一號蠶絲業法施行事務取扱規程及前記内訓中重要ナル事項ト認メラルモノヲ昭和五年農林省訓令第三號蠶絲業法施行事務取扱規程ニ一括制定セラレタル結果ニ有之候條同規程ニ規定セザル事務ニ關シテハ左記ニ依リ御取扱相成様致度此段及通牒候也

記

第一 蠶絲業法施行規則第八條ノ許可ハ相續人カ同則第二條各號ノ一ニ該當セサル場合ニ之ヲ爲スコト但シ同則施行ノ際現ニ蠶種製造者タルモノノ相續人カ引續キ業務ヲ承繼セムトスル場合ニ於テハ一年間ノ蠶種製造額概定數十萬噸以上タルコトヲ要セス

第二 蠶絲業法施行規則第十八條第二項ノ規定ニ依ル掃立口ノ合併又ハ分割ハ蠶種ノ素質改良ニ效果アリト認ムル場合及検査ノ迅速且確實ヲ期スル爲必要アリト認ムル場

蠶絲業法施行事務取扱ニ關スル件

合ニ限リ之ヲ爲スコト

第三 蠶絲業法施行規則第二十二條第二項但書ノ許可ハ検査ノ進捗ヲ圖ル爲又ハ種繭ノ保護若ハ蠶種ノ製造ノ爲必要ニシテ且弊害ナシト認ムル場合ニ之ヲ爲スコト

第四 蠶絲業法施行規則第二十四條第一項及第三項ノ規定ニ依リ繭検査合格證又ハ種繭證明書ノ裏書ヲ爲ス場合ハ讓渡シタル種繭ノ數量及年月日、讓受人ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スルコト

第五 削除(昭和十四年十月十九日附蠶局第二一二九號削除)

第六 蠶絲業法施行規則第三十七條但書ノ許可ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ之ヲ爲スコト

一 蠶絲業法施行規則第五十條第一項ノ許可ヲ受ケタル同業組合又ハ同業組合聯合會繭ノ検査ヲ行ヒタル後蠶種ノ検査ヲ廢止シ又ハ天災其ノ他不可抗力ノ事由ニ因リ蠶種ノ検査ヲ行フコトヲ得サルニ至リタル爲其ノ組合員又ハ所屬組合ノ組合員ヨリ蠶種検査ノ申請アリタルトキ

二 蠶絲業法施行規則第五十條第一項ノ許可ヲ受ケタル同業組合又ハ同業組合聯合會ノ組合員又ハ所屬組合ノ組合員當該同業組合又ハ同業組合聯合會ニ付繭ノ検査



ヲ受ケタル後天災其ノ他不可抗力ノ事由ニ因リ蠶種ノ製造ヲ行フコトヲ得サルニ至リタル爲ニ檢査ニ合格シタル種繭ヲ當該同業組合又ハ同業組合聯合會ノ組合員又ハ所屬組合ノ組合員以外ノ蠶種製造者ニ讓渡シタル場合ニ於テ讓渡人ヨリ其ノ讓受ケタル種繭ヨリ製造シタル蠶種ニ付蠶種檢査ノ申請アリタルトキ

三 蠶絲業法施行規則第五十條第二項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者繭ノ檢査ヲ行ヒタル後天災其ノ他不可抗力ノ事由ニ因リ蠶種ノ檢査ヲ行フコトヲ得サルニ至リタル爲ニ自ラ行ヒタル繭ノ檢査ニ合格シタル種繭ヨリ製造シタル蠶種ニ付蠶種檢査ヲ申請シタルトキ

四 蠶絲業法施行規則第五十條第二項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者繭ノ檢査ヲ行ヒタル後天災其ノ他不可抗力ノ事由ニ因リ蠶種ノ製造又ハ蠶種ノ檢査ヲ行フコトヲ得サルニ至リタル爲ニ自ラ行ヒタル繭ノ檢査ニ合格シタル種繭ヲ蠶種製造者ニ讓渡シタル場合ニ於テ讓受人ヨリ其ノ讓受ケタル種繭ヨリ製造シタル蠶種ニ付蠶種檢査ノ申請アリタルトキ

第七 蠶絲業法施行規則第五十一條ノ許可ヲ爲シタルトキ、同則第六十七條第一項ノ規定ニ依リ同條第一項第一號乃至第三號ニ該當スル旨ノ届出アリタルトキ及同則第

ハ其ノ都度違反者ノ氏名又ハ名稱、住所又ハ事務所、罪狀及處理ノ概要ヲ報告シ其ノ事件ノ處分結了シタルトキハ遲滞ナク其ノ概要ヲ報告スルコト

蠶絲業法施行事務ニ關スル内訓 廢止ノ件

昭和五年三月二十七日附蠶第九〇一號蠶絲局長通牒

今般三月二十七日農林省訓令第三號ヲ以テ蠶絲業法施行事務取扱規程改正相成候處大正七年農第一二一九號内訓蠶絲業法施行事務ニ關スル件ハ同時ニ廢止相成候條御了知相成度此段及通牒候也

蠶種ノ製造及檢査方法ニ關スル件

昭和十五年五月二十五日附蠶局第九六六號蠶絲局長通牒

今般蠶絲業法施行規則中一部改正相成候處右ハ母蛾ノ收容及處理ノ方法ヲ從來ヨリ簡略ト爲シ併而資材需給ノ現狀ニ對應シタルモノニシテ固ヨリ蠶種檢査ニ付テハ何等變更ナキ次第ニ付左記事項御了知ノ上萬遺憾ナキ様取扱相成度此段及通牒候也

蠶絲業法施行事務取扱ニ關スル件 蠶絲業法施行事務ニ關スル内訓廢止ノ件 蠶種ノ製造及檢査方法ニ關スル件 蠶絲業法施行規則第四十四條ノ檢査及第百三條ノ蠶業試驗場成績報告其ノ他ニ關スル件

七十條第二項ノ規定ニ依リ許可ヲ取消シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ報告スルコト

第八 蠶絲業法施行規則第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行ヒタル原蠶種ノ檢査成績ハ同法施行事務取扱規程様式第五表第一號及第八表ニ準シ之ヲ作成シ毎年五月三十一日迄ニ前年度分ヲ報告スルコト

第九 削除(昭和十四年十月十九日附蠶局第二二九號創除)

第十 蠶絲業法施行規則第五十條、第五十五條、第七十二條又ハ第七十四條ノ許可申請書ヲ進達セムトスルトキハ其ノ記載事項ニ付調査ヲ爲シ之ニ副申スルコト

第十一 蠶絲業法施行規則第八十三條第二項ノ規定ニ依リ別段ノ定ヲ爲ス場合ハ桑苗ノ生育ヲ阻害スル虞ナキ時期又ハ方法ヲ限リ之ヲ爲スコト

第十二 蠶絲業法施行規則第八十四條但書ノ許可ハ他人ニ讓渡ス目的ヲ以テ桑苗ヲ生産スル者ニ著シク發育不良ナル桑苗ヲ讓渡ス場合ニ限リ之ヲ爲スコト

第十三 蠶絲業法施行規則第八十六條第三項ノ規定ニ依リ他ノ地方長官ノ免許ヲ受ケタル者ノ業務ヲ停止シ又ハ制限シタルトキハ其ノ地方長官ニ其ノ旨ヲ通知スルコト

第十四 蠶絲業法ニ關スル重大ナル犯罪事件アリタルトキ

記

一 蠶絲業法施行規則第三十九條ノ規定ニ依リ高熱トハ攝氏八十度以上ノ熱ヲ謂フ

二 母蛾ノ腐敗ヲ防グ爲ニ乾燥ヲ爲ス場合ハ攝氏六十五度以上七十五度以内ノ乾熱ニ三時間以上五時間以内接觸セシムルコト

三 蠶種檢査ニ供用シタル殘母蛾ハ蠶種業組合又ハ之ニ準ズル組合ニ於テ共同處理ヲ爲ス希望アル場合ハ便宜之ヲ交付スルモ差支ナキコト但シ二ノ處理ヲ爲サザルモノニ在リテハ乾熱、濕熱又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ微粒子ヲ死滅セシムルコトヲ條件トシテ之ヲ交付スルコト

蠶絲業法施行規則第四十四條ノ檢査及第百三條ノ蠶業試驗場成績報告其ノ他ニ關スル件

昭和十四年十月十九日附蠶局第二二九號蠶絲局長通牒

原蠶種管理法中未タ施行セラレサル部分ノ施行ニ伴ヒ蠶絲業法施行規則中一部改正セラレ昭和十四年十一月一日ヨリ施行ノコトト相成候ニ付テハ爾今標記ノ件ニ關シテハ左記ニ依リ取扱相成度此段及通牒候也

記



蠶絲業法關係法規

- 一 府縣カ蠶絲業法施行地外ニ於テ原蠶種ヲ製造シ移入スル場合ニ於テハ蠶絲業法施行規則第四十四條ノ規定ニ依ル移入蠶種検査ハ其ノ蠶業試驗場ヲシテ爲サシムルモ差支ナキコト
- 二 蠶絲業法施行規則第五十一條ノ許可ヲ受ケテ行ヒタル検査ニ合格シタル原蠶種ノ讓渡ニ關シテハ原蠶種管理法第九條第三項ノ規定ニ依ルモノナルコト
- 三 蠶絲業法施行規則第三條ノ規定ニ依リ蠶業試驗場ノ報告スヘキ成績ハ學術研究ノ爲ノ蠶種ノ製造及其ノ蠶兒ノ飼育竝ニ蠶種ノ配付ニ關スルモノノミトスルコト
- 四 蠶絲業法施行規則第三條ノ規定ニ依リ報告スヘキ成績ハ別記様式ニ依ラシムルコト但シ昭和十四年度ノ成績ハ従前ノ例ニ依リ作成セシムルコト
- 五 昭和五年三月二十七日附蠶局第九一號蠶絲業法施行事務取扱ニ關スル件通牒中第五及第九ハ之ヲ削除ス

(別記) 様式

第一號 蠶種ノ製造及配付ニ關スル成績

品種名	性	系統	掃立		繭ノ性状
			數量	收繭數量	
合計			蠶(卵)數	繭ノ一立	繭ノ一立
			量		
			繭種	繭ノ一立	繭ノ一立
			他ノ計		
			色繭	繭ノ一立	繭ノ一立
			形繭		
			瓦	繭ノ一立	繭ノ一立
			瓦		

備考  
委託飼育ニ依リ生産シタル繭又ハ購入シタル繭ヲ蠶種製造用ニ供シタルモノアルトキハ本表ニ準シ各別ニ之ヲ作成シ且其ノ旨ヲ明記スヘシ

第二號 蠶種製造及配付成績

品種名	性	系統	製造數量		配付數量
			合格	不合格	
合計			瓦	瓦	瓦
			瓦	瓦	瓦

蠶絲業法施行規則第七十四條ノ專任職員ノ資格並同則第三百三條ノ成績報告ニ關スル件

昭和五年三月三十一日附蠶局第九四號蠶絲局長通牒

從來ノ蠶絲業法施行規則第七十四條ノ專任職員ノ資格ニ關シテハ曩ニ廢止セラレタル大正七年農第一、三九號內訓蠶絲業法施行事務ニ關スル件第八條ノ規定ニ依リ取扱致居候處今後ニ於テモ右ト同様ニ取扱致度尙同則第七十二條及第七十四條ノ許可ヲ受ケタル者ノ同則第三百三條ノ規定ニ依リ報

蠶絲業法施行規則第七十四條ノ專任職員ノ資格並同則第三百三條ノ成績報告ニ關スル件  
學術研究ノ爲蠶種製造及蠶兒飼育ノ許可ニ關スル件

告スベキ成績ハ別途及通牒候蠶業試驗場成績報告ノ様式ニ依ラシムル様致度候條可然御取計相成度此段及通牒候也  
追而昭和四年度ノ成績ハ従前ノ例ニ依リ作成スル様致度尙同則第七十二條ノ許可ヲ受ケタル者ニ在リテハ様式中第一號及第二號ノミニ付之ヲ作成シ且昭和五年度ノ成績ヨリ報告セシムル様致度申添候

學術研究ノ爲蠶種製造及蠶兒飼育ノ許可ニ關スル件

昭和十四年三月二十二日附蠶局第四七九號蠶絲局長通牒

現下蠶絲業ノ情勢ニ鑑ミ學術研究ノ振興ヲ圖リ以テ民間ニ於ケル優良蠶品種ノ育成ニ便ナラシメンカ爲標記ノ件ニ關スル取扱方ヲ左記ニ依ルコトト致候條尙今右ニ依リ取扱相成度此段及通牒候也

- 一 研究従事者ハ二人以上ニシテ其ノ一人ハ蠶絲業法施行事務取扱規程第二條第一號ノ資格ヲ有スルモノタルコト但シ研究主管者ニシテ右資格ヲ有スル場合ハ研究従事者ヲ兼ネシムルコトヲ得ルコト
- 二 研究用蠶種製造蠶室ハ他ノ蠶室ト棟ヲ別ニスルコト
- 三 許可申請書ニハ研究用蠶種製造場所内ノ建物ノ配置圖



蠶絲業法關係法規

- ヲ添付スルコト
- 四 多量ノ蠶兒飼育ヲ爲ス必要アル場合ハ之ニ應シ相當數ノ飼育場所ノ設置ヲ認ムルコト但シ右ニ供用スル蠶種ノ數量ハ之ヲ制限スルコトアルヘキコト
  - 五 前號ノ場合ニハ飼育場所所在地及飼育ニ從事スル者ノ氏名ヲ許可申請書ニ記載シ其ノ研究主管者ノ氏名ヲ附記スルコト
  - 六 研究許可期間ハ五箇年以内トスルコト

文部省直轄學校ヨリ配付スヘキ蠶種ノ件

大正七年三月九日附農第二六七  
二號文部大臣宛農商務大臣通牒  
貴省直轄農蠶ニ關スル學校ニシテ學術研究ノ爲蠶種ノ製造

配付ヲ爲サムトスル場合又ハ蠶絲業法第四條第一項ノ適用ヲ免レムトスル場合ニハ從來許可ノ手續ヲ要シ候處今回蠶絲業法ノ改正ニ伴ヒ同法施行規則ヲ改正シ總テ之ヲ要セザルコトニ相定メ又其ノ配付蠶種ハ同法施行規則第七十一條ノ規定ニ依リ之ヲ原蠶種又ハ普通蠶種ト指定致シ候ニ就テハ之カ製造及検査ノ方法ハ原蠶種ト爲スヘキモノニ在リテハ同法施行規則中原蠶種ニ關スル規定ニ、普通蠶種ト爲スヘキモノニ在リテハ普通蠶種ニ關スル規定ニ準據セシメ且之ニ押捺スヘキ證印ハ原蠶種ハ様式第十九號、普通蠶種ハ様式第二十號ニ準セシメラレ候様訓令相成尙配付蠶種ニ關シ前年ニ於ケル事項ヲ左記様式ニ依リ毎年三月三十一日迄ニ本大臣ニ報告セシメラレ度此段及通牒候也

大正 年配付蠶種ニ關スル成績表

計	化性	品種名	系統	蘭色	掃立 蠶數	掃立 蠶量	所要蘭額		蠶種製造額	
							原蠶種	普通蠶種	原蠶種	普通蠶種
							合	合	合	合
							格其ノ他	格其ノ他	格其ノ他	格其ノ他
							計	計	計	計
							合	合	合	合
							蠶	蠶	蠶	蠶
							枚	枚	枚	枚
							合	合	合	合
							蠶	蠶	蠶	蠶
							枚	枚	枚	枚
							合	合	合	合
							蠶	蠶	蠶	蠶
							枚	枚	枚	枚

備考

- 一 移入又ハ輸入蠶種ニシテ蠶數ヲ知り難キモノハ卵量ニ依リ推定シタル蠶數ヲ用ウヘシ
- 二 一蛾別飼育ヲ爲シタルモノニシテ蠶量ヲ知り難キモノハ蠶數ニ依リ推定シタル蠶量ヲ用ウヘシ
- 三 普通蠶種ハ枚數ト蠶數ト併記スヘシ
- 四 所要蘭額及蠶種製造額ハ掃立蠶量ニ依ルモノト購入種蘭ニ依ルモノトニ分チ別行ニ記載スヘシ

蠶絲業法ニ關スル違反事件報告ノ件

昭和六年一月地方蠶絲業主任官  
協議會ニ於ケル注意事項ノ六

蠶絲業法ニ關スル重大ナル犯罪事件アリタルトキハ昭和五年三月二十七日附蠶局第九一號蠶絲局長通牒蠶絲業法施行事務取扱ニ關スル件第十四ニ依リ其ノ都度之ヲ報告シ又其ノ事件ノ處分結了シタルトキハ遲滞ナク其ノ概要ヲ報告スヘキモノナル處往々之カ實行ヲ爲ササルモノアリ之レハ重大ナル犯罪ニ付道府縣ノ見解ヲ異ニスルニ由ルヘキヲ以テ今後ハ蠶絲業法第三十七條ノ二、第三十八條、第三十九條ノ規定ニ該當スル場合ノ如キハ必ス之ヲ報告セラレタシ

蠶絲業法施行ニ關スル吏員ノ件

明治四十四年十一月十四日農第一六七三六號内訓  
改正 大正 九年 八月 農第一一四九九號内訓

文部省直轄學校ヨリ配付スヘキ蠶種ノ件  
蠶絲業法ニ關スル違反事件報告ノ件 蠶絲業法施行ニ關スル吏員ノ件

第一 地方待遇職員令第五條第四號ニ依ル職員ハ左ノ資格ヲ有スル者ヨリ任用スヘシ

- 一 地方長官ノ相當ト認ムル學校、講習所、製造所又ハ試験場等ニ於テ一年以上ノ期間ニ依リ蠶體病理、蠶體生理、蠶體解剖、養蠶法ノ學科、養蠶及蠶病検査ノ實習ヲ修得シ其ノ證書ヲ有スル者
- 二 蠶種検査員、蠶病豫防吏員又ハ蠶業取締吏員ノ職ニ在リタル者
- 三 蠶絲業法第二十二條ノ規定ニ依リ設置シタル吏員ニシテ産業職員ノ待遇ヲ受ケサル者ハ蠶業取締吏員及蠶種検査吏員トス
- 三 蠶業取締吏員ニハ臨檢、検査及原蠶種ノ検査其ノ他ノ事務ヲ執ラシメ蠶種検査吏員ニハ專ラ普通蠶種ノ検査ノミニ從事セシムヘシ但シ顯微鏡検査ニ熟練ナル蠶種検査吏員ヲシテ原蠶種ノ母蛾ノ検査ニ從事セシムルコトヲ



得

- 第四 蠶業取締吏員ハ第一ノ規定ニ準シ任用スヘシ
- 第五 蠶種検査吏員ハ蠶業取締吏員タルノ資格又ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ヨリ之ヲ任用スヘシ
  - 一 明治四十一年農商務省令第一號蠶病豫防吏員檢定試驗規則ニ依リ試驗ヲ受ケ其ノ合格證書ヲ有スル者
  - 二 高等小學卒業若ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル女子ニシテ道府縣ニ於テ特設シタル機關ニ依リ蠶體病理、蠶體生理、養蠶法、顯微鏡使用法ノ學科及蠶病検査ノ實習ヲ三箇月以上ノ期間ニ於テ修得シ其ノ試驗ニ合格シタル者

蠶絲業法施行ニ關スル吏員設置

ノ件

大正九年八月十七日附農務局第一三二七號農務局長通牒

今般蠶業取締所規程中改正相成候處右ハ從來ノ蠶業取締吏員ヲ待遇官吏ニ優遇スルノ途ヲ設ケタルモノニシテ蠶業取締所ノ職員ヲ悉ク第三條ノ產業職員ニ改メシムルノ趣旨ハ無之尤モ地方待遇職員令ニ依ル資格ヲ有シ常置ノ要アル者ハ經費ノ許ス限リ產業職員ト爲スハ至當ノコトト被考候

蠶絲業法施行規則第五十條又ハ第五

十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行フ蠶

種ニ關スル検査ニ從事スル者及蠶種

検査ノ管理者ノ資格ニ關スル件

昭和五年一月十一日農林省告示第五號  
改正昭和八年八月十六日農林省告示第二九九號

一 繭ノ検査ニ從事スル者

- (イ) 實業專門學校若ハ之ト同等以上ノ學校又ハ元農商務省蠶業講習所本科ノ卒業生ニシテ養蠶ニ關スル學科目及實習ヲ修メタルモノ
- (ロ) 尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年若ハ高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年ノ實業學校又ハ之ト同等以上ノ實業學校ノ卒業生ニシテ養蠶ニ關スル學科(養蠶科又ハ蠶業科等)ヲ修メタルモノ
- (ハ) 元農商務省蠶業講習所ノ養蠶別科、東京高等蠶絲學校ノ養蠶實科又ハ京都高等蠶業學校ノ蠶業實科(大正十三年以前ノ別科ヲ含ム)ヲ卒業シタル者
- (ニ) 實業專門學校ノ養蠶科又ハ蠶種科ノ選科生トシテ蠶

蠶絲業法施行ニ關スル吏員設置ノ件  
蠶病豫防事務ノ爲地方ニ配置シタル技師及技手ノ件  
蠶絲業法施行規則第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行フ蠶種ニ關スル検査ニ從事スル者及蠶種検査ノ管理者ノ資格ニ關スル件

ハ共經費其ノ他ノ關係モ可有之ニ付蠶絲業法第二十二條ノ規定ニ依リ検査及蠶病豫防ノ事務ニ從事セシムヘキ吏員ハ右產業職員ノ外蠶業取締吏員及蠶種検査吏員トシテ採用シ從來ト等シク之ヲ蠶業取締所ニ所屬セシムル趣旨ニ有之候條御承知相成度此段及通牒候也  
追テ蠶絲業法施行ノ吏員ニ關スル内訓ハ不日改正セララル管ニ有之爲念申添候

蠶病豫防事務ノ爲地方ニ配置シタル技師及技手ノ件

大正九年八月十九日附農務局第一三五五號農務局長通牒

從來蠶病豫防事務ノ爲地方ニ配置セラレタル技師又ハ技手ハ蠶業取締所規程改正ノ結果產業技師又ハ產業技手ト爲スニ非サレハ蠶業取締所長ト爲スヲ得サルモノト付問合セノ向モ有之候處右國庫支辨ノ官吏ハ當然蠶業取締所長又ハ其ノ職員ト爲スヲ得ル義ニ有之候條御承知相成度爲念此段及通牒候也

蠶絲業法施行規則第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行フ蠶種ニ關スル検査ニ從事スル者及蠶種検査ノ管理者ノ資格ニ關スル件

二 蠶業取締吏員ノ職ニ在リタル者

- (イ) 前號(イ)乃至(ホ)ノ一ニ該當スル者
- (ロ) 明治四十一年農商務省令第一號蠶病豫防吏員檢定試驗規則ニ依リ試驗ヲ受ケ其ノ合格證書ヲ有スル者
- (ハ) 高等小學校卒業又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ニシテ道府縣ノ蠶業取締所又ハ蠶業試驗場等ニ於テ三箇月以上ノ期間ニ依リ蠶體病理、蠶體生理、養蠶法及顯微鏡使用法ノ學科目並ニ蠶種検査ノ實習ヲ修メ其ノ試驗ニ合格シタルモノ
- (ニ) 蠶病豫防吏員又ハ蠶種検査吏員ノ職ニ在リタル者
- 三 蠶種検査ノ管理者
- 第一號(イ)ニ該當スル者



### 蠶絲業法施行規則第八條ノ解釋 ニ關スル件

昭和三年六月二十二日附蠶  
第一七九〇號蠶絲局長通牒  
蠶絲業法施行規則第八條ニ所謂蠶種製造者ノ相續人トハ業  
務ヲ承繼セル相續人ヲ指スモノニシテ其ノ家督相續人タル  
ト遺產相續人タルトヲ問ハサルモノトス

### 蠶兒飼育場所ニ關スル件

昭和八年四月地方蠶絲業關係官  
協議會ニ於ケル注意事項ノ(二)  
蠶種製造免許願書ニ記載スヘキ蠶兒飼育場所ハ甲乙兩蠶種  
製造者ノ蠶兒飼育場所タルコトヲ得サルモノト解シツツア  
ル向アルモ現ニ甲蠶種製造者ノ蠶兒飼育場所タルモノト雖  
蠶兒飼育時期又ハ建物ヲ異ニスル場合ハ勿論同一時期ニ於  
ケル同一建物ト雖嚴重ナル區別ヲ設ケ混合ノ虞ナク且取締  
上支障ナシト認ムル場合ハ他ノ蠶種製造者ノ蠶兒飼育場所  
タルコトハ敢テ差支ナキヲ以テ右ニ依リ取扱ハレタシ

### 移輸入蠶種ノ検査ニ關スル件

昭和十年八月二十七日附  
取締所長宛蠶業課長申進  
今般農林省令第二十二號蠶絲業法施行規則中改正ニ依リ移  
輸入蠶種ニ付テモ同則第四十七條ノ規定ヲ適用セラルコ  
トト相成候ニ付検査後散卵ト爲ス目的ヲ以テ産卵セシメタ  
ル紙布ノ儘移輸入蠶種ノ検査ノ請求アリタル場合ハ左記ニ  
依リ御取扱相成度爲念此段申進候也

記

- 一 蠶種ニハ検査前其ノ紙布(蠶絲業法ヲ施行セサル地ニ於テ製造セラレタル蠶種ニ付テハ蠶種臺紙ニ關スル規定ナキヲ以テ紙布ニ産卵セシメタル場合ト雖之ヲ臺紙ト看做ス)ニ第三十條第二項ニ掲クル事項ヲ記載セシムルコト
- 二 検査ニ合格シタル蠶種ニハ其ノ紙布ニ様式第十三號ニ依リ移入又ハ輸入普通蠶種検査合格證印ヲ押捺スルコト
- 三 前號ノ蠶種ヲ散卵ト爲シ容器ニ納メタル場合ハ第四十七條ニ依リ取扱ヲ爲シ不用トナリタル紙布ノ検査合格證印ヲ抹消スルコト

### 繭及蠶種ノ検査許可ニ關スル件 (其ノ一)

昭和十一年十二月二十六日附蠶局第二一四五號  
蠶絲局長通牒 岩手外十八府縣知事宛  
蠶絲業法施行規則第七條ノ規定ニ依リ同則第五十條ノ許  
可ヲ受ケントスル者又ハ受ケタル者ノ提出スル書類ヲ經由  
スヘキ地方長官ニ關シテハ事務處理ノ關係上爾今左記ノ通  
取扱度又現ニ該許可ヲ受ケタル者ニ對シ今回別紙(寫)ノ通  
夫々通牒致候條了知ノ上可然取扱相成度此段及通牒候也

記

- 一 第五十三條、第五十五條中第五十三條第一項第三號ニ掲クル事項ノ變更、第五十六條、第六十七條第一項第一號乃至第三號及第六十八條第一項ノ書類ハ住所又ハ主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スルコト
- 二 第五十五條中第五十三條第一項第四號又ハ第五號ニ掲クル事項ノ變更、第五十九條第一項及第六十七條第一項第四號ノ書類ハ其ノ検査場所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スルコト

別紙(寫)

### 繭及蠶種ノ検査許可ニ關スル件

蠶絲業法施行規則第八條ノ解釋ニ關スル件 蠶兒飼育場所ニ關スル件  
移輸入蠶種ノ検査ニ關スル件 繭及蠶種ノ検査許可ニ關スル件

昭和十一年十二月二十六日附蠶局第二一四五號  
蠶絲局長通牒 蠶絲業法施行規則第五十條第二項ノ  
許可ヲ受ケタル者宛

繭及蠶種ノ自治検査ニ關シ蠶絲業法施行規則ノ規定ニ依  
リ農林大臣ニ提出スヘキ書類ハ爾今左記(甲)ニ依リ夫  
々地方長官ヲ經由(同則第七條ノ規定)相成度又自治  
検査ニ關シ蠶絲局長通牒ニ依リ備付クヘキ帳簿、提出ス  
ヘキ書類(蠶絲業法旅行規則ノ規定ニ依ルモノヲ除ク)  
其ノ他検査施行ニ付テハ爾今左記(乙)ニ依リ處理相成  
度此段及通牒候也

記

- 一 第五十六條第二項、第六十七條第一項第一號乃至第三號及第六十八條第一項ノ書類ハ主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スルコト
- 二 第五十五條中第五十三條第一項第四號又ハ第五號ニ掲クル事項ノ變更、第五十九條第一項及第六十七條第一項第四號ノ書類ハ其ノ検査場所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スルコト

(乙)

一 蠶種製造場所ニハ繭検査日誌及繭検査臺帳ヲ、蠶種檢







蠶絲業法關係法規

第四表 品種別蠶種檢查成績

届出期限 檢查終了後三月以内

(一) 原 蠶 種

品 種 名	化 性	性 系	統 系	合 格 數		其 他 量	
				合 格	不 合 格	其 他	計
計							

(二) 普 通 蠶 種

品 種 名	化 性	年 越 年 不 越 別	系 統	繭 色	春 蠶 用 夏 蠶 用 別	平 均		附 散		卵 計
						合 格	不 合 格	合 格	不 合 格	
計										

備考 (一) 及 (二) 表ハ蠶種製造場所別ニ之ヲ作成スヘシ

繭及蠶種ノ檢查許可ニ關スル件

(其ノ二)

昭和十一年十二月二十六日附蠶局第二、一四五號  
蠶絲局長通牒北海道長官及青森外二十六府縣知事宛

蠶絲業法施行規則第七條ノ規定ニ依リ同則第五十條ノ許可ヲ受ケントスル者又ハ受ケタル者ノ提出スル書類ヲ經由スヘキ地方長官ニ關シテハ事務處理ノ關係上爾今左記ノ通取扱度又現ニ該許可ヲ受ケタル者ニ對シ曩ニ別紙(寫ノ一)ノ通牒致居候處今更ニ別紙(寫ノ二)ノ通牒致居候條了知ノ上可然取扱相成度尙檢查ノ監督ニ關シテハ本省ニ於テ直接之ニ當ル豫定ニ有之候ヘ共貴官ニ於テモ機宜適當ノ監督方相煩度此段及通牒候也  
追テ今後自治檢查ニ關シ蠶絲業法若ハ同法施行規則ノ規定又ハ通牒ニ違反シ若ハ違反スル虞アリト認ムル場合ハ直ニ御通報相成度申添候

記

繭及蠶種ノ檢查許可ニ關スル件(其ノ一)ノ記ト同一ニ付省略

繭及蠶種ノ檢查許可ニ關スル件

別紙(寫ノ一)

繭及蠶種ノ檢查許可ニ關スル件

蠶絲局長通牒蠶絲業法施行規則第五十條第二項ノ許可ヲ受ケタル者宛

許可相成候處蠶種製造場所ハ申請書記載ノ通トシテ許可相成タル義ニ付之ヲ變更シ又ハ増設セムトスル場合ニ於テハ其ノ飼育場所トノ集繭關係ト共ニ承認ヲ受ケラレ度尙檢查ノ施行ニ當リテハ自治檢查ニ關スル蠶絲業法又ハ同法施行規則ノ規定ヲ遵守スルハ勿論自治檢查ノ趣旨ニ違反セサル様慎重留意シ且左記事項了知相成度此段及通牒候也  
追テ檢查施行ニ關シテハ地方長官ニ於テモ隨時現場ニ付監督ヲ爲スコトアルヘキニ付了知相成度

記

(省略)

別紙(寫ノ二)

繭及蠶種ノ檢查許可ニ關スル件(其ノ一)ノ別紙(寫ノ一)ノ記ト同一ニ付省略



蠶種製造取締ニ關スル件

昭和十年五月十五日附蠶局第七九一號蠶絲局長通牒

本附蠶種ノ臺紙ニ記載スヘキ卵量ハ正確ニ其ノ實量ヲ示シ散卵容器ニ納ムヘキ卵量ハ蠶絲業法施行規則第二十八條第四項ノ規定ニ依ルヘキ義ナルニモ拘ラス往々之ニ違背シ虚偽ノ記載ヲ爲シ又ハ増量ヲ爲スト認メラル、モノアリ又特約取引等ニ於テ行ハル、委託催青ノ場合ニ卵量又ハ蠶量ヲ加減シテ分配ヲ爲スカ如キモノ無キニアラス右ハ一面養蠶者ノ理解ニ缺クル所アルニ因ルヘシト雖斯クテハ卵量ニ依ル取引ノ公正ヲ期シ難ク之ニ依リ釀成セラル、弊害鮮少ナラサルヲ以テ右ノ實情ニ鑑ミ之等ニ對スル取締ノ勵行ヲ期セラル、ト共ニ養蠶者ノ蠶種ニ對スル認識ノ是正ニ關シテモ適當ニ指導相成候様格別ノ御配意相成度此段及通牒候也

蠶蛆ノ豫防驅除ニ關スル件

昭和三年十月三十一日附蠶局第三一一號蠶絲局長通牒

本年晚秋期ニ於テ三重、愛知、岐阜其ノ他ノ府縣ニ一種ノ

多化性蠶蛆多發發生シ之カ寄生ヲ受ケタル蠶兒ハ結繭不能ニ陥ルモノ多ク營繭スルモ薄皮繭又ハ死籠繭トナリ其ノ被害甚ナカラス候處其ノ種類、經過、習性等ニ關シテハ尙今後研究ヲ要スヘキモノ有之候ヘ共既往ノ調査ニ據レハ此ノ種ノ蠶蛆ハ野外ニ棲息スル野蠶、桑尺蠖類其ノ他蝸蠖類ヲ寄主トスルモノニシテ廣ク各地方ニ分布シ居ルモノノ如ク本年春蠶期桑樹凍害後ニ於テ多數發生セル前記害蟲類ニ寄生繁殖シ延テ蠶兒ニ被害ヲ與ヘラレタルモノト認メラレ明年モ亦之ヲ繰リ返スヤ否ヤハ固ヨリ豫測ノ限リニ無之候モ將來之カ蔓延ヲ見ルカ如キコト有之候テハ蠶業上由々敷大ニ害蟲驅除ヲ一層勵行シ明年ニ於ケル該蠶蛆ノ繁殖蔓延ヲ防除スル様洽ク貴管下當業者ニ周知セシメ右督勵方特ニ御配意相成度此段及通牒候也

昇汞水及格魯兒石灰水ヲ蠶室及蠶具ノ消毒ニ使用スル場合ニ於ケル注意ノ件

大正四年一月十六日附農務局第二八六號農務局長依命通牒

今回時局ノ影響ニ依リ蠶種製造者ノ使用スヘキ「フォルム

リン」ノ價格自然騰貴ヲ來シ營業上不利尠ナカラスト被認候ニ付蠶絲業法施行規則第十九條ヲ改正シ昇汞水及格魯兒石灰水ヲ以テ蠶室又ハ蠶具ノ消毒ヲ爲シ得ルノ途啓カレ候ニ付テハ當業者カ之ヲ使用スル場合ニ於テ遺憾ナカラシムル爲左記事項ヲ普ク示達相成度依命此段及通牒候也

記

- 一 昇汞水ハ無色無臭ニシテ猛毒ヲ有スル爲人體ニ危険ヲ及ホス虞アルニ依リ之カ使用ノ際特ニ注意ヲ拂フヘキハ勿論之ヲ貯藏スルニハ「スカレット」又ハ「ゾイレフクシン」其ノ他適當ノ色素ヲ加ヘ一見識別ニ容易ナラシメ且之カ取扱ハ炊事場、食物貯藏場又ハ飲料水ニ滲透スヘキ場所等ニ於テ行フヘカラサルコト
- 一 昇汞水ハ日光ノ照射ニ依リ變質シ消毒ノ效力ヲ減耗スルヲ以テ成ルヘク使用ノ都度之ヲ調製シ日光ノ直射セサル場所ヲ選ヒテ消毒ヲ行フヘシ又其ノ殘液ハ溝渠河川等ニ流棄スヘカラサルコト
- 一 昇汞水ヲ以テ消毒スルニハ成ルヘク長ク濕潤ノ状態ニ在ラシムルヲ可トスルヲ以テ蠶具ノ如キハ堆積シ置キタル後洗滌若ハ乾燥ヲ爲スヘキコト
- 一 昇汞水ハ金屬ヲ侵蝕スルノ性アルヲ以テ之カ貯藏ニ金屬製容器ヲ用ヒサルハ勿論消毒ノ際使用シタル金屬

蠶種製造取締ニ關スル件 蠶蛆ノ豫防驅除ニ關スル件 昇汞水及格魯兒石灰水ヲ蠶室及蠶具ノ消毒ニ使用スル場合ニ於ケル注意ノ件

製器具ハ直ニ淨水ヲ以テ洗滌スヘキコト

- 一 格魯兒石灰水ハ甚シク有機色素ヲ脱色セシムル性アルヲ以テ衣類等ニ接觸セサル様注意シ又木材ヲモ漂白シ殊ニ水滴ヲ形成スル場合ニ於テハ其ノ部分ノミ永ク漂白作用ヲ受ケ外觀ヲ損スルコト甚シキコトアルヲ以テ撒布後ハ時々注意シ水滴ヲ生シタルトキハ之ヲ散セシメ三十分ヲ經タル後淨水ヲ以テ洗滌スルコト
- 一 格魯兒石灰水ハ金屬及獸皮ヲ侵蝕スルノ性アルヲ以テ噴霧器ヲ用キル場合ニ在リテハ唧子ニ附著セル獸皮ハ豫メ油類ニ浸漬シ尙使用後ニ於テハ充分各部ヲ洗滌スルコト

昇汞及鹽酸販賣ニ關スル件

群馬縣知事ヨリ大正四年二月三日附衛第四五六號ヲ以テ衛生局長ニ宛照會シタル昇汞及鹽酸販賣ニ關シ藥品營業並藥品取扱規則適用ニ關スル件ハ左ノ意味ヲ以テ決定シ地方長官ニ之ヲ通牒シタル旨同年二月八日附衛群第一七號ヲ以テ衛生局長ヨリ農務局長ニ通牒シ來レリ

- 一 藥品營業者ハ蠶種製造者ニ對シ蠶病豫防心得中ニ規定セラレタル昇汞水溶液ハ勿論ナルモ昇汞及鹽酸ヲモ藥律第三十條ニ依リ職業上必要ナルモノト認メ販賣シ



差支ナシ

二 從來蠶種製造者ニアラサル養蠶業者カ蠶病豫防ノ爲「フオルマリン」ノ使用ニ關シテハ之又職業上必要ナルモノト認メタリシカ昇永ノ使用ニ付テモ同様ニ解釋シ差支ナシ

蠶絲共同施設組合ニ關スル件

昭和十一年九月一日蠶局第一四一九號  
蠶絲局長通牒

中小蠶絲業者ノ事業ノ經營ヲ合理化スルト共ニ之カ事業ノ聯絡統制ヲ圖リ以テ製品ノ齊一向上、生産費ノ低減及製品處理ノ圓滑ヲ期スル爲蠶絲業者ヲシテ共同ノ施設ヲ行ハシムルニ適當ナル組合制度ヲ設クルハ現下ノ蠶絲業ノ情勢ニ鑑ミ極メテ緊要ナルヲ認メ過般第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經テ蠶絲業法中改正ヲ行ヒ蠶絲共同施設組合制度ヲ樹立シテ現ニ存スル生絲共同施設組合ノ外蠶種製造者其ノ他ノ蠶絲業者ノ爲蠶種共同施設組合、蠶絲商共同施設組合及共營蠶絲組合ヲ組織シ得ルコトトシ本日ヨリ之カ施行ヲ見ルコトト相成候ニ就テハ中小蠶絲業者ニ對シ本制度新設ノ趣旨ヲ徹底セシメ徒ニ基礎薄弱ナル組合ヲ濫立スルノ弊ヲ避ケ眞ニ其ノ事業ノ發展ヲ圖リ組合員ノ更生ニ資スル策指導

相成度尙組合ノ設立其ノ他ニ關シ左記ノ點御了知相成度此段及通牒候也

記

- 第一 生絲共同施設組合ニ關スル事項
  - 一 生絲共同施設組合ニ關シテハ從來製絲業法ノ規定ニ基キテ設立セラレタル組合ハ蠶絲業法ニ依ル蠶絲共同施設組合ト看做サルルコトトナリ從ツテ何等新ニ手續ヲ要セザルコト
  - 二 製絲業法施行規則ノ改正ニ依リ舊第十二條ニ規定セラレタル組合員タル資格ノ制限ニ關スル條項ガ削除セラレタルコト
- 右ノ外ハ大體曩ニ昭和八年八月二十一日附ヲ以テ通牒ニ及ビタル所ニ依リ取扱ハレタキコト
- 第二 蠶種共同施設組合ニ關スル事項
  - 一 蠶種共同施設組合ハ左ノ條件ヲ具備スルモノニ對シ其ノ設立ヲ認可スル方針ナルコト但シ(二)及(四)ニ付テハ特別ノ事由アリト認ムルトキハ之ガ例外ヲ認ムルコトアルコト
  - (一) 地區ハ事業實施上ノ便ヲ考慮シテ之ヲ定メ道府縣ノ區域ヲ超エザルコト
  - (二) 七人以上ヲ以テ組織スルモノナルコト

(三) 蠶種ノ製造、人工孵化、保護、販賣等ノ事業ヲ行フコト

(四) 一年間ノ蠶種製造豫定額五十萬グラム以上ナルコト

(五) 事業計畫適當ナルコト

二 組合設立ノ認可申請書ニハ蠶絲業法施行規則第九十條第一項ノ規定ニ依ル添附書類ノ外左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附セシムルコト

(一) 組合員別ノ最近三年間ニ於ケル各年ノ蠶種製造額、蠶種検査成績並ニ組合設立前ニ於ケル其ノ蠶兒飼育場所數、蠶種製造場所所在地及蠶種販賣狀況

(二) 一ノ但書ニ依ル場合ハ其ノ事由

三 組合設立ノ認可申請書ニ添附スベキ事業計畫書及設備要領書ハ別紙様式ニ依リ作成セシムルコト

四 組合設立ノ認可申請書ヲ進達セララルル場合ニハ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附セララルルコト

(一) 地區内ニ於テ組合ニ加入セザル蠶種製造者アル場合ハ其ノ住所、氏名及蠶種製造額並ニ加入セザル理由

- (二) 組合ニ對スル道府縣ノ指導、獎勵又ハ補助ノ計畫
- (三) 組合設立ニ關スル貴官ノ意見

蠶絲共同施設組合ニ關スル件

第三 蠶絲商共同施設組合及共營蠶絲組合ニ關スル事項

蠶絲商共同施設組合及共營蠶絲組合ニ關シテハ此ノ際別段指導方針ヲ示スコトナキモ其ノ設立ニ關シテハ當該地方ニ於ケル既存ノ團體其ノ他ノ關係業者トノ關係ヲ慎重ニ考慮セラレ具體的計畫ノ樹立ニ際シテハ必ズ豫メ當省ト十分ノ打合ヲ了セラレタキコト

五 組合解散ノ認可申請書ヲ進達セララルル場合ニハ貴官ノ意見書ヲ添附セララルルコト

六 組合ノ財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ハ別紙様式ニ依リ作成セシムルコト

七 組合ノ定款ハ別紙定款例ヲ參考トセシメラレタキコト







蠶絲業法關係法規

注意 前表ニ準ジ記載スルコト

(四) 普通蠶種ノ販賣

道府縣外	道府縣內	販賣先		同 上		現 物		現 物
		春蠶種	夏秋種	養蠶者	養蠶業	製絲業者	其ノ他	
計	組合地區外	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
	組合地區內	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
計								

注意 豫約ヲ爲ス養蠶業組合、其ノ他蠶絲業關係團體及製絲業者ノ住所、名稱(氏名)及其ノ契約又ハ協定ノ内容等ヲ附記スルコト

(五) 蠶種ノ製造、保護及販賣以外ノ事業

(イ) 物品ノ共同購入

(ロ) 出穀繭共同販賣

(ハ) 資金ノ貸付

貸付金額、資金借入先、貸付ヲ爲スベキ用途等ニ付記載スルコト

(ニ) ...

科目	金額	備考
計		

(六) 起業費ノ收支概算

(イ) 收 入

(八) 事業施行方法

(イ) 種繭生産

桑園ノ改良、蠶病ノ驅除豫防、蠶品種ノ統一、飼育方法ノ改善及統制、蠶ノ雌雄鑑別、共同飼育分場ノ設置其ノ他ニ付記載スルコト

(ロ) 種繭ノ受入及調査

種繭ノ受入方法並ニ種繭ノ調査及等級決定方法其ノ他ニ付記載スルコト

(ハ) 病毒除去方法

補正検査、豫知検査其ノ他病毒除去方法ニ付記載スルコト

(ニ) 蠶種ノ製造方法及組合員ノ從業關係

種繭ノ選別方法、採種形式、蠶種製造ニ關シ組合員又ハ其ノ家族ノ從業關係其ノ他ニ付記載スルコト

(ホ) 蠶種ノ販賣方法

販路ノ擴充確保ニ關スル方法其ノ他ニ付記載スルコト

(ハ) 蠶種賣上金ノ配分方法

(ト) 事業ノ施行ニ關スル規程

(九) 事業開始豫定年月

(十) 其ノ他事業計畫ニ關スル事項

蠶絲共同施設組合ニ關スル件

(ロ) 支 出

科目	金額	備考
計		

(七) 事業費ノ收支概算

(イ) 收 入

科目	金額	備考
計		

(ロ) 支 出

科目	金額	備考
計		



蠶絲業法關係法規

設備要領書

- (一) 敷地ノ面積
- (二) 建物ノ種類、面積及構造並ニ建物ノ配置圖

所在地	種類	面積		備考
		(延坪)	構造ノ概要	
		坪		

建物ノ配置圖別紙添附ノ通

注意

- 一 建物ノ種類ハ蠶室、蠶種保護室、蠶種冷藏庫、蠶種人工孵化場、蠶種取扱場所等ニ區別シ記載スルコト
- 二 地下室アル場合ハ其ノ面積ヲ面積欄ニ内書スルコト
- 三 構造ノ概要欄ニハ木造瓦葺平家建等ト記載スルコト
- 四 備考欄ニ既設、新設、増設、改設、買入及借受ノ別ヲ記載スルコト
- 五 後年度計畫ノモノニ付テハ年次別ニ本表ニ準ジ記載スルコト
- (三) 蠶種保護室又ハ蠶種冷藏庫ノ設備ノ概要及其ノ能力

種類室數室ノ面積設備能力

種類	室數	室ノ面積	設備能力
		坪	

注意

- 一 設備欄ニハ蠶種保護室ニ付テハ室ノ構造、冷却装置ノ有無、蠶種冷藏庫ニ付テハ冷却機ノ種類、名稱、冷却能力及動力等ニ付記載スルコト
- 二 後年度計畫ノモノニ付テハ年次別ニ本表ニ準ジ記載スルコト

(四)

蠶種人工孵化場ノ設備ノ概要及其ノ能力

孵化装置ノ種類	一日施行能力	用水備考

注意

- 一 用水欄ニハ井戸水、河水等ノ區別ヲ記載シ蠶種乾燥場所ヲ特設スルモノニ在リテハ其ノ概要ヲ備考欄ニ記載スルコト
- 二 後年度計畫ノモノニ付テハ年次別ニ本表ニ準ジ記載スルコト

(様式)

一 財産目録

資	種目	摘要	金額		種目	摘要	金額	
			圓				圓	
	拂込未済出資金	口數			借入金	件數		
	土地	坪數			何々			
	建物	坪數						
	器具機械	種類及各點數						
	備品	種類及各點數						
	何々							
	現金							
	合計							
差引					合計			

二、貸借對照表

貸	方	借	方

蠶絲共同施設組合ニ關スル件



種目	金額	種目	金額
拂込未済出資金	圓	出資金	圓
土地		準備金	
建築物		特別積立金	
器具機械		借入金	
備品		何々	
何々		本年度剰餘金	
現金		合計	
合計			

三、事業報告書  
(一) 出資口數

組合員氏名	前年度末現在	本年度末現在
計		

(二) 出資拂込

前年度末現在高	各自拂込	剰餘金ヨリ拂込	合計
本年度拂込高			
本年度拂戻高			
本年度末現在高			

注意 一 「剰餘金ヨリ拂込」欄ノ本年度拂込高ハ前年度剰餘金處分ニ依リ配當セラレタル剰餘金ノ内拂込ニ充當シタル金額ヲ記載スルコト

二 本年度拂戻高ハ本年度ノ脱退者ノ拂込済額ヲ記載スルコト  
(三) 準備金及各種積立金

準備金	前年度末現在高	本年度積立高	本年度處分高	本年度末現在高
固定設備償却積立金	圓	圓	圓	圓
特別積立金				
何々積立金				
計				



蠶絲業法關係法規

注意 本年度積立及本年度處分ノ金額ニ付テハ其ノ積立又ハ處分シタル種目別ノ金額ヲ附記スルコト

(四) 蠶兒飼育場所

組	名稱又ハ氏名	蠶兒飼育場所數			備考
		春蠶期 箇所	夏秋蠶期 箇所	計(實數) 箇所	
合計					
計					

注意 蠶兒飼育分場ニ於テノミ種繭ノ生産ヲ爲シタル者ニ付テハ其ノ旨備考欄ニ記載スルコト

(五) 繭検査成績及種繭數量

組	名稱又ハ氏名	繭検査		繭成績	組合ノ蠶種製造ニ供用シタル種繭數量
		合格	不合格		
合計					
計					

合計	員合	
	計	計

注意 組合又ハ組合員ガ其ノ他ノ者ヨリ譲受ケタル種繭ニシテ組合ノ蠶種製造ニ供用シタルモノアル場合ハ其ノ數量ヲ附記スルコト

(六) 蠶種検査成績

(イ) 原蠶種

蠶種製造場所	越年ノ別		合格	不合格	其ノ他	計	蠶品種名
	越年	不越年					
越年							
計							

蠶絲共同施設組合ニ關スル件



蠶絲業法關係法規

合		計	不	越	年
計		計			

(ロ) 普通蠶種

蠶種製造場所	春蠶、夏秋蠶用別	計	春蠶種	夏秋蠶種	歩合		再検査	蠶品名							
					合格	不合格									
					計	計									
合	計	計	計	計	計	計	計	計							
									夏秋蠶種	春蠶種	計	計	計	計	計

(七) 普通蠶種ノ販賣數量及價額

道府縣外	道府内		販賣數量	同豫上豫約現物ノ別	販賣價額				
	組合地區内	組合地區外							
計	計	計	計	計	計				
						春蠶種	夏秋蠶種	養蠶者	養蠶業

注意 個人名義ヲ以テ製造シタル蠶種ヲ組合ニ於テ共同販賣ヲ爲シタルモノハ本表中ニ掲ゲズ (八) 共同販賣シタル物ノ數量及價額表ニ記載スルコト

(八) 共同販賣シタル物ノ數量及價額

品目	數量	價額	備考
計			

(九) 共同購入シタル物ノ數量及價額

蠶絲共同施設組合ニ關スル件



品目	數量	價額	備考
計			

(十) 借入金及其ノ償還

借入先	前年度末現在高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末現在高
計	圓	圓	圓	圓

(十一) 費途別借入金

區別	前年度末現在高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末現在高
蠶種製造資金	圓	圓	圓	圓
共同購入事業資金				
共同販賣事業資金				

何々事業資金	計

(十二) 借入金利率

借入先	最高	最低	普通

注意 一 利率ハ年利ヲ以テ記載スルコト  
 二 「普通」ハ借入金(前年度末現在ヲ含ム)各口ニ付金額ニ其ノ借入日數ヲ乘ジタル積ノ合計ヲ以テ利息ノ合計ヲ除シタル商ニ依ルコト

(十三) 損益計算

利	益	損	失
種目	金額	種類	金額
加工料	圓	諸給料	圓
冷藏手数料		探種費	
計			

蠶絲共同施設組合ニ關スル件



販賣手數料	蠶種人工孵化費
購買手數料	蠶種冷藏費
利費用料	蠶種販賣費
假渡金利息	借入金利息
貸付金利息	通信費
預金利息	何々
選除繭販賣代金	何々
何々	小計
小計	(繰越損失金) 計
(繰越金) 計	合計
合計	差引損益金

(十四) 總會ノ決議

總會ノ種類、開會ノ時期、決議ノ要領等ヲ記載スルコト

注意 本事業報告書ノ承認ヲ爲スベキ總會ニ於ケル事項ハ翌年度ノ事業報告書中ニ記

(十五) 事業ノ狀況

載スルコト 種繭ノ生産、蠶種ノ製造、人工孵化、保護、冷蔵及蠶種其ノ他ノ販賣、購入物ノ取扱、設備ノ利用、貸付金ノ取扱等ノ狀況ニ付記載スルコト

(十六) 其ノ他ノ事項

前各號ニ掲グルモノノ外事業上ノ重要ナル事項ヲ記載スルコト

四、剩餘金處分案

一金 何圓	本年度總益金
一金 何圓	本年度總損金
差引	本年度剩餘金
此處分	此處分
一金 何圓(剩餘金ノ何分ノ一)準備金	何々積立金
一金 何圓(年何分)配當金	出資ノ拂込ニ充ツ
内何圓	何々積立金
一金 何圓	何々

蠶種共同施設組合定款例

第一章 總則

第一條 本組合ハ組合員ノ蠶種製造業ノ改良發達及統制ヲ圖ル爲共同ノ施設ヲ爲スヲ以テ目的トス

第二條 本組合ハ無限責任有限責任何々蠶種共同施設組合ト稱ス

蠶種共同施設組合定款例

第三條 本組合ノ組織ハ無限責任トス有限責任トス

(保證金額ハ出資一口ニ付金何圓トス)

第四條 本組合ノ地區ハ何縣何郡、ハ、ハ、トス

第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何町ニ置ク

第六條 組合員ハ本組合ノ地區内ニ於テ蠶種製造ヲ業トスル者ニ限ル

組合員ハ本組合ト同一ノ事業ヲ行フ他ノ蠶絲共同施設組合ニ加入スルコトヲ得ズ但シ理事ノ承認ヲ經タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 本組合ノ行フ事業左ノ如シ

- 一 種繭ノ生産
- 二 蠶種ノ製造及販賣
- 三 蠶種ノ人工孵化及保護
- 四 組合員ノ事業ニ必要ナル物ノ共同購入
- 五 組合員ノ事業ニ必要ナル共同設備ノ設置
- 六 組合員ノ事業ニ必要ナル資金ノ貸付
- 七 組合員ノ事業ニ關スル指導、研究及調査
- 八 ハ、ハ、ハ、ハ、
- 九 前各號ニ掲グルモノノ外組合ノ目的ヲ達スルニ必要ナル施設



第八條 蠶絲業法ニ依ル公告ハ本組合ノ揭示場ニ揭示シ且何新開ニ掲載シテ之ヲ爲スモノトス

第二章 出資

第十條 出資一口ノ金額ハ一口ニ付金何圓トス

第十一條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金何圓以上トス

第十二條 第一回後ノ出資拂込ハ配當スベキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外總會ノ決議ニ依リ其ノ金額及時期ヲ定ム

第十三條 組合員ノ持口數ハ組合員ノ蠶種製造規模ヲ標準トシテ之ヲ定ム

第三章 機關

第十四條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一 理事 何名
二 監事 何名

理事ハ組合長一名専務理事一名ヲ互選ス

第十五條 組合長ハ事務ヲ總理シ組合ヲ代表ス

組合長事故アルトキハ専務理事之ニ代リ組合長及専務理事共ニ事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ一名之ニ代

二 監事ハ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告スル爲必

要ト認メタルトキ

三 理事又ハ監事ノ全員缺ケタルトキ

四 組合員ガ總組合員ノ五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ理事ニ提出シテ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

第二十條 總會ヲ招集セントスルトキハ少クとも何日前ニ書面ヲ以テ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ各組合員ニ通知スルコトヲ要ス

第二十一條 總會ニ於テハ豫メ通知シタル事項ニ付テノミ決議ヲ爲スコトヲ得但シ緊急ヲ要スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十二條 總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得ズ

第二十三條 總會ノ議長ハ組合長之ニ當ル組合長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依ル

監事ノ招集シタル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル
總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ムルコトヲ得

蠶種共同施設組合定款例

專務理事ハ組合長ヲ補佐シ専ラ組合事務ヲ掌理ス

第十六條 理事ノ任期ハ三年、監事ノ任期ハ一年トス但シ任期滿了後ト雖後任者ノ就任スル迄其ノ任期ヲ伸長スルモノトス

前項但書ノ場合ニ於ケル後任者ノ任期ハ前項本文ノ期間ヨリ伸長期間ヲ控除シタル期間トス

補關選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ現任者ノ殘任期ニ依ル但シ理事又ハ監事ノ全員缺ケタル場合ニ於ケル就任者ノ任期ハ第一項本文ノ期間トス

第十七條 役員ニ關員ヲ生ジタルトハ通常總會ノ時期迄猶豫スルコト能ハザル場合ニ限り臨時總會ヲ招集シ補關選舉ヲ爲スモノトス

總會ガ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ其ノ總會ニ於テ補關選舉ヲ爲スモノトス

第十八條 理事及監事ハ名譽職トス
理事及監事ニハ總會ノ決議ニ依リ報酬、手當又ハ賞與ヲ支給スルコトヲ得

第十九條 通常總會ハ毎年何回何月(及何月)之ヲ開ク臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一 理事ガ必要ト認メタルトキ
二 組合員數

三 出席者數
四 議事ノ要領

五 議決シタル事項及賛否ノ數

第二十五條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ノ議決ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

第二十六條 本組合ニ事務員何名以内及技術員何名以内ヲ置キ組合長之ヲ任免ス

第二十七條 本組合ハ總會ノ決議ヲ經テ顧問ヲ置クコトヲ得

第四章 事業執行
第二十八條 本組合ノ事業年度ハ毎年何月何日ニ始リ翌年何月何日ニ終ルモノトス

第二十九條 組合員ノ生産シタル種繭ハ總テ之ヲ組合ニ提供スルモノトス
組合ニ於テ製造シタル蠶種ハ總テ之ヲ組合ニ於テ販賣ヲ爲スモノトス



組合員ハ自己ノ名義ヲ以テ蠶種ヲ製造セザルモノトス  
特別ノ事由ニ依リ理事ノ承認ヲ受ケタル場合ハ前三項ノ  
規定ニ依ラザルコトヲ得

第三十條 組合員ハ蠶兒飼育場所ノ選定、桑園ノ管理、蠶  
ノ品種、掃立數量、飼育ノ方法及種繭ノ處理等ニ關シ本  
組合ノ指示ニ從フコトヲ要ス

第三十一條 理事必要アリト認ムルトキハ組合員ニ對シ蠶  
種ノ製造其ノ他ニ關スル事項ノ報告ヲ爲サシメ又ハ必要  
ナル調査ヲ爲スコトヲ得

第三十二條 組合員ハ蠶種ノ販賣ニ付其ノ價格、販賣時期、  
販賣方法及販賣先等ヲ指定スルコトヲ得ズ

第三十三條 本組合ガ蠶種配分金ノ假渡ヲ爲ストキ其ノ額  
ハ時價ノ十分ノ八以内ニ於テ理事之ヲ定ム  
前項ノ假渡金ニ對シテハ百圓ニ付日歩何錢何厘以内ニ於  
テ理事ノ定メタル利息ヲ支拂フコトヲ要ス

第三十四條 蠶種ノ販賣方法、販賣價格、販賣代金ノ配分  
方法等ニ關シ必要ナル事項ハ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第三十五條 本組合ニ於テ共同購入ヲ爲ス物品左ノ如シ  
一 木炭、消毒藥品  
二 器具機械

ムル最高限度内トシ其ノ辨濟期限ハ一箇年以内ニ於テ理  
事之ヲ定ム但シ特別ノ事由アルトキハ三箇年内ニ於テ之  
ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ最高限度ハ蠶種製造ノ規模ヲ標準トシテ之ヲ定ム  
第四十一條 貸付ハ資金ノ用途及信用程度ヲ考査シ其ノ金  
額及方法ヲ定メ之ヲ爲スモノトス

第四十二條 貸付金ノ利率ハ年何分以下ニ於テ理事之ヲ定  
ム

第四十三條 理事貸付ヲ爲ス場合ニ於テ必要ト認ムルトキ  
ハ保證人ヲ立テシメ又ハ擔保ヲ供セシムルモノトス

第四十四條 貸付金ノ辨濟又ハ其ノ利息ノ支拂ヲ怠リタル  
トキハ年何分以下ニ於テ理事ノ定メタル遲延利息ヲ徵收  
スルモノトス

第四十五條 理事ハ貸付金使用ノ實況ヲ監査シ貸付ノ目的  
ニ反スルモノアリト認ムルトキハ期限前ト雖辨濟ヲ爲サ  
シムルコトヲ得

第四十六條 本組合ニ於テ徵收スル販賣、購買ノ手数料及  
共同設備ノ利用料ノ額並ニ其ノ徵收方法ハ總會ノ決議ヲ  
以テ之ヲ定ム

第四十七條 本組合ニ於テ保管中ノ種繭、蠶種其ノ他販賣  
又ハ購買物品ノ危險ハ本組合ノ負擔トス但シ天災其ノ他

蠶種共同施設組合法定款例

四 其ノ他總會ノ決議ニ依リ定メタル物品  
第三十六條 購入シタル物品ノ配給並ニ代價ハ總會ノ定ム  
ル標準ニ依リ理事之ヲ定ム

第三十七條 理事ハ必要アリト認ムルトキハ組合員ヲシテ  
購入物品ノ見積代金ノ全部又ハ一部ヲ豫納セシムルコト  
ヲ得

第三十八條 組合員ハ購入物品引渡ノ通知ヲ受ケタルトキ  
ハ遲滞ナク之ヲ引取り且同時ニ其ノ代金ヲ支拂フコトヲ  
要ス但シ理事ノ承認アリタルトキハ代金ノ支拂ハ延納又  
ハ分納ヲ爲スコトヲ得

第三十九條 本組合ニ於テ設置スル共同設備左ノ如シ  
一 蠶室及採種設備  
二 蠶兒飼育場所  
三 蠶種保護室  
四 蠶種冷藏庫  
五 蠶種人工孵化場  
六 、 、 、 、  
七 其ノ他總會ノ決議ニ依リ定メタル設備

第四十條 本組合ノ組合員ニ對スル貸付金ノ額ハ總會ノ定  
ムル最高限度内トシ其ノ辨濟期限ハ一箇年以内ニ於テ理  
事之ヲ定ム但シ特別ノ事由アルトキハ三箇年内ニ於テ之  
ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ最高限度ハ蠶種製造ノ規模ヲ標準トシテ之ヲ定ム  
第四十一條 貸付ハ資金ノ用途及信用程度ヲ考査シ其ノ金  
額及方法ヲ定メ之ヲ爲スモノトス

第四十二條 貸付金ノ利率ハ年何分以下ニ於テ理事之ヲ定  
ム

第四十三條 理事貸付ヲ爲ス場合ニ於テ必要ト認ムルトキ  
ハ保證人ヲ立テシメ又ハ擔保ヲ供セシムルモノトス

第四十四條 貸付金ノ辨濟又ハ其ノ利息ノ支拂ヲ怠リタル  
トキハ年何分以下ニ於テ理事ノ定メタル遲延利息ヲ徵收  
スルモノトス

第四十五條 理事ハ貸付金使用ノ實況ヲ監査シ貸付ノ目的  
ニ反スルモノアリト認ムルトキハ期限前ト雖辨濟ヲ爲サ  
シムルコトヲ得

第四十六條 本組合ニ於テ徵收スル販賣、購買ノ手数料及  
共同設備ノ利用料ノ額並ニ其ノ徵收方法ハ總會ノ決議ヲ  
以テ之ヲ定ム

第四十七條 本組合ニ於テ保管中ノ種繭、蠶種其ノ他販賣  
又ハ購買物品ノ危險ハ本組合ノ負擔トス但シ天災其ノ他

蠶種共同施設組合法定款例



繰越金ト爲スモノトス

第五十四條 事業分量ニ對スル配當ハ事業年度内ニ於テ組合員ガ本組合ニ支拂ヒタル加工料、手数料、利用料及貸付金利息等ヲ參照シテ之ヲ爲ス但シ其ノ種類ニ依リ配當ノ率ヲ異ニスルコトヲ得

拂込ミタル出資額ニ對スル配當ハ事業年度ノ終ニ於ケル組合員ノ拂込済出資額ニ應ジテ之ヲ爲シ其ノ率ハ年六分以下トス

前二項ノ配當金ノ計算ニ附テハ圓位未滿ノ基礎金額ハ之ヲ切捨ツルモノトス

第五十五條 本組合財産ヲ以テ債務ヲ完済スルコト能ハザル場合ニ於ケル各組合員間ノ損失分擔ノ割合ハ「保證金額」ニ應ズルモノトス脱退シタル組合員ノ損失分擔ノ割合亦同ジ（本規定ハ無限責任組合ニ在リテハ「」内ヲ「出資額」トシ有限責任組合ニ在リテハ本規定ハ之ヲ削除スルコト）

第六章 加入、増口及脱退

第五十六條 新ニ組合員タラントスル者又ハ出資口數ヲ増加セントスル者ハ申込書ニ總會ノ決議ヲ以テ定メタル加入金又ハ増口金ヲ添ヘ理事ニ差出スコトヲ要ス  
「理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨ヲ本人ニ通

ノ義務ヲ履行セザルトキ

二 第二十九條ノ規定ニ違反シタルトキ

三 組合ノ業務ヲ妨グル所爲アリタルトキ

第六十條 組合員脱退シタル場合ニ於テ拂戻スベキ持分ノ額ハ其ノ拂込済出資額ノ二分ノ一ニ止ムルモノトス但シ除名ニ因ル場合ニ於テハ其ノ拂込済出資額ノ四分ノ一ニ止ムルモノトス

第七章 解散

第六十一條 本組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル但シ總會ノ決議ニ依リ組合員中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第八章 過 怠 金

第六十二條 左ノ場合ニ於テハ過怠金ヲ徵收ス

- 一 組合員出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ拂込期日後百圓ニ付一日何錢
- 二 組合員第二十九條ノ規定ニ違反シタルトキハ其ノ種類又ハ蠶種ノ見積價額ノ何分ノ一
- 三 組合員購買物品ノ引取ヲ遅延シ又ハ之ヲ拒ミタルトキハ購買價額ノ何分ノ一

附 則

本組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第

蠶絲商共同施設組合定款例

知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシムベシ」内ハ無限責任組合ニ在リテハ「理事前項ノ申込ヲ受ケタルトキハ總組合員ニ對シ加入ニ異議アラバ何週間以内ニ之ヲ述ブベキ旨催告スルコトヲ要ス  
前項ノ期間内ニ異議ヲ述ベタル組合員ナキトキハ理事ハ申込人ニ對シ加入承諾ノ通知ヲ爲シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシムベシ」ト規定スルコト）

加入又ハ増口ノ效力ハ出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス但シ第五十七條ノ場合ハ理事承諾ノ通知ヲ發シタルトキトス

第五十七條 組合員其ノ持分ヲ讓渡セントスルトキハ當事者連署ノ上理事ノ承諾ヲ受クベシ此ノ場合ニ於テハ加入金又ハ増口金ヲ徵收セズ  
前項ノ規定ハ持分ノ相續其ノ他包括承繼アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十八條 組合員脱退セントスルトキハ其ノ事業年度末一箇年前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第五十九條 組合員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

- 一 出資ノ拂込、購買代金ノ支拂、貸付金ノ辨濟、過怠金ノ納付、利用料又ハ利息ノ支拂ヲ怠リ何箇月内ニ其

一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理事	何	某
監事	何	某
各設立者署名又ハ記名捺印	、、、、	、、、、

蠶絲商共同施設組合定款例

（繭ノ賣買業者ヲ組合員トスル組合）

第一章 總 則

第一條 本組合ハ組合員ノ繭賣買業ノ改良發達及統制ヲ圖ル爲共同ノ施設ヲ爲スヲ以テ目的トス

第二條 本組合ハ無限責任何々蠶絲商共同施設組合ト稱ス

第三條 本組合ノ組織ハ無限責任トス

第四條 本組合ノ地區ハ何縣何郡、、、、トス

第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何町ニ置ク

第六條 組合員ハ本組合ノ地區内ニ住所又ハ營業所ヲ有シ



繭ノ賣買ヲ業トスル者ニ限ル  
組合員ハ本組合ト同一ノ事業ヲ行フ他ノ蠶絲商共同施設  
組合ニ加入スルコトヲ得ズ但シ理事ノ承認ヲ經タルトキ  
ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 本組合ノ行フ事業左ノ如シ

- 一 繭ノ共同加工及共同販賣
- 二 組合員ノ事業ニ必要ナル物ノ共同購入
- 三 組合員ノ事業ニ必要ナル共同設備ノ設置
- 四 組合員ノ事業ニ必要ナル資金ノ貸付
- 五 組合員ノ事業ニ關スル指導、研究及調査
- 六 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
- 七 前各號ニ掲ゲルモノノ外組合ノ目的ヲ達スルニ必要ナル施設

第八條 蠶絲業法ニ依ル公告ハ本組合ノ揭示場ニ揭示シ且  
何新開ニ掲載シテ之ヲ爲スモノトス

第九條 組合財産ニ對スル組合員ノ持分ハ其ノ拂込濟出資  
額ニ應ズルモノトス

第二章 出 資

第十條 出資一口ノ金額ハ金何圓トス

第十一條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金何圓以上ト  
ス

就任者ノ任期ハ第一項本文ノ期間トス

第十七條 役員ニ關員ヲ生ジタルトキハ通常總會ノ時期迄  
猶豫スルコト能ハザル場合ニ限り臨時總會ヲ召集シ補闕  
選舉ヲ爲スモノトス

總會方理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ其ノ總會  
ニ於テ補闕選舉ヲ爲スモノトス

第十八條 理事及監事ハ名譽職トス  
理事及監事ニハ總會ノ決議ニ依リ報酬、手當又ハ賞與ヲ  
支給スルコトヲ得

第十九條 通常總會ハ毎年何回何月（及何月）之ヲ開ク  
臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一 理事カ必要ト認メタルトキ
- 二 監事ガ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アル  
コトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告スル爲必  
要ト認メタルトキ

三 理事又ハ監事全員缺ケタルトキ

四 組合員ガ總組合員ノ五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ總會  
ノ目的及其ノ召集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ理事ニ提  
出シテ總會ノ召集ヲ請求シタルトキ

第二十條 總會ヲ召集セントスルトキハ少クトモ何日前ニ  
書面ヲ以テ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ各組合員

蠶絲商共同施設組合定款例

第十二條 第一回後ノ出資拂込ハ配當スベキ剩餘金ヨリ拂  
込ニ充ツルモノノ外總會ノ決議ニ依リ其ノ金額及時期ヲ  
定ム

第十三條 組合員ノ持口數ハ組合員ノ繭取扱數量ヲ標準ト  
シテ之ヲ定ム

第三章 機 關

第十四條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一 理事 何 名
- 二 監事 何 名

理事ハ組合長一名專務理事一名ヲ互選ス

第十五條 組合長ハ事務ヲ總理シ組合ヲ代表ス組合長事故  
アルトキハ專務理事之ニ代リ組合長及專務理事共ニ事故  
アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ一名之ニ代ル

第十六條 理事ノ任期ハ三年、監事ノ任期ハ一年トス但シ  
任期滿了後ト雖後任者ノ就任スル迄其ノ任期ヲ伸長スル  
モノトス

前項但書ノ場合ニ於ケル後任者ノ任期ハ前項本文ノ期間  
ヨリ伸長期間ヲ控除シタル期間トス

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ現任者ノ殘任  
期ニ依ル但シ理事又ハ監事ノ全員缺ケタル場合ニ於ケル

ニ通知スルコトヲ要ス

第二十一條 總會ニ於テハ豫メ通知シタル事項ニ付テノミ  
決議ヲ爲スコトヲ得但シ緊急ヲ要スルモノニ付テハ此ノ  
限ニ在ラズ

第二十二條 總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非ザレ  
バ會議ヲ開クコトヲ得ズ

第二十三條 總會ノ議長ハ組合長之ニ當ル組合長事故アル  
トキハ理事ノ互選ニ依ル

監事ノ召集シタル總會ノ議長ハ總會ヲ召集シタル監事之  
ニ當ル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル  
總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ議  
長ヲ定ムルコトヲ得

第二十四條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り左ニ掲ゲル事項ヲ  
記載シ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ署名  
又ハ記名捺印スルコトヲ要ス

一 開會ノ日時及場所

二 組合員數

三 出席者數

四 議事ノ要領

五 議決シタル事項及賛否ノ數

第二十五條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ノ議決ヲ經テ



別ニ之ヲ定ム

第二十六條 本組合ニ事務員何名以内及技術員何名以内ヲ置キ組合長之ヲ任免ス

第二十七條 本組合ハ總會ノ決議ヲ經テ顧問ヲ置クコトヲ得

第四章 事業執行

第二十八條 本組合ノ事業年度ハ毎年何月何日ニ始リ翌年何月何日ニ終ルモノトス

第二十九條 組合員ハ其ノ取扱ニ係ル繭ハ總テ本組合ニ委託シテ加工シ又ハ販賣スルコトヲ要ス但シ理事ノ承認ヲ經タル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 組合員ハ繭ノ購入、運搬、保管等ニ關シ本組合ノ指示ニ從フコトヲ要ス

第三十一條 理事必要アリト認ムルトキハ組合員ニ對シ其ノ事業ニ關シ報告ヲ爲サシメ又ハ必要ナル調査ヲ爲スコトヲ得

第三十二條 組合員ハ繭ノ販賣ニ付其ノ價格、販賣時期、販賣方法及販賣先等ヲ指定スルコトヲ得ズ

第三十三條 本組合ニ於テ組合員ヨリ其ノ販賣委託繭ヲ受取りタルトキハ其ノ品等及數量ヲ査定シ之ヲ組合員ニ通知スルモノトス

品等査定ノ方法及標準ニ關スル事項ハ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條 繭ハ本組合ニ於テ品等ニ應ジテ區分シ一括シ販賣スルモノトス

前項ノ外繭ノ販賣ニ關シ必要ナル事項ハ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第三十五條 本組合ガ繭代金ノ假渡ヲ爲ストキ其ノ額ハ時價ノ十分ノ八以内ニ於テ理事之ヲ定ム

前項ノ假渡金ニ對シテハ百圓ニ付日歩何錢何厘以内ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ支拂フコトヲ要ス

第三十六條 繭ノ販賣代金ハ毎計算期末ニ於テ各品等ニ付等差ヲ附シテ之ヲ組合員ニ配分スルモノトス

前項ノ計算期、品等ニ附スベキ等差其ノ他販賣代金ノ配分ニ關シ必要ナル事項ハ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第三十七條 本組合ニ於テ共同購入ヲ爲ス物品左ノ如シ  
一 繭 袋  
二 、、、、  
三 其ノ他總會ノ決議ニ依リ定メタル物品

第三十八條 購入シタル物品ノ配給並ニ代價ハ總會ノ定ムル標準ニ依リ理事之ヲ定ム

第三十九條 理事必要アリト認ムルトキハ組合員ヲシテ購

入物品ノ見積代金ノ全部又ハ一部ヲ豫納セシムルコトヲ得

第四十條 組合員ハ購入物品引渡ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ引取り且同時ニ其ノ代金ヲ支拂フコトヲ要ス但シ理事ノ承認アリタルトキハ代金ノ支拂ハ延納又ハ分納ヲ爲スコトヲ得

第三十五條第二項、第四十四條第一項及第四十七條ノ規定ハ前項但書ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十一條 本組合ニ於テ設置スル共同設備左ノ如シ

一 乾繭裝置

二 繭倉庫

三 繭取扱場

四 、、、、

五 其ノ他總會ノ決議ニ依リ定メタル設備

第四十二條 設備利用ノ申込多數ノ場合ニ於ケル利用ノ順位又ハ數量ハ申込人ノ利用必要ノ程度等ヲ參酌シテ理事之ヲ定ム

第四十三條 設備利用ニ關シ必要ナル事項ハ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第四十四條 本組合ノ組合員ニ對スル貸付金ノ額ハ總會ノ定ムル最高限度内トシ其ノ辨濟期限ハ一箇年以内ニ於テ

蠶絲商共同施設組合定款例

理事之ヲ定ム但シ特別ノ事由アルトキハ三箇年内ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ最高限度ハ組合員ノ繭取扱數量ヲ標準トシテ之ヲ定ム

第四十五條 貸付ハ資金ノ用途及信用程度ヲ考査シ其ノ金額及方法ヲ定メ之ヲ爲スモノトス

第四十六條 貸付金ノ利率ハ年何分以下ニ於テ理事之ヲ定ム

第四十七條 理事貸付ヲ爲ス場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ保證人ヲ立テシメ又ハ擔保ヲ供セシムルモノトス

第四十八條 貸付金ノ辨濟又ハ其ノ利息ノ支拂ヲ怠リタルトキハ年何分以下ニ於テ理事ノ定メタル遲延利息ヲ徵收スルモノトス

第四十九條 理事ハ貸付金使用ノ實況ヲ監査シ貸付ノ目的ニ反スルモノアリト認ムルトキハ期限前ト雖辨濟ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十條 本組合ニ於テ徵收スル販賣、購買ノ手数料及其同設備ノ利用料ノ額並ニ其ノ徵收方法ハ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第五十一條 本組合ニ於テ保管中ノ繭其ノ他販賣又ハ購買物品ノ危險ハ本組合ノ負擔トス但シ天災其ノ他不可抗力



ニ依ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第五十二條 本章ニ定ムルモノノ外事業執行ニ關シ必要ナル事項ハ總會ノ決議ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第五章 會計

第五十三條 本組合ハ出資總額ト同額ニ達スル迄每事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第五十四條 加入金、増口金、過怠金及第六十六條ノ規定ニ依リ拂戻ヲ爲サザル持分ハ之ヲ準備金ニ組入ルルモノトス

第五十五條 本組合ハ固定設備減價償却積立金ヲ積立ツ前項ノ積立金ハ建物其ノ他ノ設備ノ減價償却ニ充ツルモノトス

建物其ノ他ノ設備ノ設置又ハ買入ノ費用ニ對シ補助金ヲ受ケタルトキハ之ヲ固定設備減價償却積立金ニ組入ルルモノトス

第五十六條 本組合ハ特別積立金ヲ積立ツルコトヲ得前項ノ積立金ハ損失ノ填補ニ充ツルモノトス但シ總會ノ決議ニ依リ之ヲ臨時ノ支出ニ充ツルコトヲ得

第五十七條 剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツベキ金額ヲ控除シ尙殘餘アルトキハ特別積立金、事業ノ分量ニ對スル配當

金、拂込ミタル出資額ニ對スル配當金、役員賞與金又ハ繰越金ト爲スモノトス

第五十八條 事業分量ニ對スル配當ハ事業年度内ニ於テ組合員ガ本組合ニ支拂ヒタル加工料、手数料、利用料及貸付金利息等ヲ参照シテ之ヲ爲ス但シ其ノ種類ニ依リ配當ノ率ヲ異ニスルコトヲ得

拂込ミタル出資額ニ對スル配當ハ事業年度ノ終ニ於ケル組合員ノ拂込濟出資額ニ應ジテ之ヲ爲シ其ノ率ハ年六分以下トス

前二項ノ配當金ノ計算ニ付テハ圓位未滿ノ基礎金額ハ之ヲ切捨ツルモノトス

第五十九條 損失ノ填補ハ先ヅ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第六十條 本組合財産ヲ以テ債務ヲ完済スルコト能ハザル場合ニ於ケル各組合員間ノ損失分擔ノ割合ハ「保證金額」ニ應ズルモノトス脱退シタル組合員ノ損失分擔ノ割合亦同ジ（本規定ハ無限責任組合ニ在リテハ「」内ヲ「出資額」トシ有限責任組合ニ在リテハ本規定ハ之ヲ削除スルコト）

第六章 加入、増口及脱退  
第六十一條 新ニ組合員タラントスル者又ハ出資口數ヲ増

加セントスル者ハ申込書ニ總會ノ決議ヲ以テ定メタル加入金又ハ増口金ヲ添ヘ理事ニ差出スコトヲ要ス

「理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨ヲ本人ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシムベシ」(「」内ハ無限責任組合ニ在リテハ「理事前項ノ申込ヲ受ケタルトキハ總會ノ決議ニ對シ加入ニ異議アラバ何週間以内ニ之ヲ述ベキ旨催告スルコトヲ要ス

前項ノ期間内ニ異議ヲ述べタル組合員ナキトキハ理事ハ申込人ニ對シ加入承諾ノ通知ヲ爲シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシムベシ」ト規定スルコト)

加入又ハ増口ノ效力ハ出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス但シ第六十二條ノ場合ハ理事承諾ノ通知ヲ發シタルトキトス

第六十二條 組合員其ノ持分ヲ讓渡セントスルトキハ當事者連署ノ上理事ノ承諾ヲ受ケベシ此ノ場合ニ於テハ加入金又ハ増口金ヲ徴收セズ

前項ノ規定ハ持分ノ相續其ノ他包括承繼アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第六十三條 組合員脱退セントスルトキハ其ノ事業年度末一箇年前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第六十四條 蠶絲業法施行規則第八十五條ノ規定ニ依ル免蠶絲商共同施設組合定款例

許ノ效力ガ期間ノ經過其ノ他ノ事由ニ依リ消滅スルニ至リタルトキハ當然組合ヲ脱退シタルモノトス

第六十五條 組合員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

一 出資ノ拂込、購買代金ノ支拂、貸付金ノ辨濟、過怠金ノ納付、利用料又ハ利息ノ支拂ヲ怠リ何箇月内ニ其ノ義務ヲ履行セザルトキ

二 第二十九條ノ規定ニ違反シタルトキ

三 組合ノ業務ヲ妨グル所爲アリタルトキ

第六十六條 組合員脱退シタル場合ニ於テ拂戻スベキ持分ノ額ハ其ノ拂込濟出資額ノ二分ノ一ニ止ムルモノトス但シ除名ニ因ル場合ニ於テハ其ノ拂込濟出資額ノ四分ノ一ニ止ムルモノトス

第七章 解散  
第六十七條 本組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル但シ總會ノ決議ニ依リ組合員中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第八章 過怠金  
第六十八條 左ノ場合ニ於テハ過怠金ヲ徴收ス

一 組合員出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ拂込期日後百圓ニ付一日何錢



蠶絲業法關係法規

- 二 組合員第二十九條ノ規定ニ違反シタルトキハ其ノ繭ノ見積價額ノ何分ノ一
- 三 組合員購買物品ノ引取ヲ遲延シ又ハ之ヲ拒ミタルトキハ購買價額ノ何分ノ一

附 則

本組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理事 何 某

、、、、、、、

、、、、、、、

、、、、、、、

何 某

、、、、、、、

、、、、、、、

第二章 原蠶種管理法關係法規



原蠶種管理法

昭和九年三月二十八日法律第二十五號

第一條 政府ハ蠶種ノ統制ヲ圖ル爲原蠶種ノ製造ヲ管理ス

第二條 本法ニ於テ原種トハ原蠶種ニシテ普通蠶種ノ製造ニ用フルモノヲ謂ヒ原原種トハ原蠶種ニシテ原種ノ製造ニ用フルモノヲ謂フ

第三條 原原種ノ製造ハ政府之ヲ行フ  
政府ハ其ノ製造ニ係ル原原種ヲ府縣ニ配付ス但シ第九條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ニ之ヲ配付スルコトヲ得

第四條 前條ノ規定ニ依リ政府ノ製造配付スベキ原原種ノ品種ハ蠶品種審査會ノ議ヲ經テ主務大臣之ヲ定ム  
蠶品種審査會ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ヨリ配付セラレタル原原種ヨリ産出シタル繭ヲ用ヒテ原種ヲ製造シ蠶種製造者ニ之ヲ配付スベシ  
前項ノ規定ニ依ル原種ノ製造及配付ニ關シ必要ナル費用ハ府縣ノ負擔トス但シ國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ豫算ノ範圍内ニ於テ府縣ニ對シ其ノ原種製造設備ニ要スル經

費ノ二分ノ一以内ヲ補助スルコトヲ得

第六條 政府又ハ府縣ハ第三條、前條第一項又ハ第十二條ノ規定ニ依リ配付スル原原種又ハ原種ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ料金ヲ徵收スルコトヲ得

第七條 原原種及原種ノ配付ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 蠶種製造者ハ原蠶種ヲ製造スルコトヲ得ズ

第九條 蠶種製造者ハ前條ノ規定ニ拘ラズ原種ノ製造ニ限り命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ政府ヨリ配付セラレタル原原種ヨリ産出シタル繭ヲ用フルニ非ザレバ原種ヲ製造スルコトヲ得ズ

第十條 蠶種製造者ハ府縣ヨリ配付セラレタル原種又ハ前條第一項ノ許可ヲ受ケ製造シタル原種ヨリ産出シタル繭ヲ用フルニ非ザレバ普通蠶種ヲ製造スルコトヲ得ズ

蠶種製造者ハ府縣ヨリ配付セラレタル原種及其ノ蠶兒ヲ讓渡スコトヲ得ズ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ノ



許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ  
第十一條 蠶種製造者普通蠶種ヲ製造セントスルトキハ主務大臣ノ定メタル交配形式ニ依ルベシ  
主務大臣前項ノ交配形式ヲ定メントスルトキハ蠶品種審査會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス

第十二條 天災其ノ他不可抗力ニ因リ原種ノ製造又ハ配付ヲ爲スコト能ハザル場合ニ於テハ府縣ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケ他ノ府縣ヨリ原種ヲ讓受ケ之ヲ蠶種製造者ニ配付シ又ハ政府ヨリ原種ノ配付ヲ受ケ之ヲ原種トシテ若ハ既ニ配付ヲ受ケタル原種トシテ蠶種製造者ニ配付スルコトヲ得

第十三條 蠶種ノ輸入、移入、輸出又ハ移出ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第十四條 主務大臣ハ蠶種製造者ニ對シ蠶種ノ統制上必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第十五條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ第九條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ニ對シ設備ノ改善ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得  
第十六條 第九條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ノ所爲ニシテ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ

百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第十五條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ同條ノ規定ニ依ル處分ヲ拒ミ若ハ妨ゲタル者

二 第十七條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ妨ゲタル者又ハ臨檢ノ際當該官吏吏員ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者

三 第十七條第四項ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル者

第二十一條 第十八條ノ犯罪ニ係ル蠶種、蠶兒又ハ繭ハ之ヲ沒收シ若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザル場合ハ其ノ價額ヲ追徵ス

前項ノ蠶種又ハ蠶兒犯人以外ノ者ニ屬スルトキハ行政官廳ノ處分ヲ以テ之ヲ沒取スルコトヲ得

第二十二條 蠶種製造者又ハ第十三條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第二十三條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ適用

原蠶種管理法

公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第十七條 當該官吏吏員取締上必要アリト認ムルトキハ蠶種製造者又ハ第十三條ノ許可ヲ受ケタル者ノ事務所、營業所、製造場、倉庫等ニ臨檢シ物品及帳簿其ノ他ノ書類ヲ調査シ又ハ必要ナル分量ニ限り無償ニテ物品ヲ收去スルコトヲ得

主務大臣又ハ地方長官本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲アリト認ムルトキハ當該官吏吏員ヲシテ前項ニ掲ゲタル場所ニ臨檢シ被疑者若ハ參考人ヲ尋問シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スベキ物件、帳簿、書類ヲ搜索シ若ハ之ガ差押ヲ爲サシムコトヲ得

臨檢、尋問、搜索又ハ差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス

主務大臣又ハ地方長官取締上必要アリト認ムルトキハ蠶種製造者又ハ第十三條ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ業務ニ關スル報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第十八條 第八條、第九條第二項第三項、第十條、第十一條第一項又ハ第十三條ノ規定ニ違反シタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條 第十四條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者ハ五

スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十四條 本法中府縣ニ關スル規定ハ北海道ニ於テハ北海道地方費ニ之ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

蠶絲業法第二條中「稱スルハ」ノ下ニ「府縣ヲ除クノ外」ヲ加フ

蠶絲業法第七條ヲ削除ス

蠶絲業法第十條中「蠶種製造者」ヲ「府縣及原蠶種管理法第九條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者」ニ改ム

蠶絲業法第十一條ノ二ニ左ノ一項ヲ加フ

府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ自己ノ製造スル蠶種ニ關シ檢査ヲ行フベシ

蠶絲業法第十二條中「及第十七條ノ檢査ニ合格シタル蠶種」及「原蠶種又ハ」ヲ削除ス

蠶絲業法第十八條及第二十四條ヲ削除ス

蠶絲業法第三十七條第一項中「本法若ハ本法ニ基キテ發ス



原蠶種管理法關係法規

ル命令」ヲ「本法若ハ原蠶種管理法又ハ之ニ基キテ發スル命令」ニ改ム  
蠶絲業法第三十九條第三號ヲ削ル  
蠶絲業法第四十一條第一項中「第三號」ヲ削ル

原蠶種管理法施行期日ノ件

昭和十年八月二十四日勅令第二百五十八號

原蠶種管理法第一條、第二條、第十三條、第十四條、第十九條及附則第八項ノ規定ハ昭和十年九月一日ヨリ之ヲ施行シ同法第十七條、第十八條及第二十條乃至第二十三條ノ規定ハ同法第十三條又ハ第十四條ノ規定ニ關係アル範圍内ニ於テ同日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十一年七月二十二日勅令第二百九號  
原蠶種管理法第五條第二項及第二十四條ノ規定ハ昭和十一年七月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十一年十二月十九日勅令第四百四十四號  
原蠶種管理法第四條及第十一條第二項ノ規定ハ昭和十一年十二月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十二年四月十日勅令第四百十九號  
原蠶種管理法第八條ノ規定ハ原種ノ製造ニ關スル範圍内ニヨリ之ヲ施行ス

昭和十四年十月十四日勅令第七百二號  
原蠶種管理法中未ダ施行セラレザル部分ハ昭和十四年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

原蠶種管理法第五條第二項但書ノ規定ニ依ル國庫補助ニ關スル件

昭和十一年七月二十二日勅令第二百十號

原蠶種管理法第五條第二項但書ノ規定ニ依ル國庫補助ハ北海道地方費又ハ府縣方原種製造設備ノ創設及初度調辨ノ爲ニ支出シタル額ヨリ其ノ支出ニ充ツベキ寄附金其ノ他ノ收入ヲ控除シタル精算額ニ對シ之ヲ爲ス

附則

本令ハ昭和十一年七月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

蠶品種審査會官制

昭和十一年十二月十九日勅令第四百四十五號

第一條 蠶品種審査會ハ農林大臣ノ監督ニ屬シ原蠶種管理法第四條第一項及第十一條第二項ノ規定ニ依リ其ノ權限ニ屬セシメタル事項ヲ調査審議ス

原蠶種管理法施行期日ノ件

於テ昭和十二年四月十五日ヨリ、同法第九條第一項、第十五條及第十六條ノ規定ハ同日ヨリ、同法第十七條、第二十五條、第二十二條及第二十三條ノ規定ハ同法第九條第一項又ハ第十五條ノ規定ニ關係アル範圍内ニ於テ同日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十二年十二月十八日勅令第七百十九號

原蠶種管理法第三條、第六條及第七條ノ規定ハ昭和十四年十一月一日以後ニ於テ掃立ツベキ原種ノ製造ノ用ニ供スル原原種ノ製造配付ニ關スル範圍内ニ於テ昭和十三年一月一日ヨリ、同法第八條ノ規定ハ昭和十四年十一月一日以後ニ於テ掃立ツベキ原種ノ製造ニ要スル原蠶種ノ製造ニ關スル範圍内ニ於テ昭和十三年一月一日ヨリ、同法第十七條、第十八條及第二十條乃至第二十三條ノ規定ハ同法第八條ノ規定ノ施行ニ關係アル範圍内ニ於テ同日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十四年一月十日勅令第十三號

原蠶種管理法第五條第一項、第六條、第七條、第九條第二項第三項及第十二條並ニ附則第二項及第五項ノ規定ハ昭和十四年十一月一日以後ニ於テ掃立ツベキ原種及其ノ蠶兒ニ關スル範圍内ニ於テ同年一月十五日ヨリ、同法第十七條、第十八條及第二十條乃至第二十三條ノ規定ハ同法第九條第二項又ハ第三項ノ規定ノ施行ニ關係アル範圍内ニ於テ同日ノ組織

第二條

第三條 會長ハ農林大臣ヲ以テ之ニ充ツ

委員ハ農林大臣ノ奏請ニ依リ農林部内高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

學識經驗アル者ノ中ヨリ命セラレタル委員ノ任期ハ三年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨ゲズ

第四條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ農林大臣ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第五條 審査會ニ幹事ヲ置ク農林大臣ノ奏請ニ依リ農林部

内高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第六條 審査會ニ書記ヲ置ク農林部内判任官ノ中ヨリ農林

大臣之ヲ命ズ

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

附則

本令ハ昭和十一年十二月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

原蠶種料金令



原蠶種管理法關係法規

昭和十二年十二月十八日勅令第七百二十號  
改正 昭和十四年一月十日勅令第十四號

第一條 政府ハ原蠶種管理法第三條第二項ノ規定ニ依リ配付スル原原種ニ對シ左ノ區別ニ從ヒ料金を徴收ス

- 一 北海道地方費又ハ府縣ニ配付スル場合
  - 一 蛾ニ付 二十錢
- 二 原蠶種管理法第九條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ニ配付スル場合
  - 一 蛾ニ付 五十錢

第二條 北海道地方費又ハ府縣ガ原蠶種管理法第五條第一項又ハ第十二條ノ規定ニ依リ配付スル原原種ニ對シ徴收スル料金ハ一蛾ニ付十錢ヲ超ユルコトヲ得ズ

第三條 政府ハ原蠶種管理法第十二條ノ規定ニ依リ北海道地方費又ハ府縣ガ原種トシテ配付スベキ原原種ヲ配付スル場合ニ於テハ北海道地方費又ハ府縣ガ其ノ原原種ニ對シ徴收スル料金ト同領ノ料金ヲ徴收ス

附 則  
本令ハ昭和十四年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

原蠶種管理法施行規則

昭和十年八月二十四日農林省令第二十一號  
改正 昭和十二年二月一日農林省令第三號  
改正 昭和十二年四月十日農林省令第八號  
改正 昭和十四年一月十日農林省令第二號

付ヲ受ケントスルトキハ前條第一號及第二號ニ掲グル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シタル請求書ヲ其ノ原原種ノ蠶兒ノ掃立ヲ爲サントスル年ノ前年ノ一月三十一日迄ニ蠶絲試驗場ニ提出スベシ

- 一 原種ノ越年不越年別製造數量
- 二 原種ノ蠶兒ノ掃立時期及數量
- 三 原種ノ交配形式
- 四 普通蠶種ノ製造數量

第五條 第三條又ハ前條ノ規定ニ依リ原原種ノ配付ノ請求アリタルトキハ蠶絲試驗場長ハ配付スベキ原原種ノ品種名、數量、料金、料金納付期限、引渡期限、引渡場所其ノ他必要ナル事項ヲ十一月三十日迄ニ請求者ニ通知スベシ

第六條 道府縣左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ第三條ノ規定ニ拘ラズ原原種ノ配付ノ請求書ヲ蠶絲試驗場ニ提出スルコトヲ得

- 一 原原種ヲ滅失又ハ毀損シタルトキ
- 二 原原種ノ蠶兒ノ掃立ヲ終リタル後原種ヲ製造スルコト能ハザルニ至リタルトキ
- 三 原種ヲ製造シタル後滅失、毀損其ノ他ノ事由ニ因リ之ヲ配付スルコト能ハザルニ至リタルトキ

原蠶種管理法施行規則

一三四

第一條 道府縣ハ原種ノ製造ヲ其ノ蠶業試驗場ヲシテ爲サシムベシ但シ農林大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 道府縣ハ其ノ蠶業試驗場又ハ前條但書ノ認可ヲ受ケタルモノノ設備ニ於テ原種ヲ製造スベシ但シ農林大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ  
道府縣前項但書ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

- 一 蠶種製造場所又ハ蠶兒飼育場所
- 二 掃立數量及蠶種製造額ノ概定數
- 三 蠶種製造又ハ蠶兒飼育ノ用ニ供スル建物ノ種類及平面積並ニ構造ノ概要
- 四 原種製造ノ管理者

第三條 道府縣原原種ノ配付ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル請求書ヲ其ノ原原種ノ蠶兒ノ掃立ヲ爲サントスル年ノ前年ノ一月三十一日迄ニ蠶絲試驗場ニ提出スベシ

- 一 原原種ノ品種名及請求數量
- 二 原原種ノ蠶兒ノ掃立時期及數量
- 三 原種ノ越年不越年別製造及配付數量
- 第四條 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者原原種ノ配

四 前各號ノ外特別ノ事由ニ因リ原原種ノ必要ヲ生ズルニ至リタルトキ  
前項ノ請求書ニハ第三條各號ニ掲グル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 事由
- 二 滅失又ハ毀損シタル原原種ノ品種名及數量
- 三 蠶兒ノ掃立ヲ終リタル後原種ヲ製造スルコト能ハザルニ至リタル原原種ノ品種名及數量
- 四 滅失、毀損其ノ他ノ事由ニ因リ配付スルコト能ハザルニ至リタル原原種ノ品種名及數量

第七條 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者故意又ハ重大ナル過失ニ因リニ非ズシテ前條第一項第一號若ハ第二號ニ該當シ又ハ原種ヲ製造シタル後滅失、毀損其ノ他ノ事由ニ因リ之ヲ普通蠶種ノ製造ノ用ニ供スルコト能ハザルニ至リタルトキハ第四條ノ規定ニ拘ラズ原原種ノ配付ノ請求書ヲ蠶絲試驗場ニ提出スルコトヲ得

原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者前條第一項第四號ニ該當スルニ至リタルトキ亦前項ニ同ジ

一三五



前二項ノ請求書ニハ第四條ノ規定ニ依リ記載スベキ事項、前條第二項第一號乃至第三號ニ掲グル事項及滅失、毀損其ノ他ノ事由ニ因リ普通蠶種ノ製造ノ用ニ供スルコト能ハザルニ至リタル原種ノ品種名及數量ヲ記載スベシ

前條第三項ノ規定ハ第一項及第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八條 農林大臣原種ノ品種ヲ定メタルトキ又ハ原種ノ交配形式ヲ定メタルトキハ之ヲ告示ス

第九條 農林大臣必要ト認ムルトキハ道府縣ニ對シ原原種ノ蠶兒ノ掃立時期又ハ原原種一蛾分ヨリ製造スル原種ノ數量ヲ制限スルコトアルベシ

前項ノ規定ニ依ル制限ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示ス

第十條 農林大臣必要ト認ムルトキハ原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ニ對シ原原種若ハ原種ノ蠶兒ノ掃立時期、不越年普通蠶種ノ製造又ハ原原種一蛾分ヨリ製造スル原種ノ數量若ハ原種一蛾分ヨリ製造スル普通蠶種ノ數量ヲ制限スルコトアルベシ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 農林大臣必要ト認ムルトキハ地方長官ヲシテ蠶種製造者ニ對シ原種ノ蠶兒ノ掃立時期、不越年普通蠶種ノ製造又ハ原種一蛾分ヨリ製造スル普通蠶種ノ數量ノ制限ヲ爲サシムルコトアルベシ

第十二條 地方長官必要ト認ムルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ原種一蛾分ヨリ製造スル普通蠶種ノ數量ヲ制限スルコトヲ得

第十三條 地方長官ハ原種ノ配付ニ關スル規定ヲ定メ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第十四條 道府縣ハ蠶種製造者ガ其ノ道府縣ノ區域外ノ蠶種製造場所ニ於テ行フ普通蠶種ノ製造ノ用ニ供スル原種ヲ配付スルコトヲ得ズ但シ農林大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ原種製造ノ許可ヲ爲サズ

一 一年間ノ原種製造額概定數原種製造場所毎ニ八千蛾ニ滿タザルトキ

二 一年間ノ普通蠶種製造額概定數十萬グラムニ滿タザルトキ

三 原原種ノ蠶兒ノ掃立數量及原種製造額ノ概定數ニ相當スル設備ナキトキ

四 最近三年間ニ於ケル各年ノ普通蠶種製造額十萬グラムニ滿タザルトキ

五 最近三年間ニ於ケル各年ノ普通蠶種ノ歩合検査ノ合格歩合(検査合格額ノ検査總額ニ對スル割合)百分ノ

二、第六號乃至第九號ニ掲グル事項ハ普通蠶種製造場所毎ニ之ヲ記載スベシ

第一項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第十七條 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者前條第一項第二號乃至第七號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ農林大臣ノ許可ヲ受クベシ

第十八條 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ハ原種製造場所毎ニ原種製造ノ管理者ヲ選任スベシ

前項ノ規定ニ依ル原種製造ノ管理者ノ選任ハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

農林大臣必要ト認ムルトキハ原種製造ノ管理者ノ資格ヲ定ムルコトアルベシ

前項ノ資格ヲ定メタルトキハ之ヲ告示ス

原種製造ノ管理者ハ同時ニ二人以上ノ蠶種製造者ノ原種製造ノ管理者タルコトヲ得ズ

蠶種製造者ハ原種製造ノ管理者タルコトヲ得ズ

蠶種製造ノ管理者ハ原種製造ノ管理者タルコトヲ得ズ

第十九條 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ農林大臣ハ其ノ業務ヲ停止シ又ハ其ノ許可ヲ取消スコトアルベシ

九十五ニ滿タザルトキ

六 許可申請者ガ原蠶種管理法若ハ蠶絲業法又ハ之ニ基キテ發スル命令ニ違反シ處罰ヲ受ケ又ハ許可若ハ免許ヲ取消サレタル後三年ヲ經過セザル者ナルトキ

七 前各號ノ外農林大臣ニ於テ不適當ト認ムルトキ

第十六條 原種製造ノ許可ヲ受ケントスル蠶種製造者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

一 履歷ノ要領

二 原種製造場所及原原種ノ蠶兒飼育場所

三 原原種ノ蠶兒ノ掃立數量及原種製造額ノ概定數

四 原種製造及原原種ノ蠶兒飼育ノ用ニ供スル建物ノ種類及平面積並ニ構造ノ概要

五 第二號ノ原種製造場所ニ於テ製造セル原種ヲ用ヒテ製造スル普通蠶種製造場所

六 前號ノ普通蠶種製造場所ニ於ケル原種ノ蠶兒ノ掃立數量及普通蠶種製造額ノ概定數

七 第五號ノ普通蠶種製造場所ニ於ケル普通蠶種ノ製造ノ用ニ供スル建物ノ種類及平面積並ニ構造ノ概要

八 最近三年間ニ於ケル各年ノ普通蠶種ノ製造額

九 最近三年間ニ於ケル各年ノ普通蠶種ノ歩合検査成績

前項第二號乃至第五號ニ掲グル事項ハ原種製造場所毎



- 一 正當ノ事由ナクシテ一年間原種ノ製造ヲ爲サズ若ハ一年間ノ原種製造額原種製造場所毎ニ八千蛾ニ滿タザルトキ又ハ原種ノ蠶兒ノ掃立數量及原種製造額ノ概定數ニ相當スル設備ナキニ至リタルトキ
  - 二 正當ノ事由ナクシテ一年間普通蠶種ノ製造ヲ爲サズ又ハ引續キ三年以上各年ノ普通蠶種ノ製造額十萬グラタニ滿タザルトキ
  - 三 一年ヲ通ジ普通蠶種ノ歩合検査ノ合格歩合(検査合格額ノ検査總額ニ對スル割合)百分ノ九十五ニ滿タザルトキ
- 第二十條 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ハ特別ノ事由ニ因リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外道府縣ニ對シ原種ノ配付ヲ請求スルコトヲ得ズ
- 第二十一條 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ハ現ニ原種ノ蠶兒ノ掃立若ハ飼育又ハ原種ノ製造ヲ爲ス建物内ニ於テ原種ノ蠶兒ノ掃立ヨリ普通蠶種ノ製造ヲ終ル迄ノ作業ヲ爲スコトヲ得ズ但シ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第二十二條 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者死亡シ若ハ解散シ又ハ其ノ業務ヲ廢止シタルトキハ許可ハ其ノ效力ヲ失フ但シ死亡又ハ解散ノ場合ニ於テ其ノ相續人又

- ハ合併後存續スル法人若ハ合併ニ因リテ設立シタル法人ガ相續又ハ合併ニ因リ蠶種製造者ト爲リタルトキハ被相續人又ハ合併ニ因リテ解散シタル法人ニ對シテ爲シタル原種製造ノ許可ハ爾後相續人又ハ合併後存續スル法人若ハ合併ニ因リテ設立シタル法人ニ對シテ之ヲ爲シタルモノト看做ス
  - 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ノ相續人死亡以外ノ事由ニ因ル相續ニ因リ原種製造者ト爲リタルトキハ被相續人ニ對シテ爲シタル原種製造ノ許可ハ爾後相續人ニ對シテ之ヲ爲シタルモノト看做ス
  - 第一項但書及前項ノ場合ニ於テハ相續又ハ合併アリタルコトヲ證スル書類ヲ添附シ遲滞ナク農林大臣ニ其ノ旨ヲ届出ヅベシ
- 第二十三條 原蠶種管理法第九條第三項但書ノ許可ハ蠶種製造者其ノ業務ヲ休止シ若ハ廢止シタルトキ又ハ特別ノ事由ニ因リ農林大臣ニ必要ト認メタル場合ニ非ザレバ之ヲ爲サズ
- 第二十四條 蠶種製造者原蠶種管理法第九條第三項但書ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ
- 一 品種名、原種ノ記號及番號

- 二 原種製造場所
  - 三 讓渡ノ事由
  - 四 讓渡ノ數量(原種ノ蠶兒ノ掃立口ヲ分割シテ讓渡サントスル場合ニ於テハ掃立口ノ掃立數量及之ニ對スル割合)、價格及時期
  - 五 讓受人ノ氏名又ハ名稱及住所
  - 六 讓受人ノ普通蠶種製造場所及原種ノ蠶兒飼育場所
- 原種ノ蠶兒ヲ讓渡サントスル場合ニ在リテハ前項各號ニ掲グル事項ノ外掃立時期、掃立口ノ記號及其ノ蠶兒飼育場所ヲ記載スベシ
- 第二十五條 原蠶種管理法第十條第二項但書ノ許可ハ蠶種製造者其ノ業務ヲ休止シ若ハ廢止シタルトキ又ハ特別ノ事由ニ因リ地方長官必要ト認メタル場合ニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ
- 第二十六條 道府縣原蠶種管理法第十二條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ
- 一 原種ノ製造及配付豫定品種名並ニ數重
  - 二 原種ノ製造又ハ配付ヲ爲スコト能ハザルニ至リタル事由、其ノ品種名及數量
  - 三 製造配付ヲ爲シ又ハ爲シ得ベキ原種ノ品種名及數量

- 四 補充ヲ要スル原種ノ品種名及數量
  - 五 北海道又ハ他ノ府縣ヨリ原種ヲ讓受ケ配付セントスル場合ニ在リテハ其ノ品種名、數量、價格及讓受ノ時期
  - 六 政府ヨリ原種ノ配付ヲ受ケ原種トシテ配付セントスル場合ニ在リテハ其ノ品種名及數量
  - 七 既ニ政府ヨリ配付ヲ受ケタル原種ヲ原種トシテ配付セントスル場合ニ在リテハ其ノ品種名及數量
- 北海道又ハ他ノ府縣ヨリ原種ヲ讓受ケントスル場合ニ在リテハ前項ノ申請書ニ其ノ道府縣ノ讓渡承諾書ヲ添附スベシ
- 第二十七條 道府縣原蠶種管理法第十二條ノ許可ヲ受ケ政府ヨリ原種トシテ配付スベキ原種ノ配付ヲ受ケントスルトキハ前條ノ規定ニ依ル申請書ト同時ニ其ノ品種名及數量ヲ記載シタル請求書ヲ蠶絲試驗場ニ提出スベシ
- 第六條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
- 第二十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル蠶種ニシテ且農林大臣ニ於テ適當ト認ムル場合ニ非ザレバ輸出又ハ移出ノ許可ヲ爲サズ
- 一 輸入用原種ノ製造ノ用ニ供スル原種
  - 二 輸移入用普通蠶種ノ製造ノ用ニ供スル原種ノ製造ノ用ニ供スル原種



- 三 輸移入用普通蠶種ノ製造ノ用ニ供スル原種  
農林大臣特ニ必要ト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ蠶種ノ輸出又ハ移出ノ許可ヲ爲スコトアルベシ
- 第二十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル蠶種ニシテ且農林大臣ニ於テ適當ト認ムル場合ニ非ザレバ輸入又ハ移入ノ許可ヲ爲サズ
  - 一 前條第一項第一號ニ掲グル原原種ヲ用ヒテ製造シタル原種
  - 二 前條第一項第二號ニ掲グル原原種ヨリ製造シタル原種ヲ用ヒテ製造シタル普通蠶種
  - 三 前條第一項第三號ニ掲グル原種ヲ用ヒテ製造シタル普通蠶種
- 農林大臣特ニ必要ト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ蠶種ノ輸入又ハ移入ノ許可ヲ爲スコトアルベシ
- 第三十條 國ノ學校、試驗場等ガ蠶種ノ輸入、移入、輸出又ハ移出ヲ爲ス場合ニ於テハ許可ヲ受クルコトヲ要セズ
- 第三十一條 蠶種ノ輸入、移入、輸出又ハ移出ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ
  - 一 蠶種ヲ製造シタル者ノ氏名又ハ名稱及住所
  - 二 蠶種ヲ製造シタル場所

- 三 品種名及製造ノ時期
- 四 數量
- 五 目的
- 六 輸移出入ノ時期
- 七 輸送ノ方法及経路（郵便ニ依リ輸入、移入、輸出又ハ移出セントスル場合ニ在リテハ發送地及受取人ノ氏名又ハ名稱及住所）
- 第二十八條第一項各號ニ掲グル蠶種ヲ輸出又ハ移出セントスル場合ニ在リテハ前項各號ニ掲グル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スベシ
  - 一 蠶種ヲ製造セントスル者ノ氏名又ハ名稱及住所
  - 二 蠶兒ヲ飼育セントスル場所
  - 三 蠶種ヲ製造セントスル場所
- 前二項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ
- 第三十二條 蠶種ノ輸入、移入、輸出又ハ移出ノ許可ヲ受ケタル者前條第一項第四號及第五號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ農林大臣ノ許可ヲ受クベシ
- 第三十三條 蠶種ノ輸出又ハ移出ノ許可ヲ受ケタル者其ノ蠶種ヲ輸出又ハ移出セントスルトキハ蠶種ニ輸出又ハ移出ノ許可ヲ證スル書面ヲ添ヘ之ヲ蠶種製造者ニ在リテハ

- 蠶種製造場所所在地ヲ、其ノ他ノ者ニ在リテハ住所地方管轄スル蠶業取締所ニ提出シ輸移出蠶種證印ノ押捺ヲ請求スベシ
- 前項ノ請求アリタルトキハ其ノ蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ様式第一號ニ依ル輸移出蠶種證印ヲ押捺ス
- 第三十四條 原蠶種管理法第十七條第一項ノ規定ニ依リ物品ヲ收去セントスルトキハ當該蠶種製造者若ハ同法第十條ノ許可ヲ受ケタル者又ハ其ノ從業者、同居者若ハ隣佑ニシテ成年ニ達シタルモノノ立會ヲ以テ之ヲ爲スベシ
- 收去シタル物品ハ之ヲ容器ニ納メ又ハ結束ヲ爲シ之ニ封緘ヲ施シ其ノ品名、物品ヲ收去セラレタル者ノ氏名又ハ名稱並ニ收去ノ年月日及場所ヲ記載シ當該官吏及立會人ノ署名捺印スベシ立會人署名捺印セズ又ハ署名捺印スルコト能ハザルトキハ其ノ旨ヲ附記スベシ
- 第三十五條 原蠶種管理法第十七條第二項ノ規定ニ依リ當該官吏員臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲サントスルトキハ様式第二號ニ依ル證票ヲ携帯スベシ
- 臨檢、搜索、尋問及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法施行規則第二條乃至第五條、第八條及第十二條ノ規定ヲ準用ス
- 第三十六條 地方長官原蠶種管理法及本則ノ施行ニ關スル

- 規定ヲ定メタルトキハ遲滞ナク農林大臣ニ其ノ旨ヲ報告スベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ
- 第三十七條 道府縣ハ毎年五月三十一日迄ニ前年ニ於テ製造シタル原種ニ付原種製造成績書ヲ農林大臣ニ提出スベシ
- 第三十八條 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ハ毎年三月三十一日迄ニ前年ニ於テ製造シタル原種ニ付原種製造成績書ヲ農林大臣ニ提出スベシ
- 第三十九條 道府縣ハ左ニ掲グル場合ニ於テハ遲滞ナク農林大臣ニ其ノ旨ヲ届出ツベシ
  - 一 原原種、原原種ノ蠶兒又ハ原原種ヨリ産出シタル繭ヲ讓渡シタルトキ
  - 二 原蠶種管理法第十二條ノ許可ヲ受ケ北海道又ハ他ノ府縣ヨリ原種ヲ讓受ケ之ヲ蠶種製造者ニ配付シタルトキ
  - 三 原蠶種管理法第十二條ノ許可ヲ受ケ原原種ヲ原種トシテ配付シタルトキ
- 第四十條 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ハ左ニ掲グル場合ニ於テハ遲滞ナク農林大臣ニ其ノ旨ヲ届出ツベシ但シ死亡ノ場合ニ於テハ其ノ相續人、戸主又ハ家族ヨリ其ノ旨ヲ届出ツベシ



原蠶種管理法關係法規

- 一 死亡シ又ハ解散シタルトキ
- 二 氏名若ハ名稱又ハ住所ヲ變更シタルトキ
- 三 原種又ハ普通蠶種ノ製造ヲ休止シ又ハ之ヲ開始シタルトキ
- 四 原種又ハ普通蠶種ノ製造ヲ廢止シタルトキ
- 五 蠶種製造場所ノ全部又ハ一部滅失シタルトキ
- 六 原原種、原原種ノ蠶兒又ハ原原種ヨリ産出シタル繭ヲ讓渡シタルトキ
- 七 原蠶種管理法第九條第三項但書ノ許可ヲ受ケ原種又ハ其ノ蠶兒ヲ讓渡シタルトキ
- 八 原種ヨリ産出シタル繭ヲ讓渡シタルトキ
- 第四十一條 蠶種ノ輸入、移入、輸出又ハ移出ノ許可ヲ受ケタル者ハ左ニ掲グル場合ニ於テハ遲滞ナク農林大臣ニ其ノ旨ヲ届出ヅベシ
  - 一 第三十一條第一項第六號第七號及同條第二項各號ニ掲グル事項ヲ變更シタルトキ
  - 二 蠶種ヲ輸入、移入、輸出又ハ移出シタルトキ
- 第四十二條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ蠶種製造者ニ在リテハ蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ、其ノ他ノ者ニ在リテハ住所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スベシ但シ地方長官ノ管轄ヲ異ニスルニ以上ノ地

域ニ蠶種製造場所ヲ有スル者ニ在リテハ住所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スベシ

第四十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

- 一 第十條又ハ第十一條ノ規定ニ依ル制限ニ違反シタル者
- 二 第十七條、第二十一條、第三十二條又ハ第三十三條ノ規定ニ違反シタル者

第四十四條 第二十二條第三項、第三十八條、第四十條又ハ第四十一條ノ規定ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附 則

本令ハ昭和十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第一條乃至第二十七條及第三十六條乃至第四十條ノ施行ノ期日ハ別ニ之ヲ定ム

附 則 (昭和十二年二月一日農林省令第三號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

原蠶種管理法第九條第一項ノ規定施行ノ際現ニ蠶種製造者タル者ガ同規定施行ノ日ヨリ昭和十四年十月三十一日迄ノ間ニ於テ同期間内ニ掃立ツベキ原種ヲ製造スル場合ニ於テ

ハ之ヲ同項ノ許可ヲ受ケ爲スモノト看做ス(昭和十二年四月十日農林省令第八號)

附 則

本令ハ昭和十二年四月十五日ヨリ之ヲ施行ス

前項ノ規定ニ該當スル場合ニ於テハ第四條、第五條、第七條、第十條、第十七條乃至第二十一條、第二十三條、第二十四條、第三十八條及第四十條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

附 則

本令ハ昭和十四年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

様 式

第一號

昭 和	輸 送	移 (移)	出 府	蠶 種	年
道	道		府	縣	

縱 二 糶  
横 三 糶  
肉 色 朱

原蠶種管理法施行ニ關スル件

第二號

第 號	年 月	日交付
原蠶種管理法施行規則		
第三十五條ノ規定ニ依ル證票		
官 職	農林省又ハ道府縣印	氏 名

縱八・五糶  
横六・〇糶

原蠶種管理法施行規則施行期日ノ件

昭和十一年十二月十九日農林省令第三十五號  
原蠶種管理法施行規則第八條ハ昭和十一年十二月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十二年四月十日農林省令第七號  
原蠶種管理法施行規則第十五條乃至第十七條、第二十二條



原蠶種管理法關係法規

及第四十條ノ規定ハ昭和十二年四月十五日ヨリ之ヲ施行ス  
 昭和十二年十二月十八日農林省令第四十九號  
 原蠶種管理法施行規則第三條乃至第七條ノ規定ハ昭和十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十四年一月十日農林省令第一號  
 原蠶種管理法施行規則第一條、第二條、第九條、第十條、第十三條、第十四條、第十八條乃至第二十一條、第二十三條、第二十四條、第二十六條、第二十七條及第三十六條乃至第三十九條ノ規定ハ昭和十四年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十四年十月十九日農林省令第五十二號  
 原蠶種管理法施行規則中未ダ施行セラレザル規定ハ昭和十四年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

原蠶種管理法施行ニ關スル件

昭和十年八月二十四日附一〇蠶局第一三六九號蠶絲局長通牒

原蠶種管理法及同法施行規則九月一日ヨリ一部施行ノコトト相成候處其ノ施行ニ付テハ左記御了知ノ上取扱相成度此段及通牒候也

- 一 原蠶種管理法施行規則第二十八條第一項又ハ第二十九條第一項ノ「適當ト認ムル場合」ハ特別ノ事情アル場合ヲ除キ蠶絲業法ニ準ズル取締ヲ行フ地ニ於テ原種若ハ普通蠶種ヲ製造セントスルトキ又ハ之ヲ製造シタルトキトス
- 二 蠶種ノ輸出又ハ移出ノ許可申請書ハ様式第一號、輸入又ハ移入ノ許可申請書ハ様式第二號ニ依リ作成セシムルコト
- 三 蠶種ノ輸移出入許可申請書記載事項中數量及目的ノ變更ノ許可申請書ニハ事由ヲ具シ且許可番號ヲ附記シ之ヲ提出セシムルコト
- 四 蠶業取締所輸移出蠶種證印ノ押捺ヲ爲シタルトキハ輸移出蠶種證印押捺臺帳ヲ作製シ之ニ必要ナル事項ヲ記載スルコト
- 五 蠶業取締所輸移出蠶種證印ノ押捺ヲ爲シタルトキハ地方長官ハ遲滞ナク様式第三號ニ依リ農林大臣ニ報告スルコト
- 六 原蠶種管理法施行規則第四十條第二號ノ規定ニ依リ届出ハ様式第四號又ハ様式第五號ニ依ラシムルコト

様式

第一號

蠶種輸(移)出許可申請書

記號	原種	原種	品名	製造時期	目的	數量	輸(移)出輸送ノ方	蠶種ヲ製					
								蠶種ヲ製	蠶種ヲ製	蠶種ヲ製	蠶種ヲ製		
番號	通蠶種	別蠶種	品名	年月日		(瓦)	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所
記號	原種	原種	品名	製造時期	目的	數量	輸(移)出輸送ノ方	蠶種ヲ製	蠶種ヲ製	蠶種ヲ製	蠶種ヲ製	蠶種ヲ製	蠶種ヲ製
番號	通蠶種	別蠶種	品名	年月日		(瓦)	場所	場所	場所	場所	場所	場所	場所

右ニ依リ蠶種ヲ輸(移)出致度ニ付許可相成度此段及申請候也

年 月 日

住 所

氏

名(名稱)印

注意

農 林 大 臣 宛

- 一 記號、原原種原種普通蠶種ノ別、品名、目的、輸(移)出ノ時期、輸送ノ方法及經路、蠶種ヲ製造シタル場所、蠶種ヲ製造シタル者ノ住所氏名(名稱)ヲ異ニスル毎ニ別行ニ記載スルコト
- 二 目的ハ原種製造用、普通蠶種製造用、學術研究用等使用目的ヲ記載スルコト
- 三 輸送ノ方法ハ小包郵便、小型包裝物、携帶品、貨物等ニ分チ經路ハ郵便ニ依ル場合ヲ除キ輸(移)出港若ハ離陸地及陸揚港若ハ着陸地並ニ仕向地等ヲ記載スルコト

原蠶種管理法施行ニ關スル件(蠶種ノ輸移出入許可ニ關スル件)



原蠶種管理法關係法規

第二號

蠶種輸(移)入許可申請書

原原種原種普通蠶種ノ別	品種名	製造時期 年月日	目的	數量	輸(移)入 時期 年月	輸送ノ方 法及經路	蠶種ヲ製造 シタル場所	蠶種ヲ製造シ タル者ノ住所 氏名(名稱)

右ニ依リ蠶種ヲ輸(移)入致度ニ付許可相成度此段及申請候也

年 月 日

住 所

名(名稱)印

農 林 大 臣 宛

注意

- 一 原原種原種普通蠶種ノ別、品種名、製造時期、輸(移)入ノ時期、輸送ノ方法及經路、蠶種ヲ製造シタル者ノ住所氏名(名稱)ヲ異ニスル毎ニ別行ニ記載スルコト
- 二 目的ハ普通蠶種製造用、學術研究用等使用目的ヲ記載スルコト
- 三 輸送ノ方法ハ小包郵便、小型包裝物、携帶品、貨物等ニ分チ經路ハ郵便ニ依ル場合ヲ除キ積出港若ハ離陸地及輸(移)入港若ハ着陸地等ヲ記載スルコト

第三號

輸(移)出蠶種證印押捺報告書

證印押捺 年月日	證印押捺 請求者	許可書 番 號	記 號	原原種原種 普通蠶種ノ別	品 種 名	數 量	目 的	蠶種ヲ製造シタル者 ノ住所氏名(名稱)

第四號

蠶種輸(移)出届

許可書番 第 號	輸(移)出 年月日	記 號	原原種原種 普通蠶種ノ別	品 種 名	數 量	備 考

右及届出候也

年 月 日

農 林 大 臣 宛

住 所

名(名稱)印

原蠶種管理法施行ニ關スル件(蠶種ノ輸移出入許可ニ關スル件)



第五號

蠶種輸(移)入届

許可書番號 第 號	輸(移)入ノ年月日	原種	品 種 名	數	量 備 考
		普通蠶種ノ別種			

右及届出候也

年 月 日

住 氏 所

名(名稱)印

農林大臣宛

蠶種ノ輸移出入許可ニ關スル件

昭和十年八月二十四日附一〇蠶第七五七一號  
大藏、逓信、拓務次官宛農林次官申進  
今般勅令第二百五十八號ヲ以テ原蠶種管理法中一部施行セ  
ラレ九月一日以後ニ於テハ蠶種ハ總テ農林大臣ノ許可ヲ受

クルニ非ザレバ輸入、移入、輸出又ハ移出シ得ザルコトト  
相成候ニ付テハ右取扱ニ關シ可然御配意相煩度此段及依頼  
候也  
追而右勅令並ニ原蠶種管理法施行規則各一部爲參考及送  
付候

蠶種ノ輸出入許可ニ關スル件

昭和十年九月三日附一〇蠶局  
第一四三〇號大藏省主稅局長宛蠶絲局長申進  
標記ノ件ニ關シテハ蠶ニ農林次官ヨリ大藏次官宛依頼相成  
候右ハ左記ニ依リ取扱致度候條可然御配意相煩度此段及依  
頼候也

蠶種ノ輸出ニ關スル件

昭和十一年四月二十一日附蠶局第四〇二號ヲ以  
一蠶局長第五六六號蠶絲局長通牒  
標記ノ件ニ關シテハ三月十九日附一蠶局第四〇二號ヲ以  
テ及通牒置候處尙現下内外蠶絲業ノ情勢ニ鑑ミ夏秋蠶期以  
後ニ於テモ當分ノ内ハ特別ノ事情存セザル限り之ヲ許可セ  
ザルコトニ致度候條右ニ御了知相成度此段及通牒候也

蠶種ノ輸移出入ニ關スル件

一 農林大臣蠶種ノ輸出又ハ輸入ノ許可ヲ爲シタルトキハ  
(原蠶種管理法第十三條、同法施行規則第三十條)其ノ旨  
貴局並ニ關係稅關宛通知スルコト通知シタル事項ニ變更  
アリタルトキモ亦同ジキコト  
二 蠶種輸出ノ許可ヲ受ケタル者蠶種ヲ輸出セントスル場  
合ニ於テハ所轄蠶業取締所ニ於テ蠶種ニ輸出蠶種證印ノ  
押捺ヲ受クルコト(原蠶種管理法施行規則第三十三條)但  
シ道府縣ハ此ノ手續ヲ要セザルコト  
三 輸出又ハ輸入申告ニ際シテハ輸出又ハ輸入ノ許可ヲ證  
スル書面ヲ提示セシムルコト  
輸出又ハ輸入ノ免許ヲ爲シタルトキハ輸出又ハ輸入ノ許  
可ヲ證スル書面ノ裏面ニ其ノ旨ヲ記載セラレタキコト

昭和十一年四月二十一日附蠶業課長申進  
蠶種ノ輸出許可ノ取扱方ニ關シテハ本日別途蠶絲局長ヨリ  
貴知事宛通牒相成候處尙標記ノ件ニ付テハ左記事項御了知  
ノ上可然御取計相成様致度此段申進候也

一 輸出ノ目的ヲ以テ蠶種ノ製造ヲ行ハシメザル様配慮セ  
ラレ度キコト  
二 特別ノ事情ニ依リ蠶種ノ輸出許可ヲ希望スル向アリタ  
ルトキハ豫メ打合セラレ度キコト  
三 原蠶種管理法施行規則第二十八條第一項ノ規定ニ依リ  
蠶種ノ移出ノ許可ヲ受ケントスル場合ニ於テ許可申請者

蠶種ノ輸出入許可ニ關スル件

一四九



原蠶種管理法關係法規

ト蠶種ヲ製造セントスル者ガ異ル場合ニ在リテハ右兩者ノ關係ヲ記シタル書面及移出先ニ於テ蠶種ヲ製造セントスル者ガ蠶種製造ノ免許又ハ許可ヲ受ケタルコトヲ證スル書面ヲ添附セシムルコト

- 四 原蠶種管理法施行規則第二十八條第一項ノ規定ニ依リ蠶種ノ移出ノ許可ヲ受ケントスル場合昭和十年八月二十四日附一〇蠶局第一、三六九號蠶絲局長通牒様式第一號中「目的」欄中ニハ「移入用」ノ字句ヲ冠シ（例、移入用原種製造用、移入用普通蠶種製造用等）記載スルコト
- 五 原蠶種管理法施行規則第二十九條第一項ノ規定ニ依リ蠶種ヲ移入セントスル場合ニ在リテハ同則第二十八條第一項ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケタル蠶種ヲ用ヒ製造セラレタルモノナルコトノ官公署ノ證明書ヲ申請書ニ添附セシメラレ度キコト

蠶種ノ輸移出ニ關スル件

昭和十一年五月二十五日附一蠶第四三七四號 文部 次官宛農林次官申進

客年九月一日ヨリ原蠶種管理法中一部施行セラレ蠶種ノ輸移出ニ關シテハ國ノ學校、試驗場等ヲ除クノ外ハ農林大臣ノ許可ヲ要スルコトト相成リ爾來蠶種ノ輸移出ニ對シテ

原種製造設備補助要項

- 第一 補助スベキ設備費ハ蠶室、蠶種保護室、催青及發蛾促進室、蠶種検査室、蠶種冷蔵庫、寄宿舎等ノ新設、増設、改設又ハ買入ニ要スル費用トス
- 第二 補助金ノ交付ヲ受ケントスル道府縣ハ申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ
  - 一 様式第一號ニ依ル事業計畫書
  - 二 様式第二號ニ依ル設備要領書
  - 三 様式第三號ニ依ル收支豫算書
  - 第三 補助金交付ノ許可ヲ受ケタル道府縣第二ノ書類ニ記載シタル事項ニ重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ
  - 第四 補助金交付ノ許可ヲ受ケタル道府縣補助金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ工事完成又ハ物件買入終了後請求書ニ様式第四號ニ依ル收支精算書ヲ添附シ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ
  - 第五 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ補助金交付ノ許可ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル補助金ノ全部若ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ

原種製造設備國庫補助ニ關スル件 原種製造設備補助要項

ハ優良蠶種海外流出ノ本邦蠶絲業ニ及ボス影響及内地ニ於ケル蠶種ノ需給關係等諸般ノ事情ヲ考察シ之ガ許可ノ取扱ヲ爲シツツアル次第ニモ有之候ニ付貴省直轄學校等ニ於テ蠶種ノ輸移出ヲ爲サントスル場合ニ在リテハ充分慎重ヲ期シ本制度ノ趣旨ニ副ハシメラルル様御取計相成度尙右輸移出ヲ爲シタル場合有之候節ハ其ノ都度農林大臣宛報告セシメラレ度依命此段申進候也

原種製造設備國庫補助ニ關スル件

昭和十一年七月二十二日附一蠶第六三八七號農林次官依命通牒

原蠶種管理法ニ基ク道府縣ノ原種製造配付ハ昭和十四年度ヨリ實施セラレベキ豫定ニ有之候ニ付テハ今般昭和十一年七月勅令第二百十號原蠶種管理法第五條第二項但書ノ規定ニ依ル國庫補助ニ關スル件公布セラレ道府縣ノ原種製造設備ノ擴充ニ要スル費用ニ對シ補助スルコトト相成候處右ハ別紙要項ニ依リ實施可致候條御了知ノ上之ガ目的達成上遺憾ナキヲ期セラレ度依命此段及通牒候也

- 一 本要項又ハ補助金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 二 事業ノ施行方法不適當ト認メタルトキ

附 則

第二中毎年二月末日迄トアルハ昭和十一年度ニ限リ八月三十一日迄トス



事業計畫書

一 原種ノ製造配付  
(一) 數量

合計	春蠶種		夏秋蠶種		季節數	製造量	配付數量	蠶種製造者ノ所要數量	備考
	春蠶期	夏秋蠶期	春蠶期	夏秋蠶期					

注意

- 一 本表ニハ原蠶種管理法實施ニ基ク製造配付計畫ニ付之ヲ記載スルコト
- 二 蠶種製造者ノ所要數量ハ道府縣ヨリ配付ヲ受ケントスル者ノ所要數量ヲ記載スルコト

(二) 建物

(イ) 蠶室

計	蠶室ノ平面積		構造ノ種類	製造季節	本場又ハ支分場生産種ニ依ルモノノ蠶	製造數量	備考
	飼育室及採種室 平方米	其ノ他 平方米					

注意

- 一 本表ニハ原蠶種管理法實施ニ基キ必要トスル蠶室ニ付之ヲ記載スルコト
- 二 既設トハ最初ニ補助ヲ受ケントスル年度現在ノモノヲ謂フ
- 三 平面積欄ニハ延平面積ヲ記載スルコト
- 四 製造數量ノ合計ハ前表ノ合計數量ト一致セシムルコト

(ロ) 其ノ他

種類	既設、新設、増設 買入、借入ノ別	平面積		構造ノ種類	備考
		主ナル部分 平方米	其ノ他 平方米		



原蠶種管理法關係法規

一五四

注意

- 一 建物ノ種類ハ蠶種保護室、催青及發蛾促進室、蠶種検査室、蠶種冷蔵庫、寄宿舎等ニ區別シ之ヲ記載スルコト
- 二 主タル部分トハ其ノ建物本來ノ用途ニ充ツル部分ヲ謂ヒ例ヘバ冷蔵庫ニ付テハ冷蔵庫ヲ記載シ其ノ他ノ建物ニ付テハ之ニ準ズルコト
- 三 前二號ノ外前表ノ注意ニ準ズルコト

(三) 建物ノ擴張年次計畫

年度	和昭	年度	和昭	年度	種	類	新設、増設、買入ノ別	平			構造ノ種類	備	考
								主タル部分	其ノ他	積			
								平方米	平方米	計			

注意

- 一 本表ニハ補助ヲ受ケントスル年度ヨリ擴張計畫完成年度ニ至ル迄ノモノニ付之ヲ記載スルコト
- 二 前號ノ外前表ノ注意ニ準ズルコト

二 建物關係經費

(昭和 年度)

種	類	新設、増設、買入ノ別	員	面		價	金	額	備	考
				平方米	圓					

注意

- 一 本表ニハ補助ヲ受ケントスル年度ヨリ擴張計畫完成年度ニ至ル迄ノ經費ニ付各年度毎ニ之ヲ記載スルコト
- 二 員數欄ニハ延平面積ヲ記載スルコト

第二號

設備要領書

一 建物ノ種類及面積

種	類	新設、増設、買入ノ別	面		積	構造ノ種類	備	考
			主タル部分	其ノ他				
			平方米	平方米	計			

注意

原種製造設備補助要項

一五五



原蠶種管理法關係法規

- 一 支場アル場合ニ於テハ本場及各支場毎ニ之ヲ記載スルコト
- 二 申請年度ニ於テ補助ヲ受ケントスル建物ニ付テノミ之ヲ記載スルコト
- 三 建物ノ種類ハ蠶室、蠶種保護室、催青及發蛾促進室、蠶種検査室、蠶種冷蔵庫、寄宿舎等ニ區別シ之ヲ記載スルコト
- 四 同種類ノ建物ガ二棟以上ノ場合ハ記號ヲ附シ一棟毎ニ之ヲ記載スルコト
- 五 主タル部分ハ様式第一號ノ一ノ原種ノ製造配付

- 二 建物ノ圖面（各階平面圖、建圖及斷面圖）及仕様書別紙（各二通）ノ通
- 注意 支場アル場合ニ於テハ本場及各支場毎ニ之ヲ作成スルコト
- 三 竣工又ハ買入豫定年月
- 四 用地、建物、工作物其ノ他ノ配置圖
- 別紙（各二通）ノ通
- 注意 建物ハ既設ノモノ及當該年度ニ於テ新設、増設、改設又ハ買入ノモノヲ區別スルコト

第三號

收支豫算書

科目	豫算額	備考
計	圓	

注意

備考欄ニハ計算ノ基礎トナルベキ事項ヲ記載スルコト

二 支出豫算書

豫算額	算出内			備考
	區分	員數	單價	
圓		平方米	圓	圓
計				

注意

- 一 員數欄ニハ延平面積ヲ記載スルコト
  - 二 備考欄ニハ新設、増設、改設又ハ買入ノ別並ニ構造ノ種類及面積内譯ヲ記載スルコト
- 原種製造設備補助要項



第四號

收支精算書

一 收入精算書

科目	豫算額	精算額	比較		備考
			増	減	
計	圓	圓	圓	圓	

注意 様式第三號ノ一ノ收入豫算書表ノ注意ニ準ズルコト  
 二 支出精算書

豫算額	精算額	比較		精算額内譯	備考
		増	減		
圓	圓	圓	圓	區分員數	
				平方米	
				金額	
				圓	
				計	

注意

- 一 區分及員數ノ欄ニハ申請書添附ノ支出豫算書(變更認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ變更後ノ支出豫算書)ニ記載シタルモノヲ記載スルコト
- 二 備考欄ニハ新設、増設、改設又ハ買入ノ別ヲ記載スルコト

原種製造設備費國庫補助ノ件

昭和十一年七月二十二日附  
 一 蠶局第一一八五號蠶絲局長通牒

標記ノ件ニ關シ本日農林次官ヨリ別途依命通牒相成候處尙  
 左記事項御了知相成度此段及通牒候也

記

- 一 補助金交付ノ申請ヲ爲サントスル道府縣ハ豫メ其ノ計畫ヲ具シ當省ト打合セテ爲スコト
- 二 改設ニ要スル費用ニ對シテハ當分ノ内補助ヲ爲サザルコト

蠶種ノ輸移出入ニ關スル件

昭和十一年九月七日附  
 一 蠶局第一四四九號蠶絲局長通牒

標記ノ件ニ關シテハ爾今左記ニ依リ取扱相成度此段及通牒候也

記

- 一 原蠶種管理法施行規則第三十二條ノ規定ニ依ル數量ノ變更許可ハ許可ヲ受ケタル蠶種ノ數量ヲ減少セントスル場合ハ之ヲ要セザルモノトシ右ノ場合ニ於テハ其ノ旨屆蠶種ノ輸移出入ニ關スル件

出デシメラレタキコト

二 蠶絲業法施行規則第三十八條ノ規定ニ依ル地方長官及所轄蠶業取締所ハ住所又ハ蠶種ノ輸移入港所在地若ハ積載セル航空機ヨリ蠶種ヲ荷卸セル地ヲ管轄スル地方長官及蠶業取締所ト解シ右規定ニ依ル手續ハ當該何レノ地方長官及蠶業取締所ニ對シテモ之ヲ爲シ得ルノ途ヲ啓クヲ適當ト認メラルルヲ以テ之ガ請求アリタルトキハ之ニ應ゼラレタキコト

蠶品種性狀調査申請ニ關スル件

昭和十二年一月十六日農林省告示第十八號

第一條 農林大臣原蠶種管理法第三條ノ規定ニ依リ政府ノ製造配付スル原種ノ品種ヲ定ムル爲必要アリト認ムルトキハ學術研究ノ目的ヲ以テ蠶種ノ製造ヲ爲ス者ノ申請ニ依リ其ノ育成シタル蠶ノ品種ニ付性狀ノ調査ヲ爲スコトアルベシ

原蠶種管理法第八條ノ規定ノ施行前ニ在リテハ農林大臣ハ前項ノ目的ヲ以テ蠶種製造者ノ申請ニ依リ其ノ育成シタル蠶ノ品種ニ付性狀ノ調査ヲ爲スコトアルベシ

第二條 前條ノ申請ヲ爲サントスル者ハ毎年一月三十一日迄ニ様式第一號ニ依ル申請書ヲ農林大臣ニ、調査ヲ受ケ



原蠶種管理法關係法規

一六〇

ントスル蠶ノ品種ニ關スル左ニ掲グル書面及物料ヲ蠶業試驗場長ニ差出スベシ

一 様式第二號ニ依ル調書

二 純粹種又ハ固定種タル蠶種ヨリ産出シタル繭(乾繭)

一 品種ニ付五百グラム

三 前號ノ純粹種又ハ固定種ノ交雜種タル蠶種ヨリ産出シタル繭(乾繭)

一 品種ニ付五百グラム

第三條 農林大臣調査ヲ爲スベキモノト決定シタルトキハ三月三十一日迄ニ申請者ニ調査ヲ爲スベキ蠶ノ品種ニ關スル左ニ掲グル物料ヲ差出スベキ時期及場所ヲ通知ス

一 純粹種又ハ固定種タル蠶種 一 品種ニ付三百蛾

二 前號ノ純粹種又ハ固定種ノ交雜種タル蠶種

一 品種ニ付一千六百グラム

但シ夏秋蠶用ノモノニ在リテハ

一 品種ニ付三千二百グラム

第四條 農林大臣ハ前二條ノ書面及物料ノ外必要ト認ムル書面及物料ヲ差出サシムルコトアルベシ

第五條 前三條ニ依リ差出ス物料ハ其ノ生理又ハ品質ヲ害セザル様其ノ荷造、輸送等ニ注意スベシ

第六條 第二條乃至第四條ノ書面及物料ハ之ヲ返戻セズ

第七條 調査ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ成績ハ之ヲ申請者ニ通知ス

第一號

蠶品種性狀調査申請書

品種名	化學性	系統	春蠶用、夏秋蠶用ノ別	育成シタル者ノ住所氏名(名稱)

右昭和十二年農林省告示第一八號ニ依リ性狀調査相願度此段及申請候也

年 月 日

住所 氏

名(名稱)印

第二號

調書( )年 月 日附農林大臣宛申請ニ關スルモノ

一 純粹種又ハ固定種

(一) 蠶兒調査

品種名	蠶量一瓦ノ頭數	體色斑紋	減蠶歩合	蠶量一瓦ノ給桑量(正葉)	掃立蠶一萬頭上繭收量	同功繭歩合
			%			%
			%			%
			%			%
			%			%

備考 調査方法ニ付其ノ詳細ヲ附記スルコト(以下各表ニ付之ニ同ジ)

(二) 經過調査

蠶品種性狀調査申請ニ關スル件